リファレンスガイド

Reference Guide

Canon

BUBBLE JET PRINTER

BJ F210

プリンタ活用編

『基本操作ガイド』でプリンタの基本的な使いかたがわかったら、いろいろな用紙やカートリッジを使って、よりきれいに印刷してみましょう。
この編では、普通紙以外の用紙に印刷するときのポイント、別売のスキャナカートリッジやフォト BJ カートリッジの使いかたについて説明しています。

トラブル解決／アドバイス編

プリンタを使っていて、問題が発生して困ったときは、この編をご覧ください。
症状別に、原因と対処のしかたを説明しています。

ドライバ解説編

プリンタドライバ / スキャナドライバの機能と、目的に応じた設定のしかたについて説明しています。
Windows/Macintosh に分けて説明していますので、お使いのコンピュータに合わせてご覧ください。

V01

はじめに

このたびは BJ F210 をお買い上げいただきありがとうございます。

この『リファレンスガイド』は、プリンタの応用操作（普通紙以外の用紙に印刷するときの手順）、別売品の使いかた、困ったときの対処のしかた、プリンタドライバおよびスキャナドライバの機能の詳細について説明しています。本機の機能や操作方法を十分にご理解いただき、末長くご使用ください。

注記

このリファレンスガイドでは、お使いのコンピュータによって説明を分けている箇所があります。

Windows　のマークがついている箇所は、Windows 98,Windows 95 をお使いの方のみお読みください。

Macintosh　のマークがついている箇所は、USB インタフェースを標準搭載した Macintosh シリーズをお使いの方のみお読みください。

マークのついていない箇所は、どちらのコンピュータをお使いの方もお読みください。

なお、Windows NT をお使いの方は、Windows NT 用のプリンタドライバに付属のドキュメントファイル（「Windows NT 4.0 プリンタドライバガイド」）またはプリンタドライバのヘルプをご覧ください。
ドキュメントファイルを開くには、プリンタドライバのインストール完了後、［スタート］ボタンをクリックして、［プログラム］、［BJ ラスタプリンタ］、［操作説明］を順に選択します。

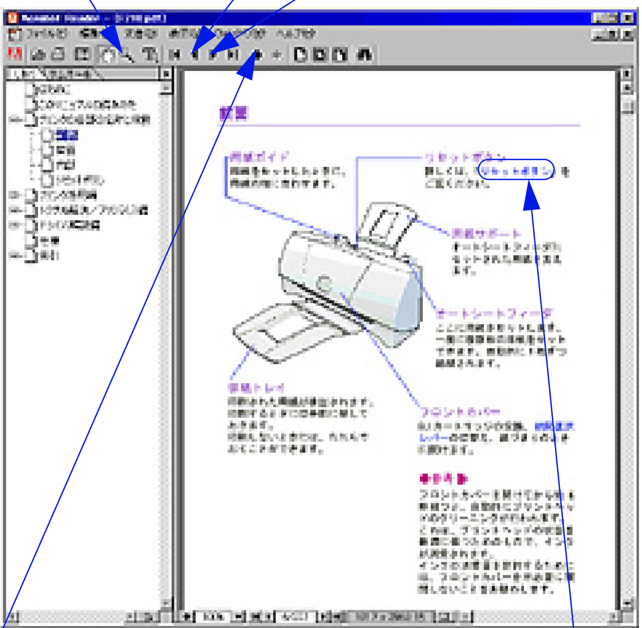
このマニュアルの読みかた

このマニュアルは、Acrobat Reader4.0J または Acrobat Reader3.0J を使ってお読みになることをお勧めします。Acrobat Reader3.0J をお使いになる場合は、下の画面とはアイコンなどが異なります。

このボタンをクリックして画面内をクリックすると拡大します。

前ページへ戻ります。

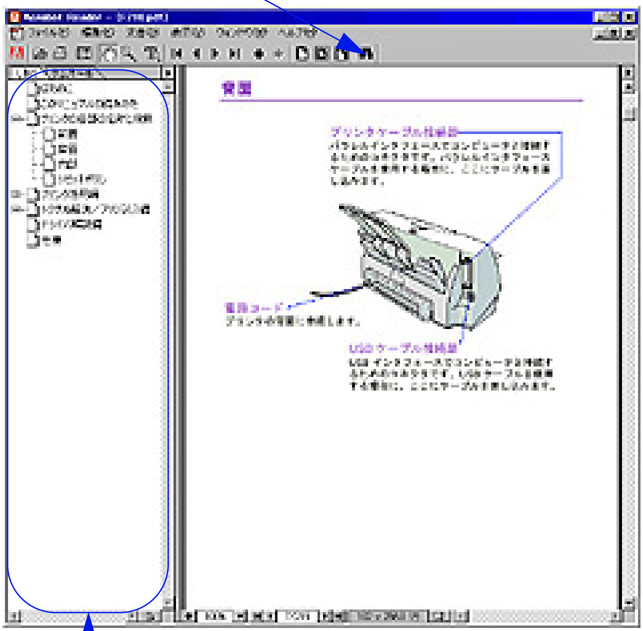
次ページへ進みます。



直前に見ていた画面に戻ります。また、参照ページから戻るときにクリックします。

参照ページの画面が表示されます。
説明文中にある青く書かれている項目をクリックすると、参照ページにジャンプします。

文字を検索したいときにクリックします。

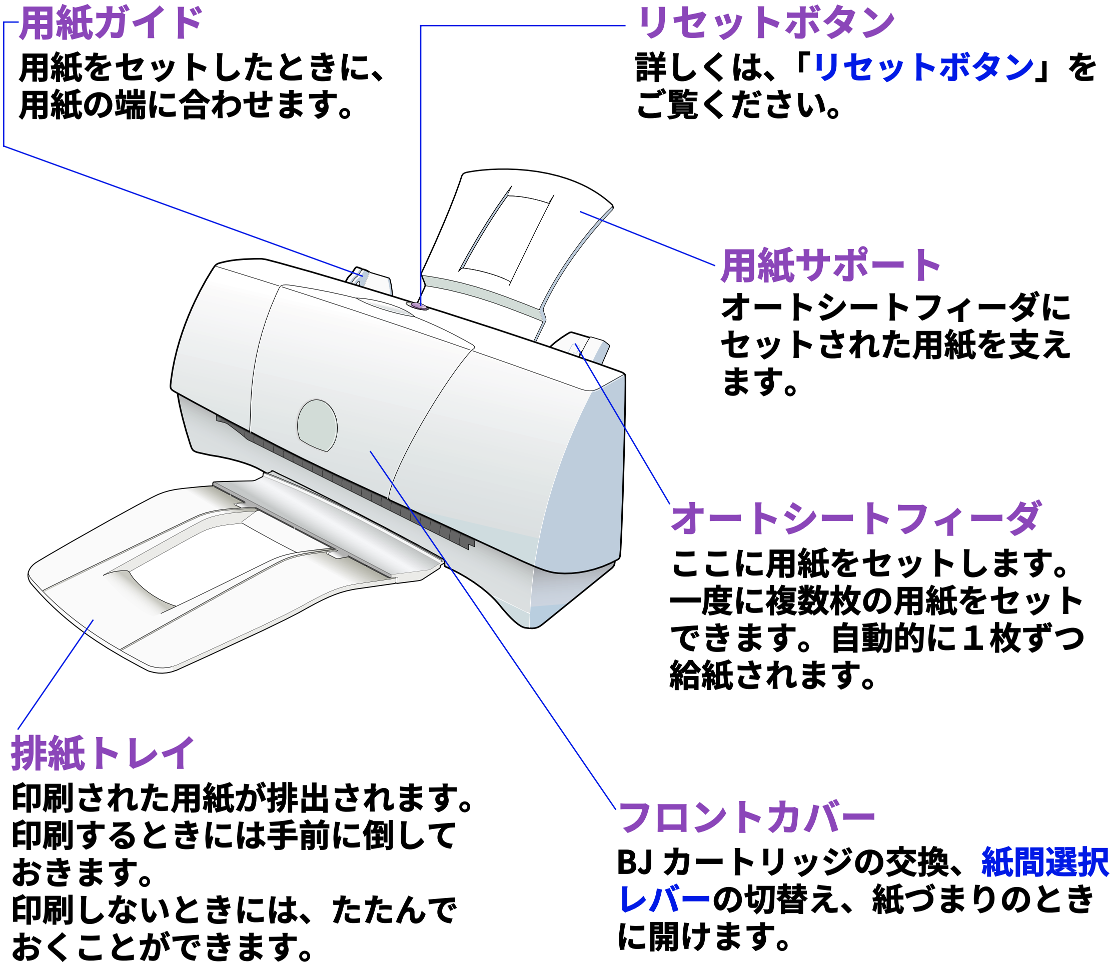


このマニュアルの構成が表示されています。
参照したい項目をクリックすると、そのページにジャンプします。
⊞ をクリックすると、クリックしたタイトルの中で説明される項目のタイトルが表示されます。
⊟ をクリックすると、元の表示に戻ります。

プリンタの各部の名称と役割

前面
背面
内部
リセットボタン

前面



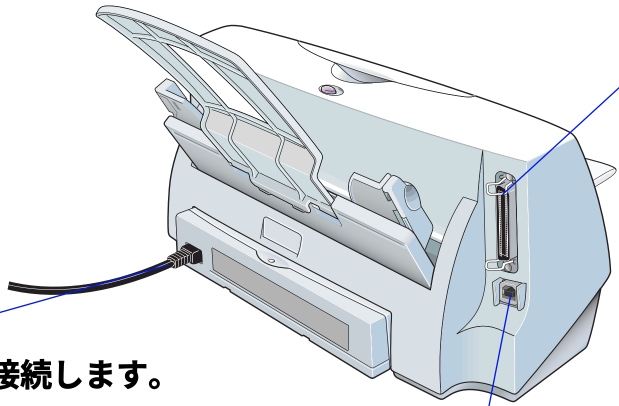
●参考

フロントカバーを開けてしばらくそのままにしてからフロントカバーを閉じると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが行われます。これは、プリントヘッドの状態を最適に保つためのもので、インクが消費されます。
インクの消費量を節約するためには、フロントカバーを不必要に開閉しないことをお勧めします。

背面

プリンタケーブル接続部

パラレルインタフェースでコンピュータと接続するためのコネクタです。パラレルインタフェースケーブルを使用する場合に、ここにケーブルを差し込みます。



電源コード

プリンタの背面に接続します。

USB ケーブル接続部

USB インタフェースでコンピュータと接続するためのコネクタです。USB ケーブルを使用する場合に、ここにケーブルを差し込みます。

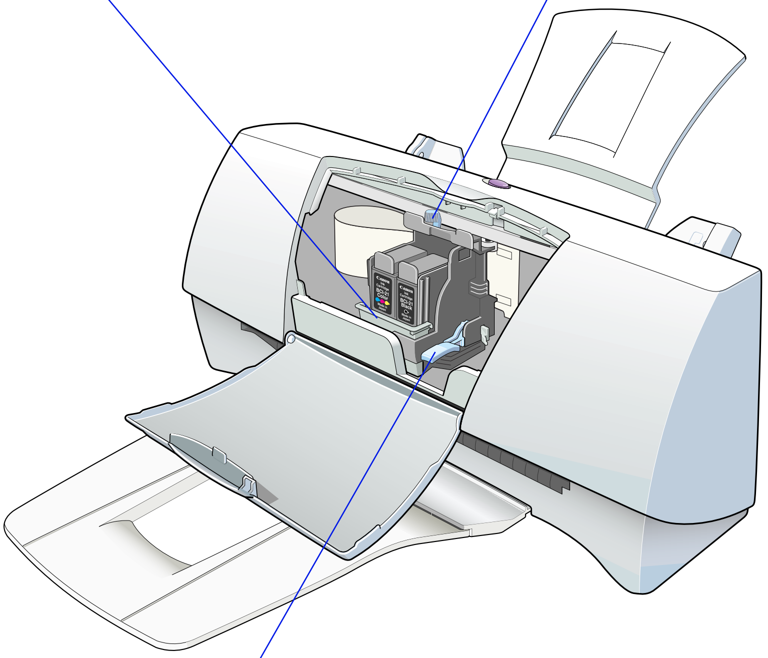
内部

カートリッジホルダ

BJ カートリッジまたはスキャナカートリッジを取り付けます。フロントカバーを開けると、自動的に中央に移動します。

紙間選択レバー

用紙の種類に応じて、プリントヘッドと用紙の間隔を切り替えます。



カートリッジ固定レバー

カートリッジホルダにセットされた BJ カートリッジまたはスキャナカートリッジを固定します。

リセットボタン

プリンタのトラブルを解除するときやプリンタの動作をリセットするときにこのボタンを押します。
また、このボタンを押してノズルチェックパターンを印刷することもできます。

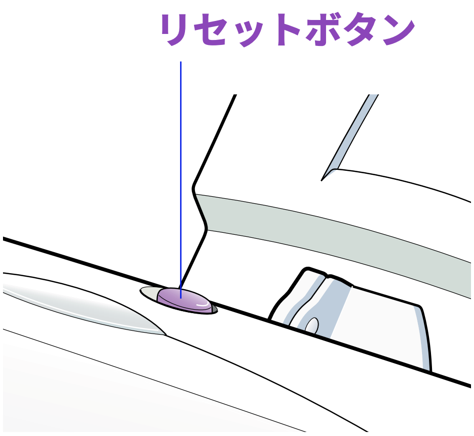
- 用紙がセットされていないか、正しく送られなかった場合、トラブルを解消したあとに操作を続行する場合
  ボタンを１回押す

- ノズルチェックパターンを印刷する場合
  ボタンを続けて２回押す

- 操作をリセットする場合（印刷のデータが消去されます）
  ボタンを２秒以上押してから離す
  このとき、プリントヘッドのクリーニングが行われます。
  クリーニングはインクを消耗しますので、不必要にリセットボタンを 2 秒以上押し続けないでください。

●参考

リセットボタンは、電源ボタンではありません。
BJ F210 には電源ボタンはありません。電源プラグをコンセントに接続すると、電源が入ります。
電源プラグをコンセントに差したままにしておいても、問題はありません。



プリンタ活用編

[いろいろな用紙に印刷するには]

[スキャナとして使うには]

[写真をきれいに印刷するには]

いろいろな用紙に印刷するには

使用できる用紙のサイズ

いろいろな用紙に印刷するときのポイント

用紙についてのご注意

高品位専用紙に印刷する

はがきに印刷する

封筒に印刷する

OHP フィルムに印刷する

バックプリントフィルムに印刷する

フォト光沢紙に印刷する

光沢フィルムに印刷する

フォト光沢カードに印刷する

バナー紙に印刷する

T シャツ転写紙に印刷する

使用できる用紙のサイズ

■重さ

本機で使用できるのは、64g/m^2～105g/m^{2}の用紙です。
この重さを超える用紙は、紙づまりなどの原因になりますので使用しないでください。

■大きさ

使用できる定型紙の大きさは、以下の表のとおりです。

■縦置きと横置き

用紙の長いほうを縦にしてセットすることを縦置き、短いほうを縦にしてセットすることを横置きといいます。
本機では、A5、はがきは、縦置き / 横置きのどちらの向きにもセットすることができます。封筒（洋形4号、洋形6号）は、横置きのみセットすることができます。その他のサイズの用紙は、縦置きのみセットすることができます。
以下の表で、用紙名に「横」と付いているものは、横置きの場合を示します。

用紙	幅×長さ（単位：mm ）
A5	148.0 × 210.0
A5 横	210.0 × 148.0
A4	210.0 × 297.0
B5	182.0 × 257.0
Letter	215.9 × 279.4（8.5 × 11.0 インチ）
Legal	215.9 × 355.6（8.5 × 14.0 インチ）
はがき	100.0 × 148.0
はがき横	148.0 × 100.0
封筒（洋形4号）	235.0 × 105.0
封筒（洋形6号）	190.0 × 98.0
フォト光沢カード＊	118 × 214（ミシン目付きサイズ） 102 × 152（仕上がりサイズ）

非定型の用紙を使用する場合は、以下の範囲内で使用できます。
- 最小サイズ 100.0 × 100.0mm
- 最大サイズ 241.3 × 584.2mm

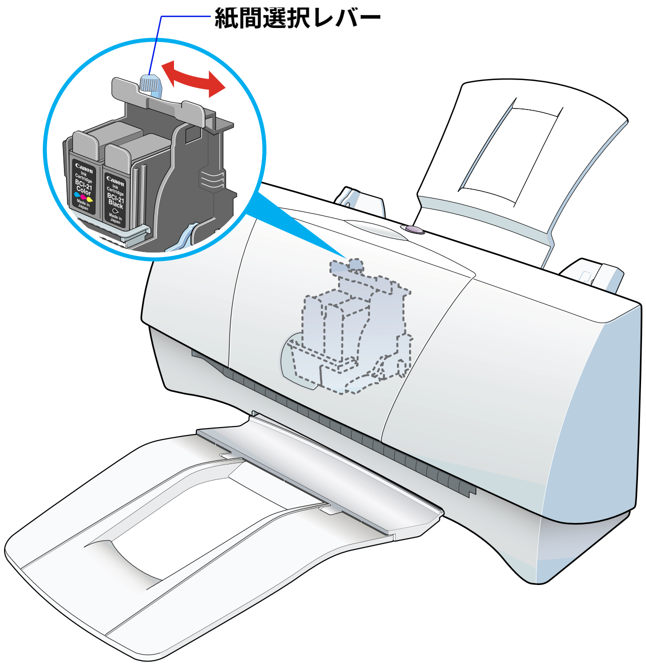
＊プリンタドライバでの設定は、「フォトカード」です。

いろいろな用紙に印刷するときのポイント

いろいろな用紙に印刷するときは、用紙の種類によって操作が必要なものがあります。
また、用紙の特長を生かすために、次のポイントを押さえると、よりきれいに印刷することができます。
用紙別の詳しい操作については、「用紙別の詳しい操作について」の参照項目をご覧ください。

■注意しておきたい操作

用紙の種類に合わせて、紙間選択レバーをセットする



お使いの用紙に合わせて、紙間選択レバーを左（ ）か右（ ）にセットしてください。

用紙のセットのしかたに注意する

用紙によっては、普通紙と違う方法でセットするものがあります。
普通紙のセットのしかたは、『基本操作ガイド』を参照してください。

■よりきれいに印刷するためのポイント

プリンタドライバの設定画面を開き、原稿の内容に合わせて［オートパレット］（Windows）［印刷設定］（Macintosh）を選択する

Windows

［オートパレット］には、印刷の品質や色についての設定がアイコンに登録されています。
原稿の種類や目的に最も近いものを選ぶと、お勧めの BJ カートリッジや用紙の種類が表示されます。

➡ 設定画面を開く
➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh

プリントダイアログで基本的な印刷設定をします。
原稿の種類や目的、使用する用紙の種類を設定します。

➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

原稿の内容に適した用紙を使う

キヤノン製専用紙には、用途や印刷する内容に応じて、さまざまな種類があります。きれいな印刷をめざすには、キヤノン製専用紙のご使用をお勧めします。

プリンタドライバの［用紙の種類］の設定を、お使いの用紙に合わせてください。

Windows

➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh

➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

原稿の内容や印刷する用紙に適した BJ カートリッジを使う

本機では、以下の BJ カートリッジを使用することができます。印刷する原稿の内容に合わせて、BJ カートリッジを変えてお使いになると、よりきれいに印刷することができます。

カラー BJ カートリッジ BC-21e
ブラック BJ カートリッジ BC-20
カラー BJ カートリッジ BC-22e フォト
蛍光 BJ カートリッジ BC-29F

各カートリッジの特長について、詳しくは『基本操作ガイド』をご覧ください。

●参考 印刷する前に、プリンタドライバの [BJ カートリッジ] の設定を、お使いのカートリッジに合わせてください。

用紙別の詳しい操作について

- 高品位専用紙
- はがき
- 封筒
- OHP フィルム
- バックプリントフィルム
- フォト光沢紙
- 光沢フィルム
- フォト光沢カード
- バナー紙
- T シャツ転写紙

用紙についてのご注意

■取扱いについてのご注意

- 用紙はできるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。印刷面が傷ついたり汚れたりすると、印刷の品質が低下することがあります。

- 印刷後、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。また、印刷済みの用紙を水で濡らしてしまった場合は、乾くまで印刷面に触らないでください。

- 用紙を保管するときは、用紙が入っていた袋に入れ、直射日光の当たる場所や高温多湿な場所をさけてください。また、曲がったりしわがついたりしないように水平に置いてください。

- 用紙によっては、インクを大量に使う印刷をすると用紙がカールして印刷面がこすれることがあります。この場合は、紙間選択レバーを右にセットしてみてください。
  また、このような用紙は写真やグラフィックスを含む原稿の印刷にはお勧めできません。文字中心の原稿の印刷にご使用になることをお勧めします。

■用紙をセットするときのご注意

- 用紙をさばいて、端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙をさばかなかったり、端をそろえずにセットしたりすると、紙づまりの原因となることがあります。

- 用紙がカールしているときは、逆向きに曲げてカールを直してからセットしてください。このとき、用紙の表面が波状にならないようにしてください。

高品位専用紙に印刷する

■高品位専用紙（型番：HR-101S）とは

普通紙よりもカラーの発色性に優れています。カラーの図版やグラフなどを多用したビジネス文書、写真の印刷に適しています。

■紙間選択レバーの位置

左（ ）にセットします。

➡ いろいろな用紙に印刷するときのポイント

■用紙の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

■用紙をセットするとき

- 印刷面（より白い面）を上にしてセットしてください。
- 一度にセットできる枚数は、厚さ 5mm（約 40 枚）までです。

■プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［高品位専用紙］に設定します。

Windows ➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh ➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

■印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

■排紙トレイに置いておける、印刷後の用紙枚数

20 枚程度まで
（排出された用紙がカールするとき、インクが乾きにくい場合は、１枚印刷が終わるごとに用紙を取り除いてください）

●参考

高品位専用紙を 2 ～ 3 パック使い終わったら、クリーニングシートを使って清掃することをお勧めします。清掃しないと、プリンタ内部に紙粉がたまり、用紙が正しく送られないことがあります。

➡ 給紙ローラのクリーニング

はがきに印刷する

■はがきの種類

裏面が写真のはがき、写真やステッカーを貼ったはがき、往復はがき、折り目のついたはがきは、使用できません。
写真やイラストを印刷する場合は、発色に優れたフォト光沢ハガキ（KH-201N）の使用をお勧めします。

■原稿を作る前に

あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙のサイズを [はがき] または [はがき横] に設定してください。

■紙間選択レバーの位置

左（ ）にセットします。

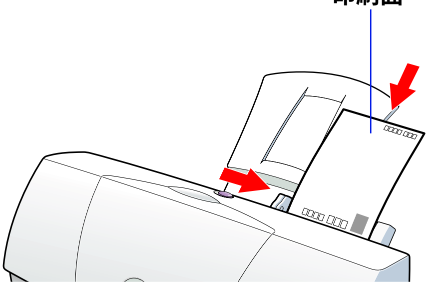
➡ いろいろな用紙に印刷するときのポイント

■はがきの扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

■はがきをセットするとき

- 印刷面を上にしてセットしてください。



- 一度にセットできる枚数は、20 枚までです。
- フォト光沢ハガキは、必ず縦置きにセットしてください。官製はがきも、縦置きにセットすることをお勧めします。

●参考

フォト光沢ハガキの場合、最後の 1 ～ 2 枚がスムーズに給紙されないときは、フォト光沢ハガキの袋に入っている厚紙をフォト光沢ハガキの下にセットしてください。詳細はフォト光沢ハガキの袋の「使用上の注意」をお読みください。

■プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

・官製はがき　　　：[はがき］に設定します。
・フォト光沢ハガキ：[光沢はがき］に設定します。

Windows

➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh

➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

■印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

■排紙トレイに置いておける、印刷後の用紙枚数

1枚ずつ取り除いてください。

■インクが乾くまでの時間の目安

約2分（インク密度の高い印刷をしたはがきは、乾くまで時間がかかります）

封筒に印刷する

■封筒の種類

- 型押しやコーティングなどの表面加工してある封筒は使用しないでください。きれいに印刷できません。
- ふたの部分が二重になっているものや、シールになっているものは使用しないでください。正しく紙送りできません。

■紙間選択レバーの位置

右（　）にセットします。

➡ いろいろな用紙に印刷するときのポイント

■封筒の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

■封筒をセットする前に

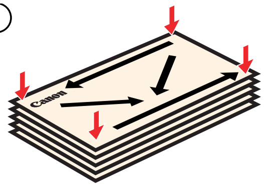
封筒の準備をします。

① 四隅を押してから、封筒の周りを押して反りや曲がりを取り、封筒の中の空気を抜きます。

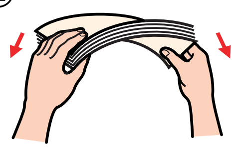
② ①の操作を行っても反っている場合は、封筒の端を対角線に持って、軽く逆方向に曲げます。封筒のふたの部分がまっすぐになったか確認します。

③ ペンの先などを使って封筒のふたの部分をしっかりとつぶしておくと、うまく給紙できます。

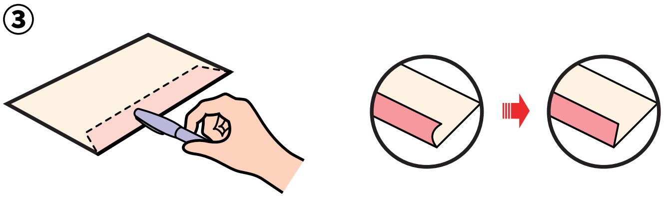
①



②



③

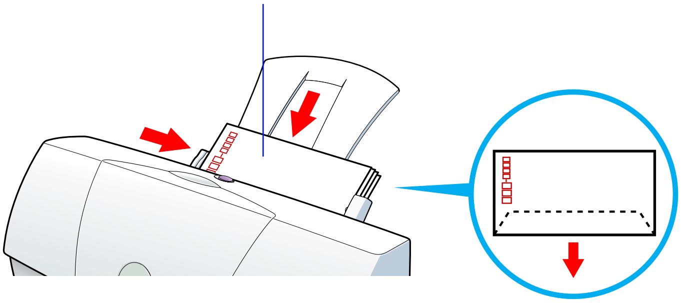


●制限

- 封筒の反りを直さなかったり、端をそろえずにセットしたりすると、紙づまりの原因になることがあります。
- 反りやふくらみは、3mm 以内になるようにしてください。

■封筒をセットするとき

- あて名面を上にして（封筒のふたが下になるように）セットしてください。



- 一度にセットできる枚数は、５枚までです。

■プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［封筒］に設定します。

Windows　➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh　➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

■印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

■排紙トレイに置いておける、印刷後の用紙枚数

５枚まで

OHP フィルムに印刷する

■OHP フィルム（型番：CF-102）とは

オーバーヘッドプロジェクタ（OHP）で使用する資料を作成するための専用フィルムです。
他機種用の OHP フィルム（CF-101）や、複写機用の OHP フィルムは、紙づまりなどの原因になりますので使用しないでください。
フォト BJ カートリッジで印刷することはできません。

■紙間選択レバーの位置

左（ ）にセットします。

➡ いろいろな用紙に印刷するときのポイント

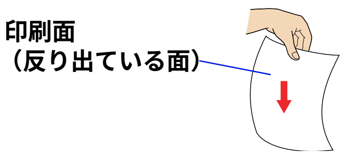
■用紙の扱いかた

高湿度下では、袋から出したままにしないでください。袋から出したらすぐに印刷するようにしてください。
以下の説明もご覧ください。

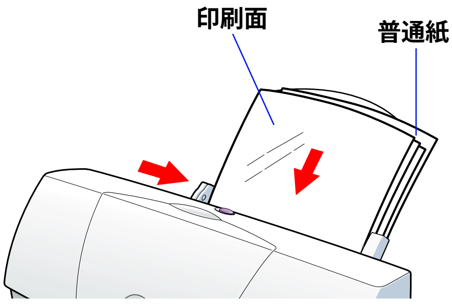
➡ 用紙についてのご注意

■用紙をセットするとき

- OHP フィルムの端を手で持ったとき、反りがある面が印刷面になるようにします。



- 印刷面を上にしてセットしてください。
- OHP フィルムの下に同じ大きさの普通紙を１枚敷いてから、セットしてください。



- 一度にセットできる枚数は、20 枚までです。

■プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［OHP フィルム］に設定します。

Windows　➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh　➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

■印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

■排紙トレイに置いておける、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

■インクが乾く時間の目安

約 15 分

●参考

乾燥させたOHPフィルムをしまうときは､印刷面がすれたりフィルムどうしがくっついたりしないように普通紙（コート紙は不可）をかぶせて印刷面を保護してください。クリアファイルなどに１枚ずつ保管する場合でも､クリアファイルに貼り付かないよう、印字した面に普通紙を重ねてください。

バックプリントフィルムに印刷する

■バックプリントフィルム（型番：BF-102）とは

白い半透明のフィルム材質でできているため、スライドやステンドグラスのように裏から光を当てて印刷内容を展示することができます。原稿は左右反転されて印刷されます。
フォト BJ カートリッジで印刷することはできません。

■紙間選択レバーの位置

左（ ）にセットします。

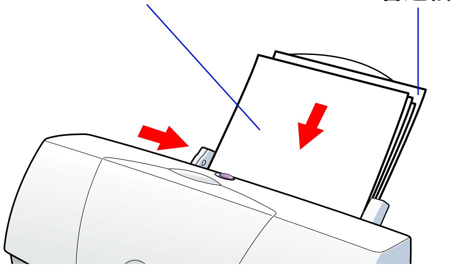
➡ いろいろな用紙に印刷するときのポイント

■用紙の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

■用紙をセットするとき

- 印刷面（ざらざらした面）を上にしてセットしてください。
- バックプリントフィルムの下に同じ大きさの普通紙を 1 枚敷いてから、セットしてください。



- 一度にセットできる枚数は、10 枚までです。

■プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［バックプリントフィルム］に設定します。

Windows ➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh ➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

■印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

■排紙トレイに置いておける、印刷後の用紙枚数

1 枚ずつ取り除いてください。

■インクが乾く時間の目安

約 15 分

●参考

乾燥させたバックプリントフィルムをしまうときは、印刷面がすれたりフィルムどうしがくっついたりしないように普通紙（コート紙は不可）をかぶせて印刷面を保護してください。クリアファイルなどに 1 枚ずつ保管する場合でも、クリアファイルに貼り付かないよう、普通紙を重ねてください。

フォト光沢紙に印刷する

■フォト光沢紙(型番：GP-301）とは

高品位専用紙より厚手で、印刷面に光沢があるため、本格的な写真に近い仕上がりが表現できます。ペーパークラフトなどの制作にも適しています。

■紙間選択レバーの位置

左（ ）にセットします。

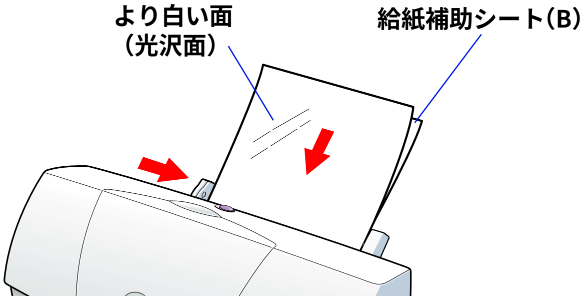
➡ いろいろな用紙に印刷するときのポイント

■用紙の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

■用紙をセットするとき

- 印刷面（より光沢がある面）を上にしてセットしてください。
- フォト光沢紙の下に給紙補助シート（B）を敷いてから、セットしてください。給紙補助シート（B）の詳しい使いかたについては、シート上に記載された説明をご覧ください。



●禁止 フォト光沢紙のパッケージに付属している、給紙補助シート（A）は使用しないでください。

- 用紙は１枚ずつセットしてください。

■プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［光沢紙］に設定します。

Windows ➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh ➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

■印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

■排紙トレイに置いておける、印刷後の用紙枚数

1枚ずつ取り除いてください。

■インクが乾く時間の目安

約2分

光沢フィルムに印刷する

■光沢フィルム(型番：HG-101）とは

つやのあるフィルム材質シートです。カラー BJ カートリッジで印刷することにより、写真を高品質で表現します。フォト BJ カートリッジで印刷することはできません。

■紙間選択レバーの位置

左（ ）にセットします。

➡ いろいろな用紙に印刷するときのポイント

■用紙の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

■用紙をセットするとき

- 印刷面（より光沢がある面）を上にしてセットしてください。
- 用紙は 1 枚ずつセットしてください。

■プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

[光沢フィルム］に設定します。

Windows ➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh ➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

■印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

■排紙トレイに置いておける、印刷後の用紙枚数

1 枚ずつ取り除いてください。

■インクが乾く時間の目安

約 15 分

フォト光沢カードに印刷する

■フォト光沢カード（型番：FM-101）とは

フォト光沢紙と同じ材質のカード専用紙です。ミシン目よりも大きめに印刷範囲を設定すれば、無用な白枠をカットすることが可能です。カードの全面に色や写真を印刷したいときにお勧めします。

■原稿を作る前に

あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙のサイズを［フォトカード］に設定してください。

■紙間選択レバーの位置

左（ ）にセットします。

➡ いろいろな用紙に印刷するときのポイント

■用紙の扱いかた

印刷前に、ミシン目を切り離さないでください。
以下の説明もご覧ください。

➡ 用紙についてのご注意

■用紙をセットするとき

- 印刷面（より光沢がある面）を上にしてセットしてください。
- 用紙は１枚ずつセットしてください。

■プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［フォトカード］に設定します。

Windows ➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh ➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

■印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

■排紙トレイに置いておける、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

■インクが乾く時間の目安

約 2 分

■印刷が終わったら

外側の枠を切り離します。切り離しかたは、フォト光沢カードの取扱説明書をご覧ください。

バナー紙に印刷する

■バナー紙(長尺紙)とは

A4 サイズの用紙がつながった長い用紙です。ロングサイズのポスターや垂れ幕(最大 6 ページ分)などの印刷ができます。

■バナー紙をセットする前に

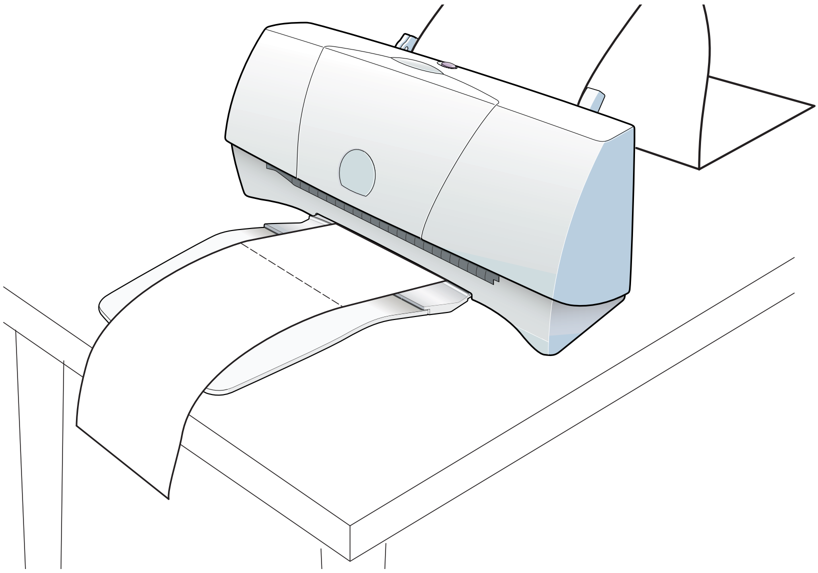
1 プリンタドライバの設定画面(Windows)または[用紙設定]画面(Macintosh)で、[バナー紙(長尺紙)印刷]をクリックして選択します。

2 バナー紙印刷が設定されたことを確認するためのメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

Windows ➡ バナー紙(長尺紙)印刷をする

Macintosh ➡ バナー紙(長尺紙)印刷をする

・バナー紙への印刷では大量のインクが消費されます。使用する BJ カートリッジのインクの残量が充分でない場合は、新しい BJ カートリッジをセットしてから印刷してください。
・印刷されたバナー紙が垂れ下がるような位置にプリンタを置いてください。



インクが乾きにくい場合は、印刷面で机や床を汚すことがありますので、ご注意ください。

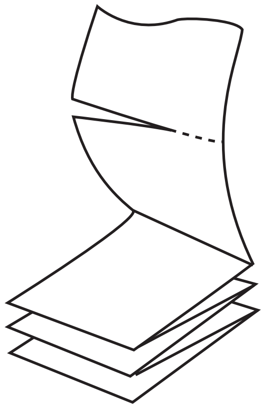
■紙間選択レバーの位置

右（ ✉ ）にセットします。

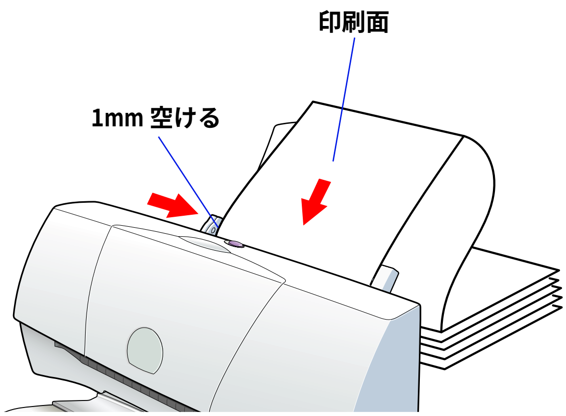
➡ いろいろな用紙に印刷するときのポイント

■用紙をセットするとき

- バナー紙を、実際に使用する枚数に 1 枚加えた分だけ切り離します。
  一度に使用できるバナー紙の長さは最大 6 枚までです。6 枚分の長さに印刷する場合は、7 枚切り離してください。



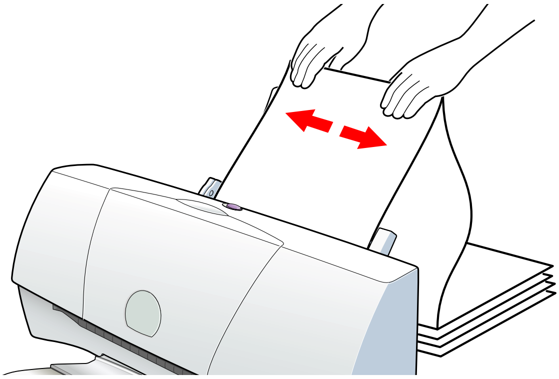
- 用紙ガイドを用紙に合わせるときに、用紙ガイドと用紙の端の間に 1mm のすき間が空くようにしてください。



●参考

セットしたバナー紙の後端は、垂らさずたたんだ状態で置いてください。

・１枚目と２枚目の間の折り目を軽く山折りにします。



■プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［普通紙］に設定します。

Windows　➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh　➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

■印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

■排紙トレイに置いておける、印刷後の用紙枚数

印刷が終わるたびに取り除いてください。

Tシャツ転写紙に印刷する

■Tシャツ転写紙（型番：TR-201）とは

Tシャツ用のアイロンプリントを作成できる用紙です。好みの写真やイラストを印刷して転写すれば、オリジナルTシャツが簡単に作れます。
原稿は左右反転されて印刷されます。
フォトBJカートリッジで印刷することはできません。

■紙間選択レバーの位置

左（ ）にセットします。
➡ いろいろな用紙に印刷するときのポイント

■用紙の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

■用紙をセットするとき

- 印刷面（緑の線がない面）を上にしてセットしてください。
- 用紙は1枚ずつセットしてください。

■プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［Tシャツ転写紙］に設定します。

Windows ➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh ➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

■印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

■排紙トレイに置いておける、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

■印刷が終わったら

速やかに転写してください。転写のしかたは、Tシャツ転写紙の取扱説明書をご覧ください。

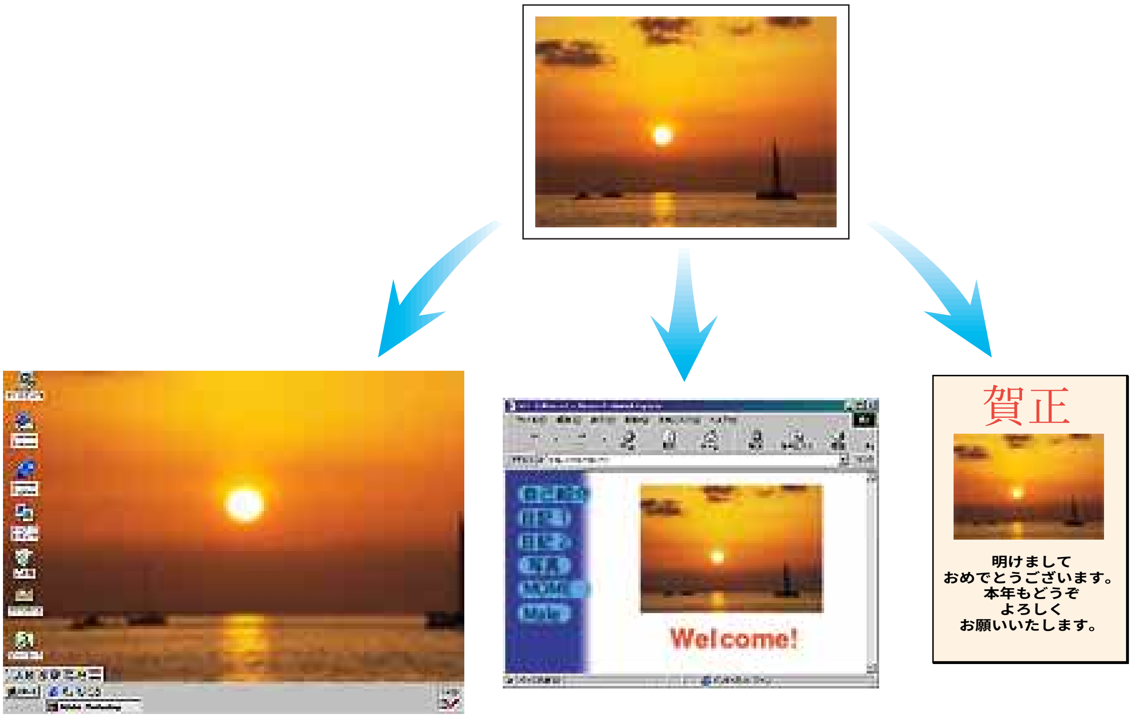
スキャナとして使うには

スキャナとは
画像を読み取って印刷するまでの流れ
スキャナカートリッジに交換する
画像読み取りソフトウェアを起動する
白基準補正を行う
読み取る原稿
原稿をセットする
スキャニングホルダの使いかた
プレスキャンする
原稿に合わせて読み取りの設定を変える
スキャンする
読み取った画像を保存する
読み取った画像を印刷する

スキャナとは

写真や絵など、紙に描かれた画像をコンピュータに取り込むための装置（デバイス）です。
撮りためた写真や自分で描いた絵などをコンピュータの壁紙にしたり、ホームページに使ったり、年賀状にしてみたり、とスキャナを使ってできることはたくさんあります。手元にある写真や絵をコンピュータ上で自由に加工して楽しむために、スキャナを活用してみましょう。

写真



壁紙に　　ホームページに　　年賀状に

■ スキャナドライバとは

プリンタをスキャナとして使うには「スキャナドライバ」というソフトウェアが必要となります。スキャナドライバは読み取った情報をコンピュータに伝わる形のデータに変換し、それを送り出す働きをしています。スキャナドライバは、この CD-ROM（プリンタドライバ／リファレンスガイド）に入っています。必ずスキャナドライバをコンピュータにインストールしてください。インストールの方法は、『かんたんスタートガイド』を参照してください。

■ IS Scan と IS Scan Plus

Windows

- TWAIN* 対応の画像処理アプリケーションソフトをお持ちの方

  IS Scan が必要となります。画像処理アプリケーションソフトから IS Scan を起動して画像の読み取りを行います。読み取ったデータをアプリケーションソフトに転送し、画像を補正、加工して、保存や印刷を行います。

- TWAIN対応の画像処理アプリケーションソフトをお持ちでない方

  Windows 用の画像読み取りソフトウェア「IS Scan Plus」をお使いください。IS Scan Plus は画像の読み取りのほか、画像を補正、加工して、保存や印刷ができます。

Macintosh

IS Scan だけで、画像の読み取りだけでなく、画像を補正、加工して、保存することができます。TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトから呼び出して使うこともできます。また、アプリケーションソフトとして単独で起動して使うこともできます。
なお、スキャナカートリッジで原稿を読み取ったあと、BJ カートリッジに付け替えて読み取った画像を印刷するアプリケーションソフト「Copy Utility（コピーユーティリティ）」を使うことができます。

➡ コピーユーティリティを使用する

＊「TWAIN」とは、スキャナやデジタルカメラなどのイメージ入力装置と、それらを操作するためのアプリケーションソフトとの間のインタフェースを標準化した規格のことです。TWAIN 対応のデバイスドライバがあれば、同じく TWAIN に対応したアプリケーションソフトからスキャナやデジタルカメラを使って画像の読み取りができるようになります。

画像を読み取って印刷するまでの流れ

●参考

スキャナを初めて使うときは、スキャナドライバをインストールしてください。
➡『かんたんスタートガイド』

操作のしかたについて、詳しくは青字で表示されている参照ページをご覧ください。
また、スキャナドライバの詳しい説明は、「Windows ドライバガイド」「Macintosh ドライバガイド」の「スキャナドライバ」または「スキャナ用アプリケーションソフト」に記載されています。

スキャナカートリッジを取り付ける

➡ スキャナカートリッジに交換する

画像読み取りソフトウェアを起動する

➡ 画像読み取りソフトウェアを起動する
➡ 白基準補正を行う

原稿をセットしてプレスキャンする

➡ 原稿をセットする
➡ プレスキャンする

再び原稿をセットしてスキャンする

➡ スキャンする

BJ カートリッジを取り付けて印刷する

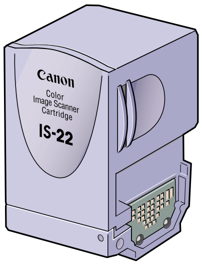
➡ 読み取った画像を印刷する

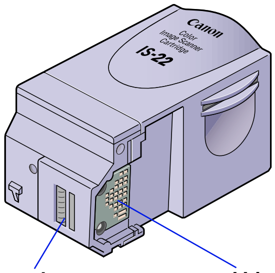
●参考

スキャナで読み取った書類、楽譜、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人として使用する以外は著作権法により著作者に無断で使用できません。
下記のものは、スキャナで読み取るだけで、法律により罰せられます。
紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券、外国において流通する紙幣・貨幣・証券類、未使用郵便切手、官製はがき類、政府発行の印紙、酒税法で規定の証券類、民間発行の有価証券、定期券、回数券など。

スキャナカートリッジに交換する

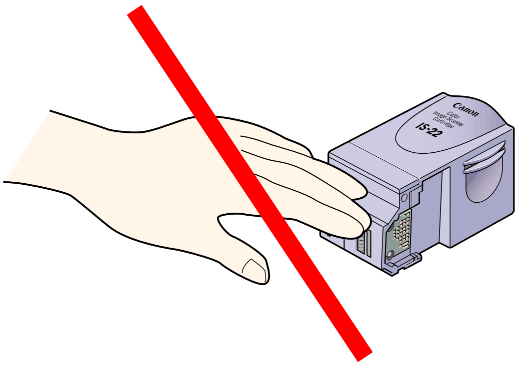
プリンタをスキャナとして使うには、カラーイメージスキャナカートリッジIS-22（以降、スキャナカートリッジと略します）が必要です。

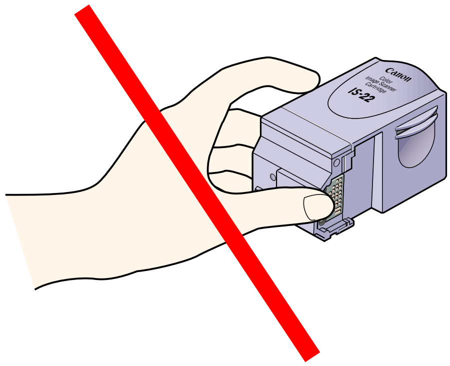




●禁止

- **読み取り部に触れないでください。読み取りが正しくできなかったり、読み取った画像の品質が低下する場合があります。**
- **基板に触れないでください。接触不良や静電気が発生し、スキャナカートリッジを傷める場合があります。**



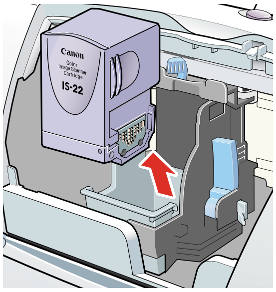


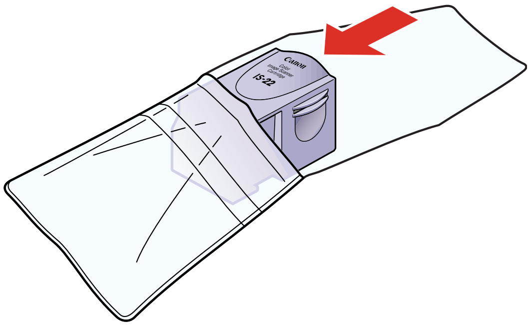
●参考

スキャナカートリッジを使用しないときは、保管袋に入れてください。

●禁止

スキャナカートリッジを BJ カートリッジの保管箱に入れて保管しないでください。保管箱には BJ カートリッジのプリントヘッドの乾燥や汚れを防ぐためのパッドが付いているため、スキャナカートリッジの読み取り部を傷める原因となります。





プリンタにスキャナカートリッジを取り付けます。以下の手順でカートリッジホルダに取り付けられている BJ カートリッジを、スキャナカートリッジに交換してください。

1 プリンタの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認し、フロントカバーを開けます。

カートリッジホルダが中央へ移動します。

2 カートリッジ固定レバーを上げます。

3 BJ カートリッジを持ち上げて取りはずします。

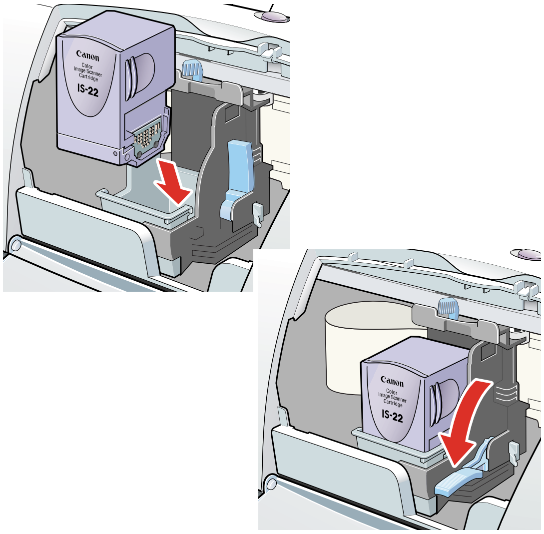
⚠ 注意

BJ カートリッジを落としたり、振ったりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。

●参考

取りはずした BJ カートリッジは、保管箱に入れてください。

4　スキャナカートリッジをカートリッジホルダに差し込み、カートリッジ固定レバーを止まるまでしっかりと下げます。



画像読み取りソフトウェアを起動する

■ TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトから IS Scan をお使いの場合

1 **TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトを起動します。**

お使いのコンピュータに複数の TWAIN 対応のデバイスドライバがインストールされている場合には、手順 2 に進み、そうでない場合には、手順 3 に進んでください。

●参考

アプリケーションソフトによっては、TWAIN 対応のデバイスドライバを 1 つしかインストールしていなくても手順 2 の操作を行わなければならないものもあります。

2 **これから使用する入力機器を選びます。**

一般的には［ファイル］メニューから［TWAIN 対応機器の選択］を選びます。

デバイスドライバを選択するためのダイアログボックスが表示されます。表示されるダイアログボックスは、アプリケーションソフトによって違います。

Windows

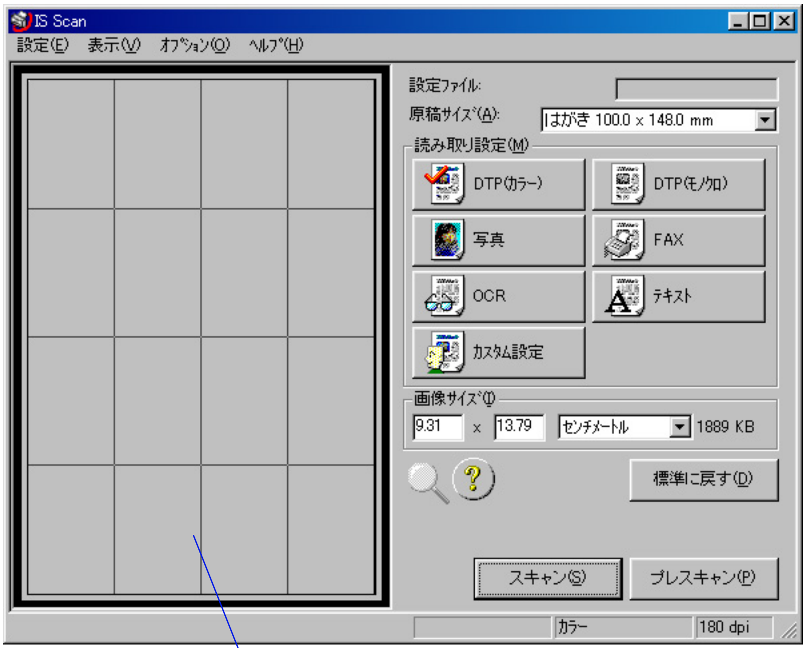
［Canon IS Scan 2］を選び、設定を有効にするためのボタン（一般的には［OK］または［選択］）をクリックします。

Macintosh

［IS Scan F210 DS］を選び、設定を有効にするためのボタン（一般的には［OK］または［選択］）をクリックします。

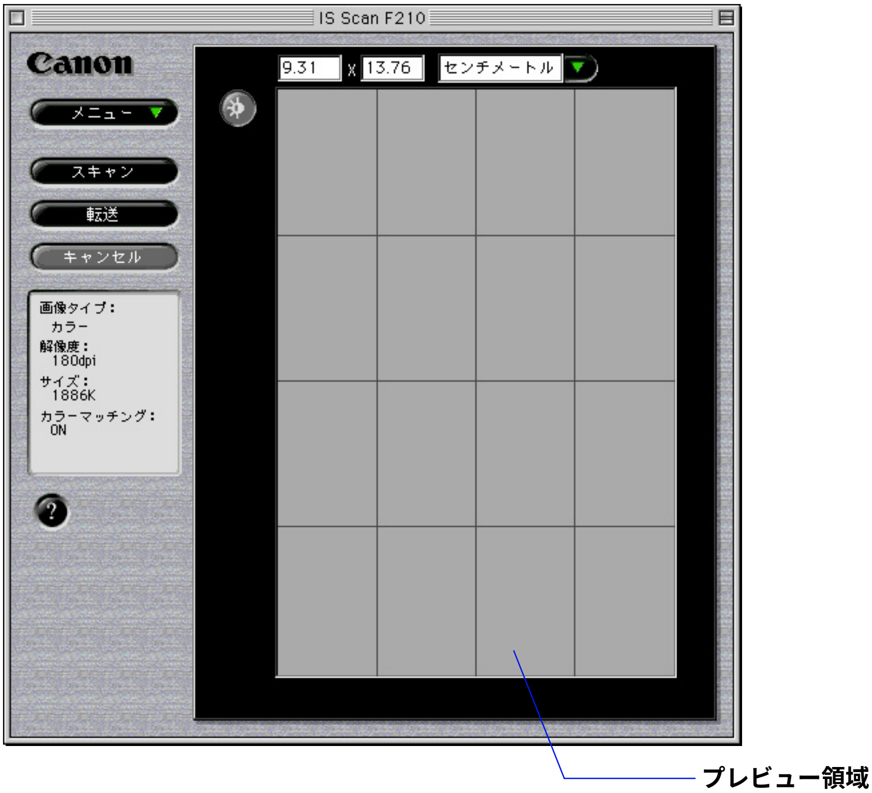
3　アプリケーションソフトからIS Scanを起動します。
一般的には［ファイル］メニューから［TWAIN 対応機器からの入力］を選びます。
IS Scanが起動します。

Windows



（Macintoshの画面は、次のページをご覧ください）

Macintosh


IS Scan F210
Canon
9.31
x
13.76
センチメートル
メニュー
スキャン
転送
キャンセル
画像タイプ：
カラー
解像度：
180dpi
サイズ：
1886K
カラーマッチング：
ON
プレビュー領域

■ IS Scan Plus をお使いの場合

Windows

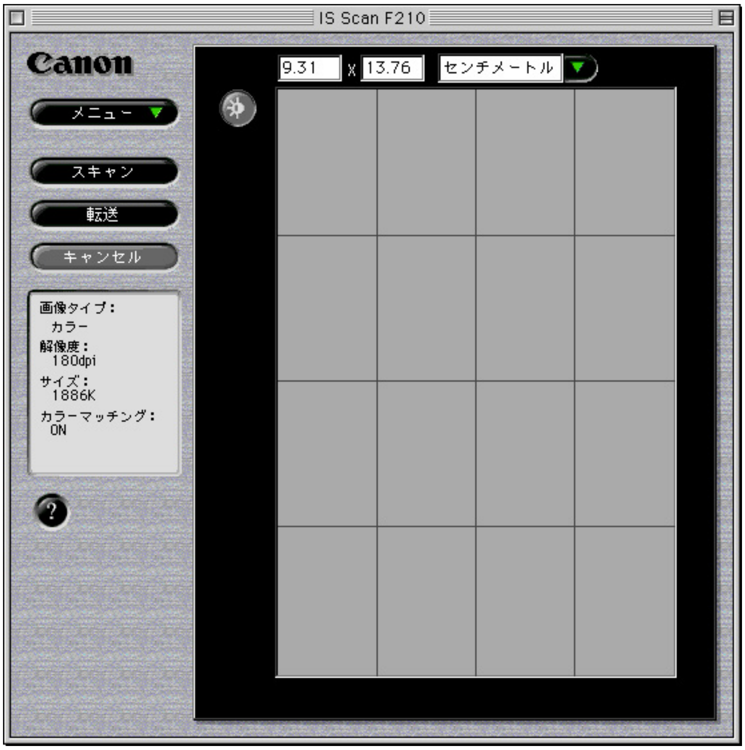
［スタート］をクリックし、［プログラム］－［IS Scan Plus］－［IS Scan Plus］を選択します。
IS Scan Plus のメインメニュー画面が表示されます。



■ IS Scan を単独で起動してお使いの場合

Macintosh

インストールの際に指定したフォルダの中にある［IS Scan F210］をダブルクリックします。
IS Scan のメインダイアログボックスが表示されます。



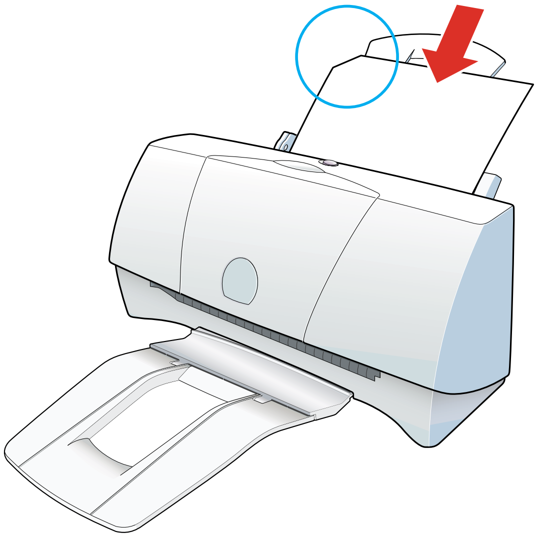
白基準補正を行う

スキャナを初めて使うときには、白基準補正という操作をする必要があります。「白基準補正」とは、スキャナが正しく色を読み取れるよう、白色を基準にして色を調整することです。白基準補正は白基準シートを使って行います。白基準シートは、下図のようにセットします。

1 白基準シートをオートシートフィーダにセットします。

注意

必ず白基準シートの切り欠きが、（下図のように）左上にくるように、オートシートフィーダにセットしてください。



2 お使いの画像処理アプリケーションソフトに応じて、以下の操作を行います。

■ IS Scan Plus をお使いの場合

Windows

メインメニュー画面の［画像を取り込もう］をクリックすると表示される画面の［カスタム設定］をクリックします。次に［カスタム設定］ダイアログボックスの［白基準補正］をクリックします。

■ IS Scan を単独で起動してお使いの場合

Macintosh

［メニュー］で［設定］を選ぶと表示される設定ダイアログで［白基準補正］をクリックします。

■ TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトから IS Scan をお使いの場合

Windows

［オプション］メニューから［白基準補正］を選びます。

Macintosh

［メニュー］で［設定］を選ぶと表示される設定ダイアログで［白基準補正］をクリックします。

●参考

Windows

コンピュータのパラレルインタフェース、USB インタフェースの両方にそれぞれプリンタを接続している場合は、［通信ポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。
使用する通信ポートを選んで [OK] をクリックしてください。

3 ［白基準補正］をクリックすると、白基準シートをセットするようにメッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。
排紙トレイに白基準シートが排出されると、白基準補正が完了します。設定画面の［OK］をクリックしてください。

注意

- 白基準シートは、直射日光が当たる場所や高温多湿になる場所に置かないでください。
- 白基準シートは、折り曲げたり、汚したりしないようにしてください。汚れたときは、家庭用洗剤を水で薄め、それに浸した柔らかい布でやさしく拭いてください。そのあと、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

●参考

周囲の温度変化などにより白基準の値が変化すると、白基準補正を行うようにメッセージが表示されることがあります。そのときは白基準補正を行ってから、読み取り操作をしてください。

読み取る原稿

読み取ることができる原稿のサイズと厚さについて説明します。

■読み取り可能な原稿のサイズ

原稿のサイズと実際の読み取り可能範囲は、次の表のとおりです。

（単位：mm）

原稿	サイズ（幅×高さ）	実際の読み取り範囲（幅×高さ）
ハガキ	100 × 148	93 × 138
A5*	148 × 210	141 × 200
A4*	210 × 297	203 × 287
B5*	182 × 257	175 × 247
Letter*	215.9 × 279.4（8.5 × 11.0 インチ）	208 × 269
Legal*	215.9 × 355.6（8.5 × 14.0 インチ）	208 × 332

＊別売の A4 サイズのスキャニングホルダを使用してください。
ディスプレイの表示解像度およびスキャナの読み取り解像度によって、実際の読み取り範囲は若干異なります。

●参考

IS-22 付属のスキャニングホルダより大きなサイズの原稿を読み取る場合は、別売の A4 サイズ（SH-101 A4/LTR）のスキャニングホルダが必要です。

■読み取り可能な原稿の厚さ

読み取ることができる原稿の厚さは、スキャニングホルダを含めて 0.45mm までです。スキャニングホルダの厚さは 0.2mm ですので、原稿は 0.25mm までとなります。

注意

プリンタやスキャナカートリッジを傷める場合がありますので、ホチキスやクリップなどのついた原稿は読み取らせないようにしてください。

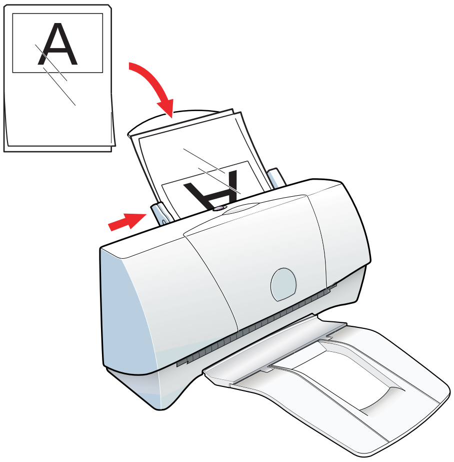
原稿をセットする

1 **用紙ガイドをつまんで、オートシートフィーダの左端に寄せます。**

2 **スキャニングホルダに原稿をはさみます。**
向きや読み取り可能範囲に注意してください。

➡ スキャニングホルダの使いかた
➡ 読み取る原稿

3 **図のようにスキャニングホルダをオートシートフィーダにセットします。**
用紙ガイドをつまんで、原稿の左端に合わせます。

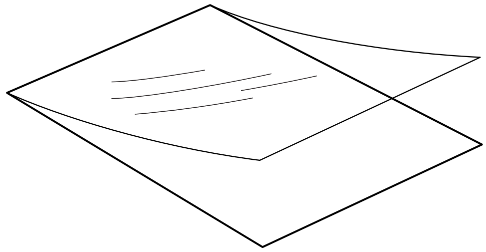


⚠ 注意

必ずスキャニングホルダの上端（綴じてあるほう）を下にしてセットしてください。逆向きでセットすると、プリンタ本体や原稿、スキャニングホルダを傷める場合があります。

スキャニングホルダの使いかた

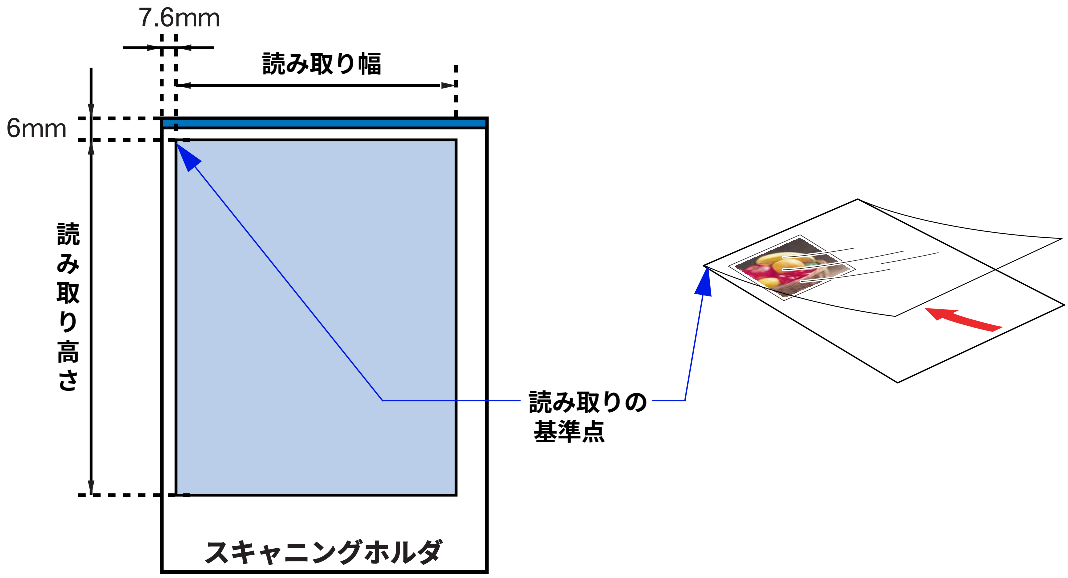
原稿を読み取るときは、スキャニングホルダをお使いください。



⚠ 注意

- **紙づまりを防ぐために、原稿は必ずスキャニングホルダにはさんで読み取らせてください。**
- **無理に開いたり、原稿を押し込んだりしないようにしてください。**
- **直射日光が当たる場所や高温多湿になる場所に置かないでください。**
- **プリンタにスキャニングホルダをセットするときは、プリンタの紙間選択レバーが左にセットされていることを確認してください。正しくセットされないまま読み取り操作を行うと、読み取った画像の品質が低下する場合があります。**

原稿は下図のように読み取りの基準点に合わせてセットします。基準点はスキャニングホルダの上端（綴じてあるほう）から6mm、左端から 7.6mm の位置になります。



●参考

スキャニングホルダの先端から 32mm の範囲では、読み取り画像に色むらが起きたり、画像が歪んだりする場合があります。

プレスキャンする

原稿の一部だけを読み取りたいときは、プレスキャンして読み取り範囲を指定しておくと、読み取りたい範囲だけをスキャンできるので時間が短縮されて便利です。また、原稿全体を読み取りたいときにも、原稿の置き場所が曲がっていないかどうかチェックすることができるので、プレスキャンすることをお勧めします。

1 読み取る原稿の種類とサイズを選びます。

Windows

［読み取り設定］で原稿の種類を、［原稿サイズ］で原稿の大きさに合ったサイズを選ぶ。

Macintosh

［メニュー］から［設定］を選択する。
次に設定ダイアログの［原稿サイズ］で原稿の大きさに合ったサイズを、［読み取り方式］で原稿の種類を選び、［プレスキャン］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを入れてから［OK］をクリックする。

➡ 原稿に合わせて読み取りの設定を変える

2 ［プレスキャン］をクリックします。

スキャニングホルダが排紙トレイに排出され、読み取られた画像が白黒で表示されます。
このプレスキャンの操作で、読み取り可能範囲に正しく原稿が置かれているかどうか確認します。プレスキャンをやり直したい場合には、原稿を正しくスキャニングホルダにはさみ直し、オートシートフィーダにセットして［プレスキャン］をクリックします。

3 読み取る範囲を指定します。

原稿の一部を読み取りたい場合は、マウスをドラッグして読み取る範囲（矩形）を指定します。読み取る範囲が枠で囲まれます。枠の中にマウスポインタを移動させると形が ✣ に変わります。その状態でドラッグすると枠の位置を移動させることができます。

マウスをドラッグする



●参考

Windows

範囲指定を取り消したい場合は読み取った画像の上で右クリックします。枠が消え、再び範囲指定ができる状態になります。

Macintosh

範囲指定を取り消したい場合は Control キーを押しながら読み取った画像の上でクリックします。枠が消え、再び範囲指定ができる状態になります。

原稿に合わせて読み取りの設定を変える

IS Scan Plus や IS Scan を起動したあと、読み取る原稿に合わせて設定を変える必要があります。

■ IS Scan Plus をお使いの場合



読み取る原稿の種類を選びます。ボタンを 1 回クリックすると赤いチェックマークが付き、原稿に合わせた最適の条件で読み取りができるように設定されます。
その状態でもう 1 回クリックすると設定された内容が表示されます。

読み取る原稿のサイズを選びます。

●参考

［カスタム設定］をクリックすると、読み取りの条件をご自分で設定できます。

➡ 好みの設定で読み取る

■ TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトから IS Scan をお使いの場合

Windows



読み取る原稿のサイズを選びます。

読み取る原稿の種類を選びます。ボタンを 1 回クリックすると赤いチェックマークが付き、原稿に合わせた最適の条件で読み取りができるように設定されます。
その状態でもう 1 回クリックすると設定された内容が表示されます。

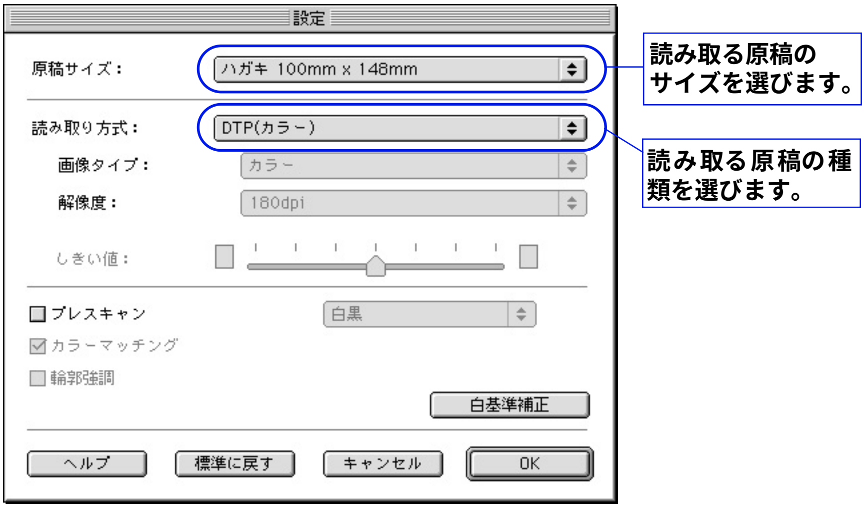
選んだ原稿サイズに合わせて値が変化します。

●参考 [カスタム設定] をクリックすると、読み取りの条件をご自分で設定できます。

➡ 好みの設定で読み取る

(Macintosh の画面は、次のページをご覧ください)

Macintosh



●参考

［読み取り方式］で［ユーザ設定］を選ぶと、読み取りの条件をご自分で設定できます。

➡好みの設定で読み取る

スキャンする

1 原稿をセットします。

プレスキャンした原稿（スキャニングホルダにはさんだ状態）を再びオートシートフィーダにセットします。
スキャニングホルダの中の原稿の位置がずれないように注意してください。

2 スキャンします。

［スキャン］をクリックします。
スキャニングホルダが排紙トレイに排出され、プレスキャンのときに指定した範囲の画像が［プレビュー領域］に表示されます。

●参考 本や雑誌など印刷物の中の写真を読み取ると、画像に網がかかったように見えることがあります。そのような場合は、設定した読み取り解像度を低く設定し直して、再び読み取ってみてください。

3 必要に応じて、読み取った画像を保存します。

➡ 読み取った画像を保存する

■画像読み取りソフトウェアを終了するには

Windows をお使いの方で読み取った画像を印刷する場合は、ここで IS Scan Plus を終了せずに印刷の操作を始めてください。
Macintosh をお使いの方で読み取った画像を印刷する場合は、IS Scan を終了させてから印刷の操作を始めてください。

➡ 読み取った画像を印刷する

Windows ［終了］をクリックします。
IS Scan Plus が終了します。

Macintosh ［ファイル］メニューから［終了］を選択します。
IS Scan が終了します。

●参考 TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトの終了のしかたは、アプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

読み取った画像を保存する

ほかのアプリケーションソフトで利用するために、読み取った画像を保存します。

■ IS Scan Plus をお使いの場合

Windows

原稿を読み取ったあと、［保存］をクリックします。
［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。保存する場所、ファイル名、ファイルの種類などを指定して［保存］をクリックします。

■ IS Scan を単独で起動してお使いの場合

Macintosh

原稿を読み取ったあと、［保存］をクリックします。保存のダイアログが表示されます。
保存する場所、保存名、ファイル形式などを指定して［保存］をクリックします。

■ TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトから IS Scan をお使いの場合

IS Scan で原稿を読み取ったあと、アプリケーションソフトに転送した画像を保存します。一般的に、［ファイル］メニューから［名前をつけて保存］あるいは［別名で保存］を選びます。
操作方法はアプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

読み取った画像を印刷する

スキャンした画像を印刷します。

印刷する前に、スキャナカートリッジと BJ カートリッジを交換します。

以下の手順で交換してください。

1. プリンタの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認して、フロントカバーを開けます。
2. カートリッジ固定レバーを上げて、スキャナカートリッジを取りはずします。
3. 取りはずしたスキャナカートリッジは保管袋に入れます。
4. BJ カートリッジを取り付けて、カートリッジ固定レバーをしっかりと下げます。
5. フロントカバーを閉じます。

印刷の手順は、以下のとおりです。

Windows

［印刷］をクリックします。

Macintosh

画像を印刷できるアプリケーションソフトを起動し、保存した画像ファイルを開きます。
［ファイル］メニューで、［開く］を選ぶのが一般的です。

次に印刷を実行するためのコマンドを選びます。
［ファイル］メニューで、［プリント］を選ぶのが一般的です。

印刷に関する設定が終了したら用紙をセットし、［印刷］または［プリント］をクリックしてください。

写真をきれいに印刷するには

きれいな印刷のポイント
写真印刷の手順
フォト BJ カートリッジを取り付ける

きれいな印刷のポイント

デジタルカメラやスキャナなどで読み取った写真、ネットワークや市販の CD-ROM などで入手した画像データをきれいに印刷するには、３つのポイントがあります。

（1）フォト BJ カートリッジを使用すること

（2）写真に適した用紙を使用すること

（3）フォト BJ カートリッジ、および使用する用紙に合った印刷設定を行うこと

これらのポイントを押さえた操作手順を、次ページ以降で説明します。

写真印刷の手順

1 プリンタの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認します。
フォト BJ カートリッジがセットされていることを確認し、使用する用紙を正しくセットします。

➡ フォト BJ カートリッジを取り付ける

普通紙でも写真をきれいに印刷できますが、色の再現性にこだわるなら、以下のキヤノン製専用紙の使用をお勧めします。

- 高品位専用紙（HR-101S）
- フォト光沢紙（GP-301）
- フォト光沢ハガキ（KH-201N）
- フォト光沢カード（FM-101）

2 プリンタドライバの設定画面を開き、次に示すアイコンを選びます。

Windows



［オートパレット］で［スーパーフォト］を選ぶと、［BJ カートリッジ］の設定は自動的に［フォト］となり、フォト BJ カートリッジを使用する設定になります。

Macintosh



［印刷設定］で［写真］を選択し、［BJ カートリッジ］の設定で［フォト］を選択してください。

●参考

Windows をお使いの方で、デジタルカメラの画像を印刷する場合は、［オートパレット］で［デジカメ］を選んでください。［スーパーフォト］と同様にフォト BJ カートリッジで印刷します。
また、［デジカメ］を選んだ場合、画像の色合いの補正がされます。
Macintosh をお使いの場合は、［詳細設定］ダイアログの［クオリティ］パネルで画像の色合いを補正できます。

➡ 画像の色合いを補正する

3 [用紙の種類] から、プリンタにセットした用紙を選びます。

たとえば、フォト光沢紙をセットしている場合は、[光沢紙] を選んでください。

以上で、写真を印刷するために最低限必要な設定は完了です。[OK]（Windows の場合）または [プリント]（Macintosh の場合）をクリックして印刷を開始してください。

●参考 [用紙の種類] は、必ずセットした用紙に合わせるようにしてください。セットした用紙と異なる設定のままで印刷すると、正しい色合いを再現できません。

■画像の色合いを補正する

プリンタドライバには、画像の色調を鮮やかに補正して印刷する機能があります。これをフォトデータ補正と呼びます。写真が薄暗くなったり、白っぽくなってしまう場合は、この機能を使用してください。
フォトデータ補正機能の設定は、プリンタドライバの設定画面で次のように行います。

Windows

[オートパレット] で [デジカメ] を選ぶと、フォトデータ補正が自動的に設定されます。
ただし、画像処理アプリケーションソフトなどで、切り抜き、回転などの加工をした画像の場合は、[デジカメ] を選んでもフォトデータ補正が機能しません。この場合は、[オートパレット詳細] をクリックして、[ページ内一括] を選んでください。
フォトデータ補正が働くようになります。

➡ 画像の補正を行う

Macintosh

[クオリティ] パネルで [フォトデータ補正] を選択します。
この操作をすれば、画像編集ソフトなどで切り抜き、回転などの加工をした画像もフォトデータ補正が働きます。

➡ 画像の補正を行う

補正なし



補正あり



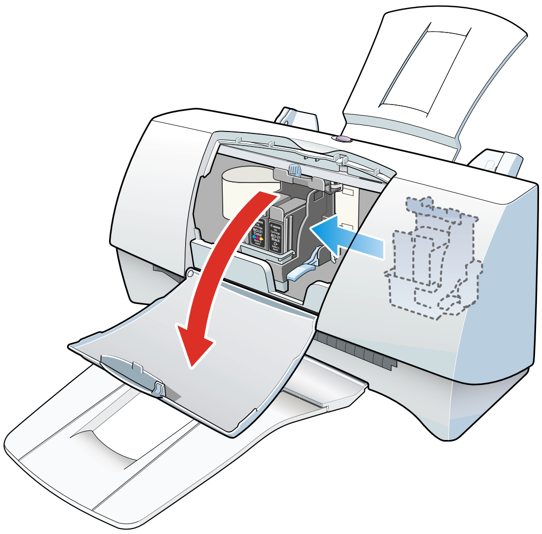
フォト BJ カートリッジを取り付ける

●参考

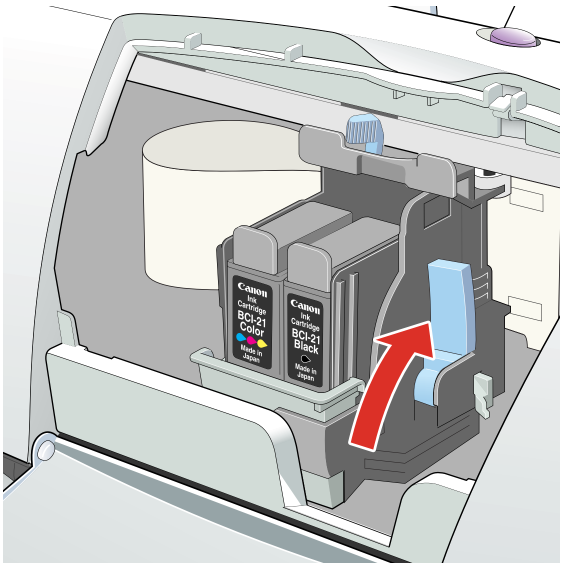
BJ カートリッジを交換する前に、カートリッジ保管箱（SB-21）を別途ご購入ください。取りはずした BJ カートリッジは、インクの乾燥を防ぐため、必ず保管箱に入れてください。

1 プリンタの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認し、フロントカバーを開けます。

カートリッジホルダが中央に移動します。



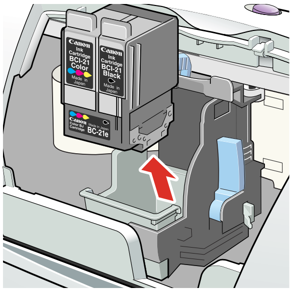
2 カートリッジ固定レバーを上げます。

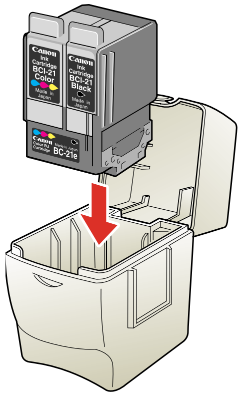


3 BJ カートリッジが取り付けられている場合は、持ち上げて取り出します。

注意

BJ カートリッジを落としたり振ったりしないでください。
インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

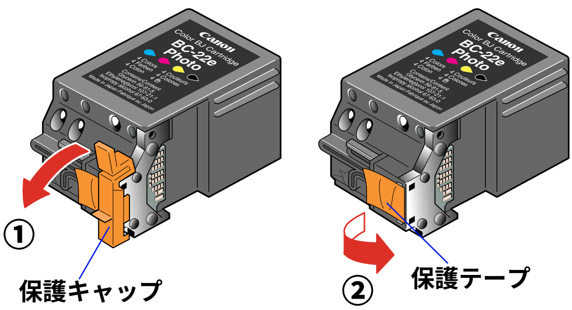




●参考

- 使用済みの BJ カートリッジは、回収のご協力をお願いします。捨てるときは、地域の条例にしたがってください。
- まだ使える BJ カートリッジを保管するときは、保管箱に入れてください。保管箱に入れないと、インクが乾燥して、その後印刷できなくなります。
- BJカートリッジのプリントヘッドや電極部には手を触れないように注意してください。

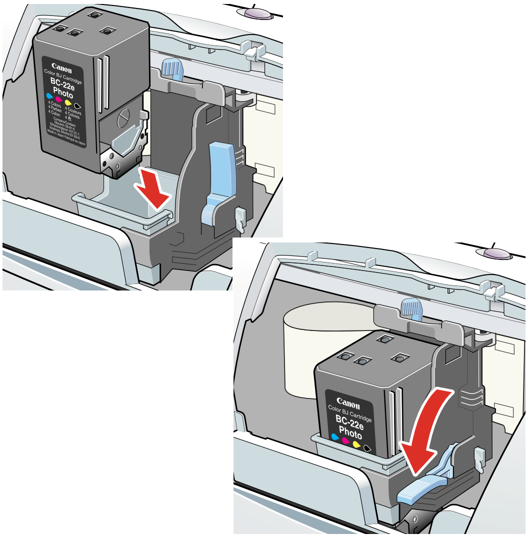
4 フォト BJ カートリッジをパッケージから取り出し、オレンジ色の保護キャップと、保護テープをはずします。



●禁止

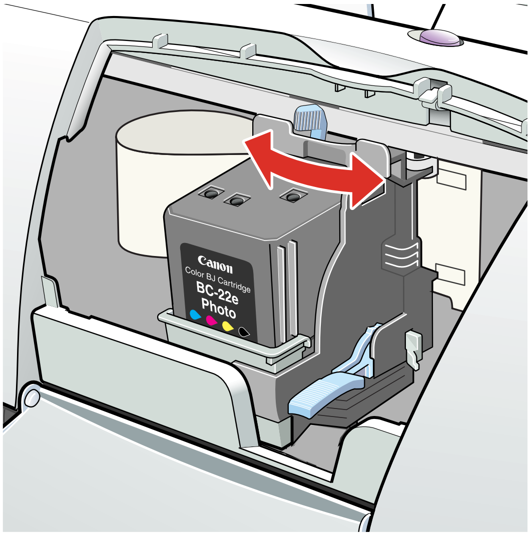
- はずした保護キャップと保護テープは再装着できません。地域の条例にしたがって捨ててください。
- プリントヘッドには触らないでください。その後印刷できなくなることがあります。

5 **フォト BJ カートリッジをカートリッジホルダに差し込み、カートリッジ固定レバーを止まるまでしっかりと下げます。**



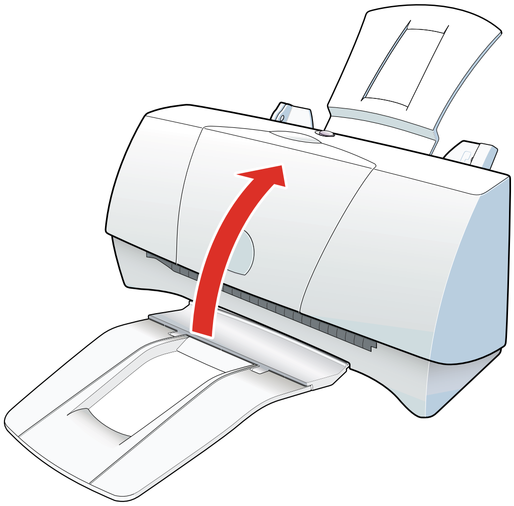
6 **紙間選択レバーを、印刷する用紙に合った位置にセットします。**

封筒またはバナー紙に印刷する場合は、右（ ）にセットします。
その他の用紙に印刷する場合は、左（ ）にセットします。



7 **フロントカバーを閉じます。**

自動的にプリントヘッドのクリーニングが始まります。動作音がしなくなるまで、しばらくお待ちください。



これでフォト BJ カートリッジの取り付けは完了です。

トラブル解決／アドバイス編

困ったときには

給紙ローラのクリーニング

プリンタの移送

困ったときには

トラブルかな？と思ったら、以下の項目を確認して、トラブル解決の手がかりを見つけましょう。

印刷結果に満足できない

プリンタが動かない／途中で止まる

用紙が送られない／用紙がつまった

画面にメッセージが表示されている

スキャナのトラブル

その他のトラブル

トラブル回避に役立つ操作

お問い合わせの前に

印刷結果に満足できない

カラー原稿がモノクロになる
カラーがきれいに印刷されない
画面と色合いが違う
画面と印刷結果が違う
90゜回転してしまう
左上にずれる
右下にずれる／右側や下端が欠ける
左右反転した画像(鏡像)になる
拡大／縮小がうまくできない
ページにまたがる
かすれる／違う色になる
罫線がずれる
用紙がカールする
用紙の裏が汚れる
インクがにじむ
印刷面がこすれる
白い筋が入る
色むらや色筋がある
文書の最後まで印刷できない
文字や図形がギザギザになる／グラデーションが帯状の模様になる

Macintosh

カラー原稿がモノクロになる

カラーで作成した原稿がモノクロで印刷されます。

Check 1　**ブラック BJ カートリッジを取り付けていませんか？**

Check 2　**[BJ カートリッジ］の設定を［ブラック］にしていませんか？**

Check 3　**[グレースケール印刷］の設定をしていませんか？**

Check 4　**アプリケーションソフトでモノクロ印刷の設定をしていませんか？**

Check 5　**BJ F210 用以外のプリンタドライバを使用していませんか？**

Windows

Check 1　ブラック BJ カートリッジを取り付けていませんか？

ブラック BJ カートリッジではカラー印刷はできません。印刷目的に応じて、カラー BJ カートリッジなどに交換してください。
BJ カートリッジの交換方法については、『基本操作ガイド』の「カートリッジの種類と使いかた」をご覧ください。

Check 2　［BJ カートリッジ］の設定を［ブラック］にしていませんか？

プリンタドライバの設定画面を開き、［メイン］シートの［BJ カートリッジ］を確認してください。
［ブラック］が選択されている場合は、カラー BJ カートリッジ、フォト BJ カートリッジ、蛍光 BJ カートリッジを取り付けていてもモノクロで印刷されます。取り付けられている BJ カートリッジに合わせて、正しく選択してください。

Windows　➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh　➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

Check 3　［グレースケール印刷］の設定をしていませんか？

プリンタドライバの設定画面を開き、［グレースケール印刷］のチェックボックスを確認してください。
チェックマークが付いていたら、クリックして消してください。
［グレースケール印刷］のチェックボックスの位置は次のとおりです。

Windows　設定画面の［メイン］シート

Macintosh　設定画面（プリントダイアログ）の左下

Check 4　アプリケーションソフトでモノクロ印刷の設定をしていませんか？

アプリケーションソフトの中には、カラー印刷の設定ができるものがあります。
カラー印刷をしない設定になっていないか確認してください。
カラー印刷をしない設定になっている場合は、設定を変更してください。
操作方法はアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

Check 5　BJ F210 用以外のプリンタドライバを使用していませんか？

Windows

モノクロ専用プリンタのドライバを使用していると、カラー原稿でもモノクロで印刷されてしまいます。アプリケーションソフトの印刷ダイアログボックスのプリンタ名を確認して、［Canon BJ F210］が選択されていることを確認してください。操作方法はアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

●参考　Windows で Canon BJ F210 を通常使用する場合は、通常使うプリンタとして設定しておくと便利です。

カラーがきれいに印刷されない

写真やイラストなどの画像を印刷すると、カラーの発色が思うようにきれいになりません。

Check 1　**適した用紙、BJ カートリッジを使っていますか？**

Check 2　**プリンタドライバの設定は用紙や印刷目的に合っていますか？**

Check 3　**詰め替えインクを使っていませんか？**

Check 1　適した用紙、BJ カートリッジを使っていますか？

写真やイラストのような画像の印刷には、高品位専用紙、フォト光沢紙、光沢フィルムが向いています。普通紙よりも色再現範囲が広がり、鮮やかな発色が得られるからです。
グラフやチャートなどの図を印刷する場合は、カラーBJ カートリッジ（BC-21e）が適しています。写真などの自然画像やグラデーションを多用したイラストなどには、フォト BJ カートリッジ（BC-22e フォト）が適しています。
BJ カートリッジが消耗している場合も、きれいに印刷されないことがあります。ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷方法については、『基本操作ガイド』の「お手入れ」をご覧ください。

Check 2　プリンタドライバの設定は用紙や印刷目的に合っていますか？

プリンタドライバの設定画面を開き、印刷目的に適したアイコンを選択してください。また、［BJ カートリッジ］、［用紙の種類］の設定が実際に使用するものと合っているか確認してください。

Windows　➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh　➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

●参考　設定されている色味に満足できない場合は、「カラーバランス」、「マッチング方法」「ガンマ係数」の設定を微調整してみてください。

Check 3　詰め替えインクを使っていませんか？

市販の詰め替えインクなどを使用すると、十分なカラー品質が得られないことがあります。指定のインクカートリッジおよび BJ カートリッジのご使用をお勧めします。
BJ カートリッジについて、詳しくは『基本操作ガイド』の「カートリッジの種類と使いかた」をご覧ください。

画面と色合いが違う

コンピュータの画面で見た色と印刷した色が違います。たとえば、ディスプレイでは青に見えるものが紫に、黄緑に見えるものが深緑に印刷されます。

ディスプレイとプリンタでは発色方法が異なります。また、ディスプレイを見ている環境や色の調整によっても発色が異なるため、印刷結果が完全に同じ色合いにはなりません。しかし、極端に異なる場合は以下の項目を確認してください。

Check 1 **BJ カートリッジのインクが正常に出ていますか？**

Check 2 **プリンタドライバの設定を正しく行っていますか？**

Check 1　BJ カートリッジのインクが正常に出ていますか？

極端に色合いがおかしいときは、BJ カートリッジの特定のインクがなくなっているか、プリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。
ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。
ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
ノズルチェックパターンの印刷、クリーニングの方法については、『基本操作ガイド』の「お手入れ」をご覧ください。

Check 2　プリンタドライバの設定を正しく行っていますか？

設定画面を開いて、印刷目的に適したアイコンを選択してください。また、［BJ カートリッジ］、［用紙の種類］の設定が、実際に使用するものと合っているか確認してください。
Windows をお使いの場合は、［オートパレット詳細］の［特殊効果］シートで、［単色効果］の設定が実際に使用するものと合っているかどうかも確認してみてください。

Windows　➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh　➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

●参考

各アイコンで設定されている色合いに満足できない場合、Windows をお使いの方は「カラーバランス」、「マッチング方法」、「ガンマ係数」の設定を微調整してみてください。
Macintosh をお使いの方は、［マニュアル］で設定して、印刷してみてください。

画面と印刷結果が違う

コンピュータの画面では正しく表示されているのに、印刷すると画面の内容と異なってしまいます。

Check 1　前回の印刷を途中でキャンセルしませんでしたか？

Check 2　BJ F210 用以外のプリンタドライバを使用していませんか？

Windows

Check 3　プリンタとコンピュータはしっかり接続されていますか？

Check 4　印刷した文書ファイルに問題はありませんか？

Check 1　前回の印刷を途中でキャンセルしませんでしたか？

印刷中にキャンセルしたときのデータがプリンタやコンピュータに残っている可能性があります。
プリンタとコンピュータ機器の電源を入れ直して、もう一度印刷してください。

●参考

Windows の印刷システムにデータが残っているかを確認するには、［スタート］ボタンをクリックして、［設定］から［プリンタ］を選択し、［Canon BJ F210］アイコンをダブルクリックしてください。
ウィンドウの中に、前回印刷したデータが残っていれば削除してください。詳しくは Windows の取扱説明書、ヘルプをご覧ください。

Check 2　BJ F210 用以外のプリンタドライバを使用していませんか？

Windows

機種の異なるプリンタのドライバを使用していると、意味不明な文字、記号などが印刷されることがあります。
アプリケーションソフトの印刷ダイアログボックスのプリンタ名を確認して、「Canon BJ F210」が選択されていることを確認してください。

●参考

- 操作方法はアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。
- Windows で Canon BJ F210 を通常使用する場合は、通常使うプリンタとして設定しておくと便利です。

Check 3　プリンタとコンピュータはしっかり接続されていますか？

しっかり接続されていないと、画面と異なる内容が印刷されることがあります。よく確かめてください。

➡ プリンタとコンピュータの接続を確認する

Check 4　印刷した文書ファイルに問題はありませんか？

特定の文書を印刷したときのみ、画面と異なる内容が印刷される場合は、その文書ファイルに問題があるか、そのファイルで使用されているアプリケーションソフトの機能に問題がある可能性があります。
もう一度、文書を作成し直してから印刷してみてください。新しい文書で問題がなければ、元の文書ファイルに問題があったと考えられます。
新しい文書でも同じ症状がある場合は、電話ご相談窓口にお問い合わせください。

➡ 電話ご相談窓口

90°回転してしまう

原稿が 90 ° 回転した状態で印刷されて、後半の部分が切れてしまいます。

Check 1　［印刷方向］の設定は正しいですか？

Check 2　アプリケーションソフトで 90 ° 回転させて印刷する設定をしていませんか？

Check 1　［印刷方向］の設定は正しいですか？

用紙を縦にセットしたときに［印刷方向］が横方向に設定されていると、原稿は 90 ° 回転して印刷されます。
このような場合は、設定画面を開き、［印刷方向］を確認してください。
設定が正しくない場合は、［縦］を選択してください。
［印刷方向］は設定画面の中の次に示す場所にあります。

Windows　［ページレイアウト］シート

Macintosh　用紙設定ダイアログ

Check 2　アプリケーションソフトで 90 ° 回転させて印刷する設定をしていませんか？

アプリケーションソフトによっては、縦に給紙して横に印刷する機能を備えているものがあります。お使いのアプリケーションソフトの設定を確認してください。
詳しくはアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

●参考　このようなアプリケーションソフトをお使いの場合は、アプリケーションソフトとプリンタドライバの［印刷方向］の設定を一致させてください。

左上にずれる

用紙の左上にずれて印刷されます。

Check 1　プリンタドライバの設定より大きなサイズの用紙を使っていませんか？

Check 2　縮小印刷をしていませんか？

Check 1　プリンタドライバの設定より大きなサイズの用紙を使っていませんか？

プリンタドライバで設定している用紙サイズよりも大きな用紙に印刷すると、印刷位置が左上にずれて印刷されます。
設定画面を開き、［用紙サイズ］で使用する用紙サイズに設定してください。または、［用紙サイズ］の設定に合った用紙をセットしてください。

Windows ➡ 用紙サイズを設定する

Macintosh ➡ 用紙サイズに関する設定を行う（用紙設定ダイアログ）

Check 2　縮小印刷をしていませんか？

縮小印刷をする場合、設定より大きなサイズの用紙を使用すると印刷位置が左上にずれて印刷されます。
印刷する用紙のサイズに合うように縮小率を設定するか、縮小後の用紙サイズを正しく設定してください。

Windows ➡ 拡大／縮小印刷をする

Macintosh ➡ 拡大／縮小印刷をする

右下にずれる／右側や下端が欠ける

用紙の右下にずれて印刷されたり、右側や下端が欠けて印刷されます。

Check 1 **プリンタドライバの設定より小さなサイズの用紙を使っていませんか？**

Check 2 **拡大印刷をしていませんか？**

Check 1　プリンタドライバの設定より小さなサイズの用紙を使っていませんか？

プリンタドライバで設定している用紙サイズよりも小さな用紙に印刷すると、右側や下端が欠けて印刷されます。
設定画面を開き、［用紙サイズ］で使用する用紙サイズに設定してください。または、［用紙サイズ］の設定に合った用紙をセットしてください。

Windows
➡ 用紙サイズを設定する

Macintosh
➡ 用紙サイズに関する設定を行う（用紙設定ダイアログ）

Check 2　拡大印刷をしていませんか？

拡大印刷をする場合、設定より小さなサイズの用紙を使用すると印刷位置が右下にずれたり、右側や下端が欠けて印刷されます。
印刷する用紙のサイズに合うように拡大率を設定するか、拡大後の用紙サイズを正しく設定してください。

Windows
➡ 拡大／縮小印刷をする

Macintosh
➡ 拡大／縮小印刷をする

左右反転した画像(鏡像)になる

左右が反転し、裏返しの画像で印刷されます。

Check **［用紙の種類］を［バックプリントフィルム］や［T シャツ転写紙］に設定していませんか？**

プリンタドライバの設定画面を開き、［用紙の種類］を確認してください。
［用紙の種類］を実際に使用している用紙の種類に合わせて設定します。

Windows ➡ 基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

Macintosh ➡ 基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

拡大／縮小がうまくできない

拡大／縮小印刷がうまくできません。

Check 1　**［プリンタの用紙サイズ］で設定したものと同じサイズの用紙を使用していますか？**

Windows

Check 2　**設定した拡大／縮小率に合った用紙を使っていますか？**

Check 1　［プリンタの用紙サイズ］で設定したものと同じサイズの用紙を使用していますか？

Windows

使用する用紙サイズに合わせて拡大／縮小印刷する場合、設定画面の［ページレイアウト］シートの［用紙サイズ］にはアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと同じサイズを設定し、［プリンタの用紙サイズ］には使用する用紙のサイズを設定します。

Check 2　設定した拡大／縮小率に合った用紙を使っていますか？

拡大／縮小率を指定して印刷するには、指定した拡大／縮小率に合った用紙をプリンタにセットしてください。

Windows　➡ 拡大／縮小印刷をする

Macintosh　➡ 拡大／縮小印刷をする

ページにまたがる

1ページ目の最後の部分が次のページに印刷されます。

Check 1 **アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと、プリンタドライバで設定した用紙サイズが違っていませんか？**

Windows

Check 2 **アプリケーションソフトで設定した余白が大きすぎませんか？**

Check 1　アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと、プリンタドライバで設定した用紙サイズが違っていませんか？

Windows

アプリケーションソフトで設定されている用紙のサイズと同じサイズにプリンタドライバの[用紙サイズ]を設定してください。プリンタドライバの設定画面を開き、[ページレイアウト]シートの[用紙サイズ]でアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと同じサイズに設定します。

➡ 用紙サイズを設定する

Check 2　アプリケーションソフトで設定した余白が大きすぎませんか？

アプリケーションソフトで余白の値を小さく設定してください。余白を設定できない場合は、ページの文字間や行間をつめるよう設定してください。

●参考　操作方法はアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

かすれる／違う色になる

文字がかすれたり、違う色で印刷されます。

Check 1　**BJ カートリッジのインクが正常に出ていますか？**

Check 2　**一度はずした保護キャップや保護テープを再び取り付けませんでしたか？**

Check 3　**用紙の表裏を間違っていませんか？**

Check 1　BJ カートリッジのインクが正常に出ていますか？

極端に色合いがおかしいときは、BJ カートリッジの特定のインクがなくなっているか、プリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。
ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。
ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
ノズルチェックパターンの印刷、クリーニングの方法については、『基本操作ガイド』の「お手入れ」をご覧ください。

Check 2　一度はずした保護キャップや保護テープを再び取り付けませんでしたか？

BJカートリッジに付いているオレンジ色の保護キャップや保護テープは、一度取りはずしたら絶対に取り付けないでください。取り付けるとゴミや空気が入ってインクが出なくなることがあります。
もし取り付けてしまった場合は、すぐに取りはずして BJ カートリッジをセットし直し、プリントヘッドをクリーニングしてください。
それでもかすれる場合は、新しい BJ カートリッジにお取り替えください。

Check 3　用紙の表裏を間違っていませんか？

用紙によっては、印刷に適した面と適さない面があります。用紙の表裏を確認し、印刷に適した面に印刷するように用紙をセットしてください。

それぞれの用紙のセット方法については、「いろいろな用紙に印刷するには」をご覧ください。

罫線がずれる

表の罫線がずれて印刷されます。

Check 1　**BJ カートリッジは正しく取り付けましたか？**

Check 2　**印刷品位を高速側にしていませんか？**

Check 1　BJ カートリッジは正しく取り付けましたか？

BJ カートリッジを一度取りはずし、 正しく取り付け直してください。
BJ カートリッジの交換方法については、『基本操作ガイド』の「カートリッジの種類と使いかた」をご覧ください。

Check 2　印刷品位を高速側にしていませんか？

印刷品位を高品位側にして印刷すると、罫線が比較的きれいに印刷できます。

1 プリンタドライバの設定画面を開く。

2 ［オートパレット詳細］ をクリックする。
（Macintosh のマニュアル設定で印刷している場合は、［詳細設定］をクリックする。）

3 ［クオリティ］ タブ （Macintosh の場合は ［クオリティ］ アイコン） をクリックし、［印刷品位］ のスライドバーを ［高品位］ 側にドラッグして設定する。

Windows　➡ 印刷の品質を調整する

Macintosh　➡ 印刷の品質を変更する

用紙がカールする

印刷の終わった用紙が反り返ったり、波打ったようになります。

Check 1 **薄い用紙で印刷していませんか？**

Check 2 **高い濃度で印刷していませんか？**

Check 1　薄い用紙で印刷していませんか？

色の濃い絵や写真の印刷はインクを大量に使うため、用紙がカールしたり波打ったりすることがあります。この場合は、高品位専用紙や、フォト光沢紙のご使用をお勧めします。
高品位専用紙やフォト光沢紙には、印刷面にコーティング処理が施されているため、インクの吸着性が上がり、印刷後、用紙が反りにくくなっています。

●参考

高品位専用紙やフォト光沢紙の裏面はコーティング処理されていないため、インクの吸着性が悪くなります。間違って裏面に印刷しないようにしてください。より白い面が表面です。

Check 2　高い濃度で印刷していませんか？

濃度を低く設定して印刷してみてください。使用するインクの量が減るので、用紙の波打ちを防げます。

1. プリンタドライバの設定画面を開く。
2. ［オートパレット詳細］をクリックする。
（Macintosh のマニュアル設定で印刷している場合は［詳細設定］をクリックする。）
3. ［色設定］タブ（Macintosh の場合は［カラー］アイコン）をクリックし、［濃度］のスライドバーをドラッグして調整する。

Windows　➡ 色を調整する

Macintosh　➡ 色の調整を行う

●参考

用紙によっては、インクを大量に使う印刷をすると大きくカールすることがあります。このような用紙は、絵や写真のない文書の印刷に使用することをお勧めします。

用紙の裏が汚れる

印刷した用紙の裏が汚れてしまいます。

Check 1　**プリンタの内部が汚れていませんか？**

Check 2　**インクが乾かないうちに次のページが印刷されていませんか？**

Check 1　プリンタの内部が汚れていませんか？

プリンタを長期間使用していると、プリンタの内部が汚れてきます。
プリンタを清掃してください。
清掃のしかたについては、『基本操作ガイド』の「お手入れ」をご覧ください。

Check 2　インクが乾かないうちに次のページが印刷されていませんか？

写真など、乾燥に時間がかかるものを印刷するときは、前の用紙が十分に乾く前に次の用紙が排紙されることがあります。このようなときは、印刷が終了した用紙を 1 枚ずつ取り除いて重ならないようにしてください。

インクがにじむ

インクがにじんできれいに印刷できません。

Check 1　**写真やグラフィックスなど、インクを大量に使う原稿を印刷していませんか？**

Check 2　**普通紙を使っていませんか？**

Check 3　**プリントヘッドが汚れていませんか？**

Check 4　**高い濃度で印刷していませんか？**

Check 1　写真やグラフィックスなど、インクを大量に使う原稿を印刷していませんか？

印刷品位を高品位側にして印刷してみてください。
インクを大量に使う原稿のにじみが軽減されます。また、カラーや黒が接する部分が多い原稿でも、印刷品位を高品位側にするとにじみが少なくなります。

1. プリンタドライバの設定画面を開く。
2. ［オートパレット詳細］をクリックする。（Macintosh のマニュアル設定で印刷している場合は、［詳細設定］をクリックする。）
3. ［クオリティ］タブ（Macintosh の場合は［クオリティ］アイコン）をクリックし、［印刷品位］のスライドバーを［高品位］側にドラッグして設定する。

Windows　➡ 印刷の品質を調整する

Macintosh　➡ 印刷の品質を変更する

Check 2　普通紙を使っていませんか？

用紙の種類を変えて印刷してみてください。
高品位専用紙、フォト光沢紙、光沢フィルムは、普通紙よりもインクがにじみにくいという特長があります。

Check 3　プリントヘッドが汚れていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてみてください。
プリンタドライバの設定画面を開き、［ユーティリティ］で、をクリックします。

Windows　➡ プリントヘッドをクリーニングする

Macintosh　➡ プリントヘッドをクリーニングする

Check 4　高い濃度で印刷していませんか？

濃度を高く設定しすぎると、インクが過度に供給されてにじみやすくなります。濃度を低く設定して印刷してみてください。

1. **プリンタドライバの設定画面を開く。**
2. **[オートパレット詳細］をクリックする。**
   （Macintosh のマニュアル設定で印刷している場合は、[詳細設定]をクリックする。）
3. **[色設定］タブ（Macintosh の場合は［カラー］アイコン）をクリックし、[濃度］のスライドバーをドラッグして調整する。**

Windows ➡ 色を調整する

Macintosh ➡ 色の調整を行う

印刷面がこすれる

印刷面がこすれて汚くなります。

Check 1　厚い紙に印刷していませんか？

Check 2　紙間選択レバーを正しくセットしましたか？

Check 3　反りのある普通紙に印刷していませんか？

Check 4　高い濃度で、普通紙に印刷していませんか？

Check 5　印刷推奨領域を超えて印刷していませんか？

Check 1　厚い紙に印刷していませんか？

厚さが規定以上の用紙を使うと、プリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。
$105g/m^2$ を超える用紙は使わないでください。
また、このようなトラブルが起きたときは、プリントヘッドをクリーニングしてください。

Windows　➡ プリントヘッドをクリーニングする

Macintosh　➡ プリントヘッドをクリーニングする

Check 2　紙間選択レバーを正しくセットしましたか？

封筒、バナー紙、その他の厚い用紙に印刷する場合は、紙間選択レバーを右にセットしてください。また、普通紙でも印刷面がこすれる場合は、紙間選択レバーを右にセットしてみてください。

Check 3　反りのある普通紙に印刷していませんか？

反りのある普通紙に印刷すると、その反りの方向によっては用紙の後端がこすれることがあります。この場合は用紙を裏返してセットしてください。

Check 4　高い濃度で、普通紙に印刷していませんか？

高い濃度で普通紙に印刷すると、インクを過度に吸収して用紙が波打ち、印刷面がこすれることがあります。濃度を低く設定して印刷してみてください。

1. プリンタドライバの設定画面を開く。
2. ［オートパレット詳細］をクリックする。
（Macintosh のマニュアル設定で印刷している場合は、［詳細設定］をクリックする。）
3. ［色設定］タブ（Macintosh の場合は［カラー］アイコン）をクリックし、［濃度］のスライドバーをドラッグして調整する。

Windows　➡ 色を調整する

Macintosh　➡ 色の調整を行う

Check 5　印刷推奨領域を超えて印刷していませんか？

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。
印刷推奨領域内に印刷するようにしてください。

➡ 印刷できる範囲

白い筋が入る

印刷部分に白い筋が入ります。

Check　**BJ カートリッジのインクが正常に出ていますか？**

白い筋のように印刷されない部分がある場合は、BJ カートリッジのプリントヘッドが目づまりしているか、消耗している可能性があります。ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。
ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
ノズルチェックパターンの印刷、クリーニングの方法については、『基本操作ガイド』の「お手入れ」をご覧ください。

●参考

- **ノズルチェックパターンが正常に印刷された場合は、アプリケーションソフト側の問題が考えられます。アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。**
- **トラブルが解決されない場合は、「お問い合わせの前に」をお読みください。**

色むらや色筋がある

印刷部分に色むらや筋のような模様があります。

Check 1　**印刷品位を高速側にしていませんか？**

Check 2　**ディザリングの設定は適切ですか？**

Check 1　印刷品位を高速側にしていませんか？

印刷品位を高品位側にして印刷してみてください。
インクを大量に使う原稿の色むらが軽減されます。

1 プリンタドライバの設定画面を開く。

2 [オートパレット詳細]をクリックする。
(Macintoshのマニュアル設定で印刷している場合は、[詳細設定]をクリックする。)

3 [クオリティ]タブ（Macintoshの場合は[クオリティ]アイコン）をクリックし、[印刷品位]のスライドバーを[高品位]側にドラッグして設定する。

Windows
➡ 印刷の品質を調整する

Macintosh
➡ 印刷の品質を変更する

Check 2　ディザリングの設定は適切ですか？

ディザリングの設定を[誤差拡散]に設定してみてください。
[誤差拡散]に設定すると、色むらや筋のように見える部分をよりなめらかに印刷します。

1 プリンタドライバの設定画面を開く。

2 [オートパレット詳細]をクリックする。(Macintoshのマニュアル設定で印刷している場合は、[詳細設定]をクリックする。)

3 [クオリティ]タブ（Macintoshの場合は[クオリティ]アイコン）をクリックして、[ディザリング]を[誤差拡散]に設定する。

Windows
➡ 印刷の品質を調整する

Macintosh
➡ 印刷の品質を変更する

文書の最後まで印刷できない

各ページの終わりの部分が印刷されません。

Check 1　**用紙サイズの設定は使用する用紙のサイズに合っていますか？**

Check 2　**プリンタとコンピュータはしっかり接続されていますか？**

Check 3　**WPS ドライバがインストールされていませんか？** Windows

Check 1　用紙サイズの設定は使用する用紙のサイズに合っていますか？

アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定している用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷すると、文書の一部が印刷されないことがあります。使用する用紙サイズにプリンタドライバの［用紙サイズ］を設定してください。プリンタドライバの設定画面を開き、［用紙サイズ］でアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと同じサイズに設定します。

Windows　➡ 用紙サイズを設定する

Macintosh　➡ 用紙サイズに関する設定を行う（用紙設定ダイアログ）

●参考　ページ設定で用紙サイズを指定できるアプリケーションソフトをご使用の場合は、アプリケーションソフトのページ設定で設定されている用紙のサイズと、プリンタドライバの［用紙サイズ］の設定を同じサイズに設定する必要があります。

Check 2　プリンタとコンピュータはしっかり接続されていますか？

しっかり接続されていないと、正しく印刷できません。
よく確かめてください。

➡ プリンタとコンピュータの接続を確認する

Check 3　WPS ドライバがインストールされていませんか？　Windows

コンピュータにWPS (Windows Printing System) ドライバがインストールされていないか確認してください。WPS がインストールされていると、正常に印刷されないことがあります。

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］、［プリンタ］を順に選び、［プリンタ］ウインドウを開く。
2. WPS ドライバがインストールされている場合は、WPS ドライバのプロパティを表示させ、［詳細］シートの［印刷先のポート］を確認する。

Canon BJ F210 と同じポートが選択されている場合は、WPS ドライバのポートを［FILE］に変更するか、WPS ドライバを削除してください。

文字や図形がギザギザになる／グラデーションが帯状の模様になる

Macintosh

文字や図形の線がギザギザになったり、グラデーションが帯状の模様になって印刷されます。

Check

Postscriptだけに対応したアプリケーションを使っていませんか？

BJ F210はQuickDrawプリンタであり、PostScriptプリンタではありません。PostScriptだけに対応したアプリケーションを使うと、文字や図形の線がギザギザになり、きれいに印刷されないことがあります。
本機での印刷には、QuickDrawに対応したアプリケーションソフトを使用してください。なお、PostScriptに対応したアプリケーションの中には、PostScriptフォントのほか、ATMフォントまたはTrueTypeフォントの文字を指定できるものがあります。この場合は、ATMフォントまたはTrueTypeフォントの指定をすると、文字は正常に印刷されます。

プリンタが動かない／途中で止まる

電源が入らない

印刷が始まらない

途中で止まる

動作はするが印刷されない

カートリッジホルダが交換位置にない

カートリッジホルダが右側に戻らない

電源が入らない

電源プラグをコンセントに差し込んでも動作しません。

Check 1　　**プリンタは電源に接続されていますか？**

Check 2　　**コンセントに電気はきていますか？**

Check 1　プリンタは電源に接続されていますか？

プリンタの電源コードがプリンタに接続されていることと、電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。プリンタを電源に接続すると、自動的にプリンタの電源が入ります。プリンタには電源ボタンはありません。

Check 2　コンセントに電気はきていますか？

ほかの電気製品をそのコンセントにつないで、コンセントに電気がきているかを確認してください。

Check 1 と 2 を確認しても電源が入らない場合は、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いて、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

➡ お問い合わせの前に

印刷が始まらない

コンピュータから印刷を実行してもプリンタが動きません。

Check 1　**電源は入っていますか？**

Check 2　**写真やグラフィックスなど大きな容量の書類を印刷していませんか？**

Check 3　**プリンタとコンピュータはしっかりと接続されていますか？**

Check 4　**BJ F210 用以外のプリンタドライバを使用していませんか？**

Check 5　**プリンタのポートは正しく設定されていますか？**　Windows

Check 1　電源は入っていますか？

プリンタには電源ボタンはありません。プリンタの電源コードをコンセントに差し込むと自動的に電源が入ります。

プリンタの電源が入らない場合は、「電源が入らない」を確認してください。

Check 2　写真やグラフィックスなど大きな容量の書類を印刷していませんか？

写真やグラフィックスなど、大容量の画像データを印刷すると、コンピュータがデータを処理したり、プリンタにそのデータを転送するのに時間がかかるため、印刷が始まるまでかなり待たなければならないことがあります。

Check 3　プリンタとコンピュータはしっかりと接続されていますか？

しっかり接続されていないと、印刷できないことがあります。よく確かめてください。

➡ プリンタとコンピュータの接続を確認する

Check 4　BJ F210 用以外のプリンタドライバを使用していませんか？

機種の異なるプリンタのドライバを使用していると、正常に印刷できません。
Windows をお使いの場合は、アプリケーションソフトの印刷ダイアログボックスのプリンタ名を確認して、［BJ F210］が選択されていることを確認してください。
Macintosh をお使いの場合は、アップルメニューの［セレクタ］で［BJ F210］を選択してください。

●参考

- 操作方法はアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。
- Windows で BJ F210 を通常使用する場合は、通常使うプリンタとして設定しておくと便利です。

Check 5　プリンタのポートは正しく設定されていますか？ Windows

プリンタとコンピュータを、パラレルインタフェースに接続している場合は、プリンタの印刷先のポートを LPT1 に設定してください。
また、プリンタとコンピュータを USB インタフェースに接続している場合は、プリンタの印刷先のポートを USBPRN に設定してください。

1 プリンタドライバの設定画面を単独で開く。

➡ 設定画面を開く

2 ［詳細］タブをクリックし、［印刷先のポート］を設定する。

途中で止まる

印刷の途中でプリンタの動作が止まってしまいます。

Check 1 **高精細な絵や写真を印刷していませんか？**

Check 2 **長時間印刷していませんか？**

Check 1　高精細な絵や写真を印刷していませんか？

高精細な絵や写真は、プリンタがそのデータを処理するのに時間がかかるため、プリンタが動いていないように見えることがあります。
また、普通紙に黒のインクを多量に使う印刷を連続して行うと、印刷が途中で一時的に止まる場合があります。

Check 2　長時間印刷していませんか？

長時間印刷を続けているとプリントヘッドが過熱します。プリントヘッドの保護のために、行の折り返し位置で一時的に停止することがありますが、しばらくすると印刷が再開されます。区切りのいいところで印刷を中断し、プリントヘッドが冷えるまで（15分以上）お待ちください。

⚠ 注意　プリントヘッドの周辺が高温になっている場合がありますので、絶対に手を触れないでください。

動作はするが印刷されない

プリンタは正常に動いているようなのに、何も印刷されません。

Check 1 **BJ カートリッジのインクが正常に出ていますか？**

Check 2 **新しい BJ カートリッジを取り付けるときに、保護テープは取り除きましたか？**

Check 1　BJ カートリッジのインクが正常に出ていますか？

BJカートリッジのプリントヘッドが目づまりしているか、消耗している可能性があります。また、BJカートリッジの中のインクがなくなっていることも考えられます。ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認し、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
それでも印刷できない場合は、BJカートリッジ、インクカートリッジを交換してください。
これらの操作方法について、詳しくは『基本操作ガイド』の「お手入れ」、「カートリッジの種類と使いかた」をご覧ください。

ノズルチェックパターンが正常に印刷できた場合は、プリンタとコンピュータの接続を確認してください。アプリケーションソフト、文書データに問題があることも考えられます。

Check 2　新しい BJ カートリッジを取り付けるときに、保護テープは取り除きましたか？

保護テープをプリントヘッドに付けたまま、新しいBJカートリッジを取り付けるとインクが出ません。BJカートリッジを取りはずし、プリントヘッドに保護テープが付いていたら取り除いてください。

カートリッジホルダが交換位置にない

BJカートリッジを交換したいのに、カートリッジホルダが交換位置にありません。

Check 1　電源は入っていますか？

Check 2　長時間印刷していませんか？

Check 1　電源は入っていますか？

プリンタの電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。

プリンタの電源が入らない場合は、「電源が入らない」を確認してください。

Check 2　長時間印刷していませんか？

長時間印刷を続けているとプリントヘッドが過熱します。この場合、プリントヘッドの保護のために、カートリッジホルダの動作が一時的に停止されます。プリントヘッドが冷えるまで（15 分以上）お待ちください。

カートリッジホルダが右側に戻らない

BJ カートリッジやインクカートリッジを交換してから、フロントカバーを閉じてもカートリッジホルダが右側に戻りません。

●参考 フロントカバーを開けたときや、印刷中以外の場合、カートリッジホルダは本体の右側にあります。

Check **BJ カートリッジは正しく取り付けられていますか？**

BJ カートリッジが正しく取り付けられていないと、カートリッジホルダは右側に戻りません。いったん電源プラグをコンセントから抜き、BJ カートリッジを取り付け直してから、再度電源に接続してください。
それでもカートリッジホルダが右側に戻らない場合は、別の BJ カートリッジを取り付けてください。
BJ カートリッジの交換方法については、『基本操作ガイド』の「カートリッジの種類と使いかた」をご覧ください。

トラブルが解決されない場合は、プリンタが故障している可能性があります。プリンタの電源プラグをコンセントから抜いて、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

用紙が送られない／用紙がつまった

オートシートフィーダから用紙が送られない

はがきがうまく送られない

封筒がうまく送られない

斜めに送られる

何枚も重なって送られる

用紙がつまった

オートシートフィーダから用紙が送られない

オートシートフィーダから用紙が送られません。

Check 1　**用紙が厚すぎませんか？**

Check 2　**セットした用紙の枚数が多すぎませんか？**

Check 3　**用紙が折れたり、反ったりしていませんか？**

Check 4　**用紙サポートを取り付けましたか？**

Check 5　**OHP フィルム、またはバックプリントフィルムを使用していますか？**

Check 1　用紙が厚すぎませんか？

105g/m^2 を超える用紙は使用できません。

➡ 使用できる用紙のサイズ

Check 2　セットした用紙の枚数が多すぎませんか？

オートシートフィーダにセットできる用紙の枚数は、用紙の種類によって異なります。
それ以上用紙をセットすると、正常に給紙できなくなります。
セットできる枚数については、「いろいろな用紙に印刷するには」の各用紙の説明をご覧ください。

Check 3　用紙が折れたり、反ったりしていませんか？

折れた用紙、反っている用紙、しわのある用紙は使用しないでください。
正常に給紙されないばかりでなく、用紙がつまる原因になります。

➡ 用紙についてのご注意

Check 4　用紙サポートを取り付けましたか？

用紙サポートは常に取り付けておいてください。用紙サポートを取り付けずに用紙をセットすると、用紙がオートシートフィーダの奥まで届かずに給紙できない場合があります。

Check 5　OHP フィルム、またはバックプリントフィルムを使用していますか？

OHP フィルムやバックプリントフィルムに印刷する場合は、OHP フィルムまたはバックプリントフィルムの下に、同じ大きさの普通紙を1枚敷いてから、オートシートフィーダにセットしてください。

はがきがうまく送られない

はがきが斜めに送られたり、まったく送られなかったり、うまく給紙できません。

Check 1　セットしたはがきの枚数が多すぎませんか？

Check 2　はがきが反っていませんか？

Check 3　用紙ガイドを正しくセットしましたか？

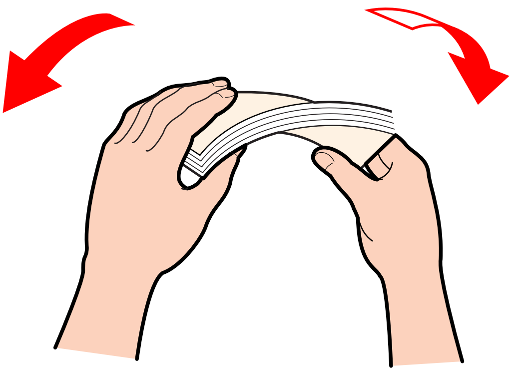
Check 4　シールの付いたはがきや、往復はがきを使っていませんか？

Check 1　セットしたはがきの枚数が多すぎませんか？

オートシートフィーダにセットできるはがきの枚数は、官製はがき、フォト光沢ハガキともに 20 枚までです。

Check 2　はがきが反っていませんか？

反っているはがきを使用すると、正常に給紙できない場合があります。
反りを矯正してから使用してください。



Check 3　用紙ガイドを正しくセットしましたか？

用紙ガイドをつまんで、用紙の左端に軽く当ててください。
用紙ガイドを正しくセットしていないと、斜めに給紙されたり、用紙がつまったりする原因になります。

Check 4　シールの付いたはがきや、往復はがきを使っていませんか？

写真やステッカー、シールなどが貼ってあると、はがきが正常に給紙できない場合があります。
また、往復はがきや、折り目がついているはがきも使用しないでください。

➡ 用紙についてのご注意

封筒がうまく送られない

封筒が斜めに送られたり、送られなかったり、うまく給紙できません。

Check 1　封筒が反ったり、膨らんでいませんか？

Check 2　セットした封筒の枚数が多すぎませんか？

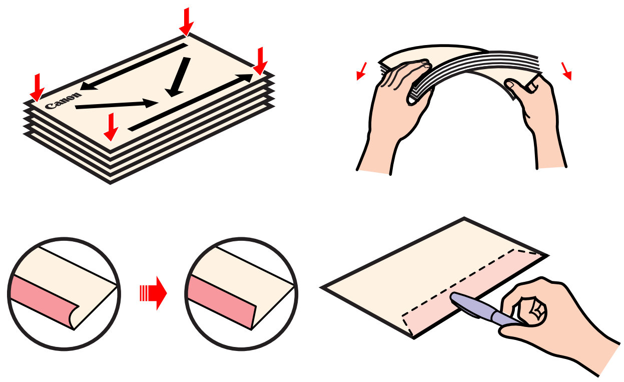
Check 3　用紙ガイドを正しくセットしましたか？

Check 4　セットする方向は正しいですか？

Check 1　封筒が反ったり、膨らんでいませんか？

封筒をセットするときは、封筒の周りを押して反りや曲がりをとり、封筒の中の空気を抜いてください。
反っている封筒は、封筒の端を対角線に持って軽く逆方向に曲げて矯正します。
封筒のふたの部分もまっすぐになるようにしてください。
うまく送られない場合は、さらにペンの先などを使って封筒の先端をしっかりつぶしてください。

➡ 封筒に印刷する



Check 2　セットした封筒の枚数が多すぎませんか？

オートシートフィーダにセットできる封筒の枚数は、5 枚までです。

Check 3　用紙ガイドを正しくセットしましたか？

用紙ガイドをつまんで、用紙の左端に軽く当ててください。
用紙ガイドを正しくセットしていないと、斜めに給紙されたり、用紙がつまったりする原因になります。

Check 4　セットする方向は正しいですか？

封筒は横置きで、宛名面を上にしてセットします。
それ以外の置きかたをすると、正常に給紙できず紙づまりの原因になります。

➡ 封筒に印刷する

斜めに送られる

用紙が斜めに送られてしまいます。

Check 1　**セットした用紙の枚数が多すぎませんか？**

Check 2　**用紙が折れたり、反ったりしていませんか？**

Check 3　**用紙ガイドを正しくセットしましたか？**

Check 1　セットした用紙の枚数が多すぎませんか？

オートシートフィーダにセットできる用紙の枚数は、用紙の種類によって異なります。
それ以上用紙をセットすると、正常に給紙できなくなります。
セットできる枚数については、「いろいろな用紙に印刷するには」の各用紙の説明をご覧ください。

Check 2　用紙が折れたり、反ったりしていませんか？

折れた用紙、反っている用紙、しわのある用紙は使用しないでください。
正常に給紙されないばかりでなく、用紙がつまる原因になります。

➡ 用紙についてのご注意

Check 3　用紙ガイドを正しくセットしましたか？

用紙ガイドをつまんで、用紙の左端に軽く当ててください。
用紙ガイドを正しくセットしていないと、斜めに給紙されたり、用紙がつまったりする原因になります。

何枚も重なって送られる

用紙が一度に何枚も重なって給紙されます。

Check 1　**用紙をよくさばいてセットしましたか？**

Check 2　**セットした用紙の枚数が多すぎませんか？**

Check 3　**用紙が折れたり、反ったりしていませんか？**

Check 1　用紙をよくさばいてセットしましたか？

用紙はよくさばき、端を揃えてからオートシートフィーダにセットしてください。
さばくことによって、用紙と用紙の間にわずかに空気が入り、1枚ずつ確実に給紙できるようになります。

Check 2　セットした用紙の枚数が多すぎませんか？

オートシートフィーダにセットできる用紙の枚数は、用紙の種類によって異なります。
それ以上用紙をセットすると、正常に給紙できなくなります。
セットできる枚数については、「いろいろな用紙に印刷するには」の各用紙の説明をご覧ください。

Check 3　用紙が折れたり、反ったりしていませんか？

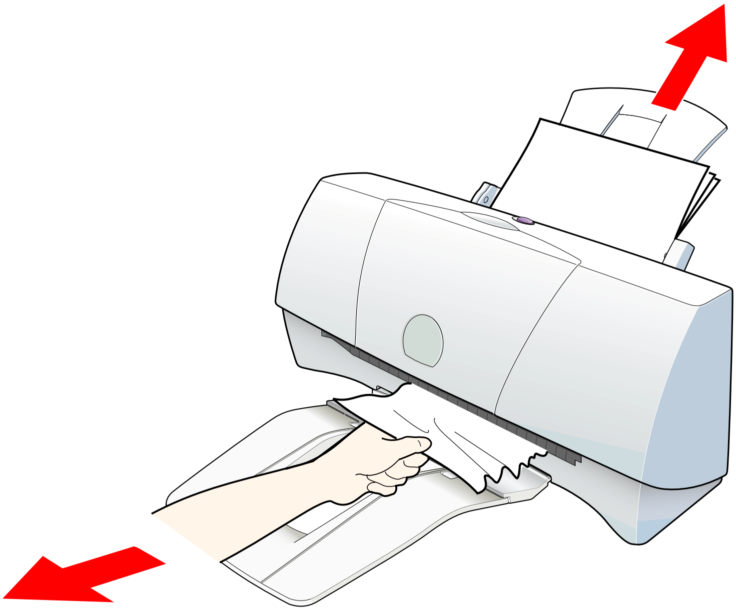
折れた用紙、反っている用紙、しわのある用紙は使用しないでください。
正常に給紙されないばかりでなく、用紙がつまる原因になります。

➡ 用紙についてのご注意

用紙がつまった

用紙がつまった場合は、以下の手順にしたがって取り除きます。

1 排紙側または給紙側から引き出しやすいほうに用紙をゆっくり引っ張ります。
用紙が破れてプリンタ内部に残った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてからフロントカバーを開け、破れた用紙を取り除いてください。



2 用紙を取り除いたら、フロントカバーを閉じます。
用紙をセットし直してから印刷してください。

●参考

・オートシートフィーダにセットできるのは、64g/m^2～105g/m^{2}の用紙です。それ以外の用紙は使用しないでください。

➡ 使用できる用紙のサイズ

・折れた用紙や反っている用紙は使用しないでください。

➡ 用紙についてのご注意

画面にメッセージが表示されている

LPT1 または USBPRN への「書き込みエラー」が表示されている

Windows

「アプリケーションエラー」や「一般保護違反」となる

Windows

その他のエラーメッセージ

LPT1 または USBPRN への「書き込みエラー」が表示されている

Windows

印刷しようとすると、「LPT1 への書き込みエラー」または「USBPRN への書き込みエラー」が画面に表示されて印刷できません。

Check 1　プリンタは電源に接続されていますか？

Check 2　プリンタとコンピュータは正しく接続されていますか？

Check 3　スプールは正常に動作していますか？

Check 4　プリンタポートは正常に動作していますか？

Check 5　プリンタドライバは正しくインストールされていますか？

Check 6　プリンタポートの設定と異なるインタフェースで接続していませんか？

Check 7　WPS ドライバがインストールされていませんか？

Check 1　プリンタは電源に接続されていますか？

プリンタの電源コードがプリンタに接続されていることと、電源プラグがコンセントに接続されていることを確認してください。プリンタを電源に接続すると、自動的にプリンタの電源が入ります。プリンタには電源ボタンはありません。

プリンタの電源が入らない場合は、「電源が入らない」をご覧ください。

Check 2　プリンタとコンピュータは正しく接続されていますか？

電源コードやプリンタケーブルはしっかりと接続してください。

Check 3　スプールは正常に動作していますか？

スプールをやめて、プリンタに直接印刷データを送るように設定して印刷してみてください。

1 プリンタドライバの設定画面を単独で開く。

2 [詳細] シートの [スプールの設定] をクリックし、[プリンタに直接印刷データを送る] を選択する。

➡ 設定画面を開く

Check 4　プリンタポートは正常に動作していますか？

プリンタポートの状態を確認してください。

• パラレルインタフェースの場合

1. [マイ コンピュータ] を右クリックして、[プロパティ] を選択する。
2. [デバイスマネージャ] シートで [ポート (COM/LPT)] をダブルクリックしたあと、[ECP プリンタポート (LPT1) *] をダブルクリックする。
   ＊名称は、お使いのコンピュータの環境により異なります。
3. [全般] または [情報] シートにポートの異常に関する記述が表示されているか、接続されているデバイスが使用可能かどうかを確認する。
4. [リソース] タブをクリックし、[競合するデバイス] を確認する。
   競合するデバイスがあるとエラーになります。必要に応じて競合するデバイスを削除します。削除する方法はそのデバイスの取扱説明書をご覧ください。

• USB インタフェースの場合

1. [マイ コンピュータ] を右クリックして、[プロパティ] を選択する。
2. [デバイスマネージャ] シートで [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] をダブルクリックしたあと、[Canon BJ F210] をダブルクリックする。
3. [全般] シートにデバイスの異常に関する記述が表示されているか確認する。
   何らかのエラーが発生している場合は、『Windows 98 の USB インタフェースで、ドライバのインストールができないときは』に記載されている操作も行ってください。

Check 5　プリンタドライバは正しくインストールされていますか？

プリンタドライバに不具合がある可能性があります。
プリンタドライバを削除してインストールし直してください。

➡ 不要になったプリンタドライバを削除する

USBインタフェースに接続している場合は、『Windows 98のUSBインタフェースで、ドライバのインストールができないときは』に記載されている操作も行ってください。

Check 6　プリンタポートの設定と異なるインタフェースで接続していませんか？

プリンタポートの設定が、プリンタに接続しているインタフェースと異なっていると、エラーメッセージが表示されます。
まず、プリンタポートを確認してください。
プリンタドライバの設定画面を開き、［詳細］シートの［印刷先のポート］に［LPT1:（ECP プリンタポート）］と表示されればパラレルポート、［USBPRN nn(Canon BJ F210)］(nn は数字) と表示されれば USB ポートが設定されています。
設定が合っていない場合は、Windows を終了し、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてから、プリンタドライバで設定されているインタフェースで接続し直してください。または、接続されたインタフェースに合ったプリンタドライバをインストールしてください。

Check 7　WPS ドライバがインストールされていませんか？

コンピュータにWPS (Windows Printing System) ドライバがインストールされていないか確認してください。WPS がインストールされていると、正常に印刷されないことがあります。

1 ［スタート］から［設定］を選び、［プリンタ］を選択する。
2 WPS ドライバがインストールされている場合は、WPS ドライバのプロパティを表示させ、［詳細］シートの［印刷先のポート］を確認する。

Canon BJ F210 と同じポートが選択されている場合は、WPS ドライバのポートを［FILE］に変更するか、WPS ドライバを削除してください。

「アプリケーションエラー」や「一般保護違反」となる

Windows

Check 1　Windows 3.1 用のアプリケーションソフトで印刷していませんか？

Check 2　複数のアプリケーションソフトを起動していませんか？

Check 3　コンピュータのメモリは十分ですか？

Check 4　ハードディスクの空き容量は十分ですか？

Check 5　印刷した文書ファイルに問題はありませんか？

Check 6　プリンタドライバは正しくインストールされていますか？

Check 1　Windows 3.1 用のアプリケーションソフトで印刷していませんか？

Windows 3.1 用のアプリケーションソフトを Windows 98 または Windows 95 で使用して印刷すると正しく機能せず、エラーになることがあります。
Windows 98 または Windows 95 用のアプリケーションソフトを使用してください。

Check 2　複数のアプリケーションソフトを起動していませんか？

複数のアプリケーションソフトを起動していると、印刷のためのメモリが確保されずにエラーとなる場合があります。ほかのアプリケーションソフトを終了してからもう一度印刷してみてください。

Check 3　コンピュータのメモリは十分ですか？

ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧になり、アプリケーションソフトに必要なメモリ容量が確保されているかを確認してください。
メモリ容量が足りない場合は、メモリを増設してください。メモリの増設についてはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

➡ メモリ容量を調べる

Check 4　ハードディスクの空き容量は十分ですか？

ハードディスクの空き容量が不足しているとエラーになる場合があります。ハードディスクの空き容量を確認してください。

➡ ハードディスクの空き容量を調べる

十分な空きがないときは、不要なファイルを削除するなどしてハードディスクの空き容量を増やしてください。

Check 5　印刷した文書ファイルに問題はありませんか？

特定の文書を印刷したときのみエラーとなる場合は、その文書ファイルに問題があるか、そのファイルで使用されているアプリケーションソフトの機能に問題がある可能性があります。
もう一度、文書を作成し直してから印刷してみてください。新しい文書で問題がなければ、元の文書ファイルに問題があったと考えられます。
新しい文書でも同じ症状がある場合は、製品ご相談窓口にお問い合わせください。

➡ お問い合わせの前に

Check 6　プリンタドライバは正しくインストールされていますか？

プリンタドライバに不具合がある可能性があります。
プリンタドライバを削除してインストールし直してください。

➡ 不要になったプリンタドライバを削除する

USBインタフェースに接続している場合は、『Windows 98のUSBインタフェースで、ドライバのインストールができないときは』に記載されている操作も行ってください。

その他のエラーメッセージ

その他のエラーメッセージや画面が表示されます。

Check 1　**BJ ステータスモニタの画面が表示されていますか？**

Windows

Check 2　**BJ ステータスモニタ以外の画面が表示されていますか？**

Windows

Check 3　**「エラー番号：＊ｎ（＊は英文字ｎは数字)」という画面が表示されていますか？**

Macintosh

Check 1　BJ ステータスモニタの画面が表示されていますか？

Windows

BJステータスモニタは、印刷中にエラーが発生するとそのエラーの内容を［プリンタステータス］シートの［状態］に表示します。［ガイド］タブをクリックすると、そのエラーに関する対処方法が案内されています。
［次へ］をクリックしながら、記載されている内容にしたがって操作してください。

➡ BJ ステータスモニタの機能

Check 2　BJ ステータスモニタ以外の画面が表示されていますか？

Windows

以下のようなメッセージが表示されます。

ディスク容量不足のため、正常にスプールできませんでした。

不要なファイルを削除するなどしてハードディスクの空き容量を増やしてください。

➡ ハードディスクの空き容量を調べる

メモリ不足のため、正常にスプールできませんでした。

ほかのアプリケーションソフトを終了して空きメモリを増やしてください。

➡ メモリ容量を調べる

プリンタドライバが読み込めませんでした。

プリンタドライバを削除したあと、再インストールしてください。

➡ 不要になったプリンタドライバを削除する

バックグラウンド印刷に失敗しました。

Windows を再起動したあとにもう一度印刷してみてください。

「アプリケーション名」-「文書名」を印刷できませんでした。

現在印刷中の文書の印刷が終わってから印刷してください。

Check 3　「エラー番号：＊ｎ（＊は英文字ｎは数字)」という画面が表示されていますか？

Macintosh

以下のようなメッセージが表示されます。

「エラー番号：＊ 202」

印刷のために必要なメモリが不足しています。
ほかのアプリケーションを終了して空きメモリを増やしてください。

「エラー番号：＊ 203」

インストールされているプリンタドライバに問題があります。
プリンタドライバを削除し、もう一度インストールしてください。

➡ 不要になったプリンタドライバを削除する

「エラー番号：＊ 300」

まず、次の２点を確認してください。

• 電源プラグがコンセントに差し込まれているか
• プリンタとコンピュータがしっかりと接続されているか

➡ プリンタとコンピュータの接続を確認する

それでも改善されない場合は、［セレクタ］の設定を確認してください。

アップルメニューから［セレクタ］を選択します。［BJ F210］のアイコンをクリックして、［接続先］に［BJ F210］が選択されていることを確認します。選択されていない場合は、ここで選択してください。

以上の対処方法にしたがって操作しても解決しない場合は、不必要な機能拡張書類やコントロールパネル書類をはずして印刷してみてください。

スキャナのトラブル

読み取った画像の質に満足できない

TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトとの連携がうまくいかない

スキャナに関するその他のトラブル

読み取った画像の質に満足できない

画像がぼやける、ゆがむ、色がにじむ

画像に色むらがある

原稿の白い部分が白くならない

一部分が欠ける、または位置がずれる

色に違和感がある、または明るすぎたり暗すぎたりする

画像がぼやける、ゆがむ、色がにじむ

読み取った画像が、ぼやけたり、ゆがんだり、色がにじんだりしてしまいます。

Check 1　**原稿そのものがぼやけたり、にじんだりしていませんか？**

Check 2　**スキャニングホルダが汚れていたり、傷ついたりしていませんか？**

Check 3　**原稿が厚すぎませんか？**

Check 1　原稿そのものがぼやけたり、にじんだりしていませんか？

原稿そのものがぼやけたり、にじんだりしていて不鮮明だときれいに読み取れません。また、原稿以上に鮮明な画像は得られません。

Check 2　スキャニングホルダが汚れていたり、傷ついたりしていませんか？

汚れている場合は、家庭用洗剤を水で薄め、それに浸した柔らかい布で拭いて汚れを落としてください。そのあと、柔らかい乾いた布で水分を拭き取ってください。傷がついている場合は、新しいスキャニングホルダと交換してください。
なお、スキャニングホルダには別売品として A4 タイプが用意されています。

Check 3　原稿が厚すぎませんか？

原稿は、スキャニングホルダも含めて 0.45mm 以下になるようにしてください（原稿自身の厚さは 0.25mm 以下）。

画像に色むらがある

Check　**読み取り解像度が低くありませんか？**

読み取り解像度を高く設定し直して再び読み取り操作を行ってみてください。解像度を高くすると色むらが改善される場合があります。ただし、読み取るスピードが遅くなり、読み取った画像の容量が大きくなります。

Windows　➡ 画像の読み取り方法を変更する

Macintosh　➡ 画像の読み取り方法を変更する

原稿の白い部分が白くならない

原稿ではきれいな白色をしているのに、読み取った画像の白い部分がグレーがかっていたり、くすんで見えたりします。

Check 1　**白基準補正は行いましたか？**

Check 2　**明るさとコントラストを調節しましたか？**

Check 3　**モノクロ原稿を［カラー］または［グレースケール］で読み取っていませんか？**

Check 1　白基準補正は行いましたか？

スキャナカートリッジはそのときの温度によって、また周囲の環境温度の変化によって、白基準の値が変化する場合があります。画質を最適の状態にするため、白基準補正を実行してみてください。

➡ 白基準補正を行う

Check 2　明るさとコントラストを調節しましたか？

白く見える原稿でも実際には白さに差があるため、濃度を持った画像として読み取られることがあります。明るさ（輝度）とコントラストを調整してみてください。

詳細については、IS Scan Plus をお使いの方はヘルプを、TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトをお使いの方はアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

Check 3　モノクロ原稿を［カラー］または［グレースケール］で読み取っていませんか？

読み取り方式を［カラー］または［グレースケール］に設定すると、濃度の段階まで読み取るため、白と黒の二色であるモノクロ原稿でも濃淡があるように読み取られます。モノクロ原稿は白と黒の二つの値で読み取る［白黒］に設定して読み取ってみてください。
設定のしかたはヘルプをご覧ください。

Windows ➡ 画像の読み取り方法を変更する

Macintosh ➡ 画像の読み取り方法を変更する

一部分が欠ける、または位置がずれる

読み取った画像の一部分が欠けていたり、位置がずれていたりします。

Check 1 **原稿が読み取り範囲外にありませんか？**

Check 2 **読み取り範囲は正しく指定しましたか？**

Check1　原稿が読み取り範囲外にありませんか？

スキャニングホルダにはさんだ原稿が読み取り可能範囲外にありませんか。原稿は読み取り可能範囲内にセットしてください。

➡ 読み取る原稿

Check 2　読み取り範囲は正しく指定しましたか？

原稿の大きさより小さいサイズを原稿サイズに指定していると、一部分が欠けて読み取られます。また読み取り可能範囲や基準位置に合わせて、スキャニングホルダに原稿を正しくセットしないと位置がずれて読み取られます。原稿をセットしなおして、再び読み取り操作を行ってみてください。

➡ スキャニングホルダの使いかた
➡ 読み取る原稿

色に違和感がある、または明るすぎたり暗すぎたりする

読み取った画像の色が原稿とだいぶ違っていたり、明るすぎたり暗すぎたりします。

Check 1 **画面の色数の設定を確認しましたか？**

Check 2 **カラーマッチングの設定が無効になっていませんか？**

Check 1　画面の色数の設定を確認しましたか？

Windows

画面の色数の設定が［High Color］［True Color］以外になっていませんか。以下の手順で［カラーパレット］を確認してみてください。

［スタート］ボタンをクリックし、［設定］、［コントロールパネル］を順に選びます。［画面］アイコンをダブルクリックすると表示される［画面のプロパティ］ダイアログボックスの［設定］または［ディスプレイの詳細］タブをクリックします。

Macintosh

画面の色数の設定が［約 32,000］［約 1,670 万］以外になっていませんか。以下の手順で［カラー階調］を確認してみてください。

アップルメニューで［コントロールパネル］、［モニタ＆サウンド］を順に選びます。

Check 2　カラーマッチングの設定が無効になっていませんか？

使用するディスプレイが異なると、表示される色も多少異なります。カラーマッチング機能は、スキャンした結果として得られた色が、ディスプレイの色の特性に合うように調整を行います。カラーマッチングは、カラーで読み取るように設定されている場合のみ使用することができます。
［カラーマッチング］を確認してみてください。

Windows

➡ 画像の読み取り方法を変更する

Macintosh

➡ 画像の読み取り方法を変更する

TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトとの連携がうまくいかない

TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトから IS Scan が起動できない

TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトへの転送がうまくいかない

TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトから IS Scan が起動できない

TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトから IS Scan が起動できません。

Check **使用しているアプリケーションソフトは32 ビットTWAIN あるいは TWAIN ソースマネージャのバージョン 1.5 に対応していますか？**

Windows **使用しているアプリケーションソフトが 32 ビットの TWAIN に対応していない可能性があります。お使いのアプリケーションソフトのマニュアルで確認してください。**

Macintosh **使用しているアプリケーションソフトがTWAINソースマネージャのバージョン 1.5 に対応していない可能性があります。お使いのアプリケーションソフトのマニュアルで確認してください。**

TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトへの転送がうまくいかない

Check **使用しているアプリケーションソフトが対応していない画像タイプや解像度を選択していませんか？**

アプリケーションソフトによって、特定の画像タイプまたは解像度の画像しか読み取ることができないものがあります。特に、OCR ソフトウェア（原稿を光学的に読み取ってテキストデータに変換するためのソフトウェア）では、モノクロでの解像度が 300 ～ 400dpi 程度に制限されているものがあります。アプリケーションソフトが対応している画像タイプまたは解像度をご確認の上、再び読み取り操作を行い、転送してください。

スキャナに関するその他のトラブル

スキャナドライバがインストールできない

前回起動したときに設定した値で起動しない Windows

IS Scan を起動すると表示される色がおかしい

スキャナを使用中、読み取りに時間がかかり過ぎる

スキャナを使用中、通信エラーが発生する

エラーメッセージが表示される

スキャナドライバがインストールできない

スキャナドライバのインストールができません。

Check 1 手順どおりにインストールしましたか？

Check 2 ほかにアプリケーションソフトを起動していませんか？

Check 3 インストール用 CD-ROM ドライブを正しく指定しましたか？

Windows

Check 4 インストール用ディスクに異常はありませんか？

Check 1　手順どおりにインストールしましたか？

『かんたんスタートガイド』をご覧になり、記載されている手順にしたがってインストールしてください。

●参考

Windows でエラーが発生してインストーラが強制終了した場合は、Windows が不安定な状態のためインストールできないことがあります。コンピュータを再起動して再びインストールしてみてください。

Check 2　ほかにアプリケーションソフトを起動していませんか？

アプリケーションソフトを起動した状態でインストールすると、インストールできない場合があります。
ほかのアプリケーションソフトをすべて終了させてから、もう一度インストールしてください。

Check 3　インストール用 CD-ROM ドライブを正しく指定しましたか？

Windows

CD-ROM をセットしたときに、自動的にスキャナドライバのインストールプログラムが起動しない場合は、[マイ コンピュータ] のアイコンをダブルクリックし、開いたウィンドウにある CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。
インストールプログラムが起動したら、『かんたんスタートガイド』をご覧になりインストールを行ってください。

●参考

- CD-ROMのドライブ名はご使用のコンピュータによって異なります。
- ファイル名を指定してインストールする場合は、CD-ROM ドライブ名および、インストールプログラム（Setup.exe）を正しく指定してください。

Check 4　インストール用ディスクに異常はありませんか？

インストール用ディスクが壊れている可能性があります。
Windows をお使いの場合は［エクスプローラ］でディスクが読めるか確認してください。
Macintosh の場合は CD-ROM のアイコンが表示されるかどうかを再度確認してください。

ディスクが読めない場合は、製品ご相談窓口にお問い合わせください。

➡ お問い合わせの前に

前回起動したときに設定した値で起動しない

Windows

Check **IS ScanをTWAIN対応の画像処理アプリケーションソフトから起動していませんか？**

IS Scan を TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトから起動すると、［カスタム設定］ダイアログボックスの［基準値］で［前回設定値］を選んでいても、前回設定した値がクリアされ、デフォルトの設定（標準的な初期設定）で起動します。
［カスタム設定］ダイアログボックスで設定した値で次回も IS Scan を起動したいときは、［設定］メニューから［設定ファイルを保存］を選び、設定値を保存しておきます。
次回起動したときに、［設定］メニューから［設定ファイルを開く］を選びます。

IS Scan を起動すると表示される色がおかしい

Check

画面の色数の設定が 256 色になっていませんか？
IS Scan を TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトから起動するときに、 起こる現象です。

Windows

［スタート］ボタンをクリックし、［設定］、［コントロールパネル］を順に選びます。［画面］アイコンをダブルクリックすると表示される［画面のプロパティ］ダイアログボックスの［設定］または［ディスプレイの詳細］タブをクリックし、［カラーパレット］の設定を［High Color］または［True Color］に変更してください。
また、IS Scan のウィンドウを一度最小化したあと、元のサイズに戻すとなおる場合があります。

Macintosh

アップルメニューで［コントロールパネル］、［モニタ＆サウンド］を順に選びます。［カラー階調］の設定を［約 32,000］または［約 1,670 万］に変更してください。

スキャナを使用中、読み取りに時間がかかり過ぎる

Check　**読み取り解像度が高すぎませんか？**

設定されている解像度やコンピュータの処理速度などにより、読み取り時間は変化します。プレスキャンを活用すると読み取り時間を短縮することができます。

プレスキャンする

また、読み取り解像度を高く設定しすぎると読み取りに時間がかかるばかりでなく、容量が大きくなり過ぎて、画像の補正や加工がしづらくなります。

●参考　読み取った画像をホームページや壁紙のように画面上で利用するだけでしたら、90dpi で読み取った画像でも問題なく表示できます。

スキャナを使用中、通信エラーが発生する

スキャナを使用中に通信エラーが発生します。

Check 1 **IS Scan または IS Scan Plus を終了した直後に再び起動しませんでしたか？**

Check 2 **プリンタの電源が切れているか、またはオフラインになっていませんか？**

Check 3 **Windows 98 をお使いで、プリンタを USB インタフェースに接続していませんか？**

Windows

Check 1　IS Scan または IS Scan Plus を終了した直後に再び起動しませんでしたか？

IS Scan または IS Scan Plus を再起動する場合は、終了したあと数秒待ってから起動してください。

Check 2　プリンタの電源が切れているか、またはオフラインになっていませんか？

プリンタが電源に接続されていないかどうか、またはオフラインになっていないかどうか確認してください。オフラインについてはお使いのコンピュータに応じて、Windows または Mac OS のヘルプをご覧ください。

Check 3　Windows 98 をお使いで、プリンタを USB インタフェースに接続していませんか？

Windows

プリンタを USB インタフェースに接続しているとき、Windows 98 のグラフィックスのハードウェアアクセラレータの設定が［最大］になっていると、通信エラーが発生することがあります。
Check1、Check2 が原因でない場合は、次の操作を行ってください。

［スタート］ボタンをクリックし、［設定］、［コントロールパネル］を順に選びます。［システム］アイコンをダブルクリックすると表示される［システムのプロパティ］ダイアログボックスの［パフォーマンス］タブを選び、［グラフィックス］をクリックします。［ハードウェアアクセラレータ］を［なし］に設定したあと、再び読み取り操作を行ってください。

エラーメッセージが表示される

Check　IS Scan のヘルプを参照してください。エラーメッセージに対する解決法が記載されています。

Windows

- TWAIN対応の画像処理アプリケーションソフトからIS Scanをお使いの場合
  ヘルプを表示させます。続いて［目次］ボタンをクリックし、［メッセージ一覧］をクリックしてください。
- IS Scan Plus をお使いの場合
  IS Scan のヘルプファイルを開く必要があります。出荷時の設定でインストールした場合、IS Scan のヘルプファイル「bjscan2.hlp」は C ドライブの［Program Files］フォルダ内の［Canon］フォルダ内にある、［IS Scan］フォルダに入っています。［エクスプローラ］などを使ってヘルプファイル「bjscan2.hlp」を開き、続いて［目次］ボタンをクリックし、［メッセージ一覧］をクリックしてください。

Macintosh

ヘルプを表示させます。続いて［メッセージ一覧］をクリックしてください。

その他のトラブル

プリンタドライバがインストールできない

BJステータスモニタが表示されない Windows

バックグラウンド印刷ができない

インクの減りかたが早い

プリンタドライバがインストールできない

プリンタドライバのインストールができません。

Check 1　手順どおりにインストールしましたか？

Check 2　ほかにアプリケーションソフトを起動していませんか？

Check 3　インストール用 CD-ROM ドライブを正しく指定しましたか？

Windows

Check 4　インストール用ディスクに異常はありませんか？

Check 1　手順どおりにインストールしましたか？

『かんたんスタートガイド』をご覧になり、記載されている手順にしたがってインストールしてください。
インストールをやり直す場合は、すでにコンピュータ上にあるプリンタドライバを削除してから、再びインストールしてください。

Windows
➡ 不要になったプリンタドライバを削除する

Macintosh
➡ 不要になったプリンタドライバを削除する

Windows 98 の USB インタフェースに接続する場合は、USB ドライバの設定を確認して、不要な USB ドライバがあれば削除します。
詳細は、『Windows 98 の USB インタフェースで、ドライバのインストールができないときは』をご覧ください。

●参考 Windows でエラーが発生してインストーラが強制終了した場合は、Windows が不安定な状態のためインストールできないことがあります。コンピュータを再起動して再びインストールしてみてください。

Check 2　ほかにアプリケーションソフトを起動していませんか？

アプリケーションソフトを起動した状態でインストールすると、インストールできない場合があります。
ほかのアプリケーションソフトをすべて終了させてから、もう一度インストールしてください。
インストールをやり直す場合は、すでにコンピュータ上にあるプリンタドライバを削除してから、再びインストールしてください。

Windows
➡ 不要になったプリンタドライバを削除する

Macintosh
➡ 不要になったプリンタドライバを削除する

Windows 98 の USB インタフェースに接続する場合は、USB ドライバの設定を確認して、不要な USB ドライバがあれば削除します。
詳細は、『Windows 98 の USB インタフェースで、ドライバのインストールができないときは』をご覧ください。

Check 3　インストール用 CD-ROM ドライブを正しく指定しましたか？

Windows

CD-ROM をセットしたときに、自動的にドライバのインストールプログラムが起動しない場合は、［マイ コンピュータ］のアイコンをダブルクリックし、開いたウインドウにある CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。
インストールプログラムが起動したら、『かんたんスタートガイド』をご覧になりインストールを行ってください。

●参考

- CD-ROMのドライブ名はご使用のコンピュータによって異なります。
- ファイル名を指定してインストールする場合は、CD-ROM ドライブ名および、プリンタドライバのインストールプログラム (Install.exe) を正しく指定してください。

Check 4　インストール用ディスクに異常はありませんか？

インストール用ディスクが壊れている可能性があります。
Windows をお使いの場合は［エクスプローラ］でディスクが読めるか確認してください。
Macintosh の場合は CD-ROM のアイコンが表示されるかどうかを再度確認してください。

ディスクが読めない場合は、製品ご相談窓口にお問い合わせください。

➡ お問い合わせの前に

BJ ステータスモニタが表示されない

Windows

BJ ステータスモニタの画面が開きません。

Check 1　**双方向通信が可能なコンピュータおよびプリンタケーブルを使用していますか？**

Check 2　**［双方向通信機能をサポートする］設定になっていますか？**

Check 1　双方向通信が可能なコンピュータおよびプリンタケーブルを使用していますか？

お使いのコンピュータおよびプリンタケーブルの仕様を確認してください。
コンピュータおよびプリンタケーブルが双方向通信に対応していない場合は、BJ ステータスモニタは機能しません。

●参考

コンピュータおよびプリンタケーブルが双方向通信に対応しているかどうかわからない場合は、お買い上げの販売店またはそれぞれのメーカーにお問い合わせください。

Check 2　［双方向通信機能をサポートする］設定になっていますか？

1 プリンタドライバの設定画面を単独で開く。

2 ［詳細］シートの［スプール設定］をクリックし、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択する。

➡ 設定画面を開く

バックグラウンド印刷ができない

BJ バックグラウンダ（Windows）または BJ プリントモニタ（Macintosh）が表示されず、バックグラウンド印刷ができません。

Check 1　ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

Check 2　バックグラウンド印刷がオフになっていませんか？

Check 1　ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

ハードディスクの空き容量が不足している場合は、バックグラウンド印刷ができない場合があります。ハードディスクの空き容量を確認してください。

➡ ハードディスクの空き容量を調べる

十分な空きがないときは、不要なファイルを削除するなどしてハードディスクの空き容量を増やしてください。

●参考 ハードディスクの空き容量が確保できない場合は、バックグラウンド印刷をしない設定にしてください。

Check 2　バックグラウンド印刷がオフになっていませんか？

Windows プリンタドライバの設定画面を開き、［ページレイアウト］シートの［バックグラウンド印刷］をクリックしてチェックマークを付けてください。

Macintosh アップルメニューで［セレクタ］を選択し、［バックグラウンドプリント］の設定をオンにしてください。

インクの減りかたが早い

Check **フロントカバーをひんぱんに開閉していませんか？**

フロントカバーを開けてしばらくそのままにしてからフロントカバーを閉じると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが行われます。
これは、プリントヘッドの状態を最適に保つためのもので、インクが消費されます。

不必要にフロントカバーを開閉しないようにしてみてください。

●参考 **BJ カートリッジを交換するときにも、自動的にプリントヘッドのクリーニングが行われます。**

トラブル回避に役立つ操作

カラーバランスの調整

ガンマ係数による調整

マッチング方法による調整

プリンタとコンピュータの接続を確認する

通常使うプリンタとして設定する Windows

カラーバランスの調整

プリンタドライバで、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの濃淡を変えて、全体の色合いを調整することができます。
たとえば、赤みが強いときはマゼンタの値を下げ、青みが弱いときはシアンの値を上げてみてください。

1　プリンタドライバの設定画面を開き、［オートパレット詳細］をクリックする。
（Macintosh のマニュアル設定で印刷している場合は、［詳細設定］をクリックする。）

2　［色設定］タブ（Macintosh の場合は［カラー］アイコン）をクリックし、［カラーバランス］で各色のスライドバーをドラッグして調整する。



●参考

Windows をお使いの場合、項目がグレー表示になっているときは、［色補正］にチェックマークを付けてください。
Windows 98 をお使いの場合は、［ICM を使用］にチェックマークが付いていないことも確認してください。

ガンマ係数による調整

プリンタドライバでガンマ係数の値を変えると、明暗部のコントラストを調整することができます。
数値が大きいほど全体が暗くなり、暗い部分のコントラストは弱くなります。

1 プリンタドライバの設定画面を開き、［オートパレット詳細］をクリックする。
（Macintosh のマニュアル設定で印刷している場合は、[詳細設定] をクリックする。）

2 ［色設定］タブ（Macintosh の場合は［カラー］アイコン）をクリックし、[ガンマ係数]（Macintosh の場合は［ガンマ補正]）の値を選択する。

●参考 項目がグレー表示になっているときは、［色補正］（Macintosh の場合は［ガンマ補正]）にチェックマークを付けてください。
Windows 98 をお使いの場合は、[ICM を使用] にチェックマークが付いていないことも確認してください。

マッチング方法による調整

プリンタドライバの［マッチング方法］で、中間色を重視して印刷するか、原色を鮮やかに印刷するかを指定します。

[写真]・・・・・・・・・	中間色重視。肌色、空色、植物の緑などのような自然画像の表現に適している。
[グラフィックス]・・・	原色重視。赤、青、黄色などを鮮やかに表現する。
[自動]・・・・・・・・・ (Windowsのみ)	データの種類を自動判別して、適切なマッチング方法に切り替えながら印刷する。
[スポットカラー]・・・ (Macintoshのみ)	基本色重視。中間色の少ない文書の表現に適している。

1 プリンタドライバの設定画面を開き、［オートパレット詳細］をクリックする。
(Macintoshのマニュアル設定で印刷している場合は、[詳細設定]をクリックする。)

2 ［色設定］タブ（Macintoshの場合は［カラー］アイコン）をクリックし、［マッチング方法］で方法を選択する。

●参考

Windowsの場合、項目がグレー表示になっているときは、［色補正］にチェックマークを付けてください。
Windows 98をお使いの場合は、[ICMを使用］にチェックマークが付いていないことも確認してください。

プリンタとコンピュータの接続を確認する

プリンタにトラブルが発生した場合、プリンタとコンピュータを接続しているハードウェアに問題があることがあります。

- 切替器や外付けバッファ、USB ハブなどを使用している場合はそれらをはずして、プリンタとコンピュータを直接接続してから印刷してみてください。
  直接接続して正常に印刷される場合は、切替器、外付けバッファ、または USB ハブの販売元にご相談ください。
- ケーブルに不具合があることも考えられます。別のケーブルに交換し、再度印刷してみてください。
  ケーブルを交換する場合は、以下のものをお勧めします。適切なケーブルがわからないときは販売店にご相談ください。

お勧めのケーブルは以下のとおりです。

■お勧めのケーブル

・パラレルインタフェースでお使いになる場合

IFC-98B/15・・・PC-9800 シリーズ用 36 ピンハーフピッチコネクタ型ケーブル 1.5m
IFC-DOSV/15・・DOS/V 対応コンピュータおよび PC-98NX シリーズ用 25 ピンコネクタ型ケーブル 1.5m

・USB インタフェースでお使いになる場合

IFC-USB/18・・・USB インタフェース対応コンピュータ用 USB（A-B 型）ケーブル 1.8m

通常使うプリンタとして設定する

Windows

複数のプリンタを使用しているときは、BJ F210 を通常使うプリンタに設定しておくことをお勧めします。

1. **Windows の［スタート］から［設定］を選び、［プリンタ］をクリックする。**

2. **プリンタウインドウから［Canon BJ F210］のアイコンをクリックして選択したあと、［ファイル］メニューから［通常使うプリンタに設定］を選択する。**

お問い合わせの前に

お問い合わせシートに記入する

目的に合ったお問い合わせ先を選ぶ

コンピュータの印刷環境を調べるには

最新プリンタドライバの入手方法

修理の依頼は

製品に関する情報窓口のご案内

お問い合わせシートに記入する

お問い合わせシートは、お客様がご相談窓口にお問い合わせや修理のご依頼をされる場合に、トラブルの状況やお使いのコンピュータの環境などを記入していただくものです。
お問い合わせシートは『基本操作ガイド』の巻末にあるものをコピーしてご使用ください。
また、お問い合わせシートに掲載されている必要事項をメモ書きでご用意いただいても構いません。

➡ 電話ご相談窓口

●参考 修理サービスご相談窓口については、『ご相談窓口のご案内』をご覧ください。

目的に合ったお問い合わせ先を選ぶ

トラブルの状況を「お問い合わせシート」にまとめたら、目的に合ったお問い合わせ先を選びましょう。

■プリンタの問題

プリンタがどうしても動作しない場合は、確認した結果や症状をお問い合わせシートに記入して、お買い上げの販売店またはお近くの修理サービスご相談窓口に修理を依頼してください。

➡ 修理の依頼は

●参考 修理サービスご相談窓口については、『ご相談窓口のご案内』をご覧ください。

■プリンタ以外のハードウェアの問題

プリンタの動作は正常に行われ、ソフトウェアの設定も問題なければ、プリンタケーブルやコンピュータシステム(メモリ、ハードディスク、インタフェースなど)に原因があると思われます。
確認した結果や症状をお問い合わせシートに記入して、電話ご相談窓口にお問い合わせください。

➡ 電話ご相談窓口

■アプリケーションソフトの問題

特定のアプリケーションソフトのみで起きるトラブルは、ソフトウェア自体に原因があるか、コンピュータシステムに原因があると思われます。
アプリケーションソフトメーカーのご相談窓口にお問い合わせください。
また、プリンタドライバの最新バージョンをインストールすることで解決される場合もあります。

➡ 最新プリンタドライバの入手方法

コンピュータの印刷環境を調べるには

お問い合わせシートに記載する、システムのバージョン、メモリ容量、ハードディスクの容量やプリンタドライバのバージョンなどを確認します。

システムのバージョンとメモリ容量を調べる

ハードディスクの容量と空き容量を調べる

プリンタドライバのバージョンを調べる

■システムのバージョンとメモリ容量を調べる

Windows

1 [マイ コンピュータ] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする。

2 お使いのコンピュータに応じて、[全般] または [情報] タブをクリックする。

3 システムのバージョンとメモリ容量を確認する。

Macintosh アップルメニューから [このコンピュータについて] を選択する。

■ハードディスクの容量と空き容量を調べる

Windows

1 [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする。

2 ハードディスクドライブのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする。

3 お使いのコンピュータに応じて、[全般] または [情報] シートで、ハードディスクの容量と空き容量を確認する。

Macintosh デスクトップ上のハードディスクのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューで [情報を見る] を選択する。

■プリンタドライバのバージョンを調べる

Windows

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］、［プリンタ］を順に選び、［プリンタ］ウインドウを開く。

2 ［Canon BJ F210］のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

3 ［メイン］タブをクリックして［バージョン情報］をクリックする。

4 プリンタドライバのバージョンを確認する。

Macintosh

1 システムフォルダ内にある機能拡張フォルダをダブルクリックし、［BJ F210］のアイコンを選択する。

2 ［ファイル］メニューから［情報を見る］、［一般情報］を選択する。

3 ［バージョン情報］を確認する。

最新プリンタドライバの入手方法

プリンタドライバに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。インターネット、パソコン通信でのダウンロードまたは郵送サービスによりプリンタドライバの最新バージョンを入手できます。
バージョンアップ情報およびファイルの入手窓口は次のとおりです。
ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

●インターネット
キヤノン販売のホームページで BJ プリンタドライバダウンロードサービスを利用できます。
インターネットの通信料金のみで電話回線または ISDN を通してプリンタドライバを入手できます。
キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）にアクセス後、「ドライバアップデート」の中の「ワンダー BJ プリンタ」をクリックしてください。

●パソコン通信：NIFTY SERVE キヤノンステーション
NIFTY SERVE アクセス後、「GO SCANON」と入力してください。
「インフォメーション　サポートコーナー 2」の中の「データライブラリ」の「【BJ/BJC】ドライバ・ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。
＊通信料はお客様のご負担になります。

●郵送サービス
郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバのフロッピーディスクを郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、プリンタドライバの種類、内容、金額は FAX 情報サービス（音声メッセージにしたがって 99 ＃と押してください）などでドライバの種類や申し込み方法を確認した上で、下記振込先へお振り込みください。

口座番号：00160-1-51418
口座名称：セザックス株式会社 キヤノンプリンタドライバ係
・「通信欄」には必ず「品番・名称・FD 種別」をご記入ください。
・「払込人住所氏名欄」の記載住所へ発送させていただきます。
・お客様の電話番号は必ずご記入ください。

＊プリンタドライバの種類 / バージョン・手数料などの詳細はキヤノン FAX 情報サービス（情報番号 99#）でご確認ください
＊ドライバの発送に払込後 1 週間程度かかる場合がありますのでご了承ください。また当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。（上記の入手方法などは、予告なく変更となる場合があります。1999 年 11 月 30 日現在）

修理の依頼は

●窓口へお持ちいただく場合
最寄りの修理サービスご相談窓口まで製品をお持ち込みください。その際、下記の事項をメモ書きでご用意いただくと、受付時にお客様の貴重なお時間が節約できます。

お客様のお名前、ご住所（修理後商品を返送する場合はその住所）、電話番号、製品名、機番（保証書／販売シートを参照）、お買い上げ日、故障した日、保証期間中の有無、故障内容（どのように使用したときにどんな不具合があるか）、お買い上げいただいた販売店の住所、電話番号

また、保証期間中の場合は、保証書を商品とともにお持ちくださるようにお願いします。

●宅配便で送付していただく場合
- 商品が輸送中のショックで壊れないように、なるべくご購入いただいた時の梱包をご利用ください。ほかの箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れ、商品がガタついたりインクが漏れたりしないようにしっかりと梱包してください。（「プリンタの移送」をご覧になって梱包してください。）
- 「パーソナル商品修理受付票」に所定の事項をご記入いただき（「窓口へお持ちいただく場合」と同様のメモ書きでも構いません）、商品に添付してください。

●参考 修理サービスご相談窓口については、『ご相談窓口のご案内』をご覧ください。

製品に関する情報窓口のご案内

お電話によるご相談のほかにインターネット、パソコン通信、FAX 情報サービスを利用して、製品仕様や関連製品など、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になりますのでご了承ください。

●お客様相談センター：0570-01-9000
キヤノンお客様サポートネット（全国共通電話番号）
全国64ヶ所の最寄りサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問にお電話でお答えします。なお、携帯電話をご利用の場合は、043-211-9330 で受け付けております。

東京・大阪・札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・水戸・つくば・千葉・大宮・甲府・立川・横浜・厚木・静岡・沼津・浜松・豊橋・名古屋・岡崎・岐阜・津・和歌山・福井・金沢・富山・京都・大津・神戸・姫路・岡山・高松・徳島・高知・松山・広島・福山・山口・鳥取・松江・北九州・福岡・久留米・大分・長崎・佐賀・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

●電話サポート受付時間
月曜～金曜（祝日を除く）:
9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00、19:00 ～ 21:00
土曜日、日曜日、祝日（1/1 ～ 1/3 は休み）:
10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00

＊サポート時間については予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

●インターネット
キヤノン販売ホームページ (http://www.canon-sales.co.jp/) の「ワンダー BJ プリンタ」をご覧ください。BJ プリンタの仕様や関連製品、FAQ（よくあるお問い合わせ）の対処方法、BJ プリンタのセルフチェックなどお役に立つ情報が掲載されています。

●パソコン通信：NIFTY SERVE キヤノンステーション
NIFTY SERVE にアクセス後、「GO SCANON」と入力してください。「インフォメーションサポートコーナー 2」の中の「電子会議室」の「（プリンタ BJ/BJC）インフォメーション」に掲載されています。

● FAX 情報サービス

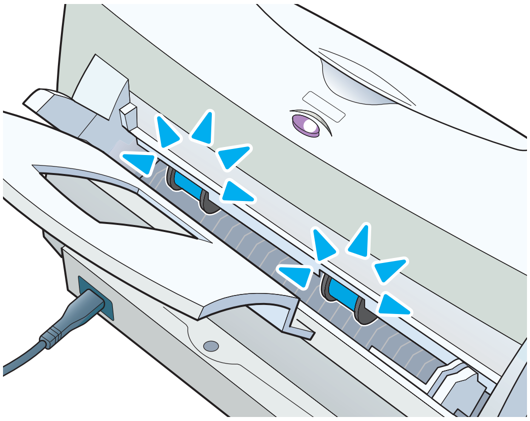
札幌	011（728）0485	秋田	018（826）0441
仙台	022（211）5730	東京	03（3455）5962
名古屋	052（936）0758	大阪	06（6444）4580
広島	082（240）6729	高松	087（826）1621
福岡	092（411）9510		

音声メッセージにしたがって、操作してください。
ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切換えを行ってください。
（電話番号、受付番号、受付時間は、予告なく変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。）

給紙ローラのクリーニング

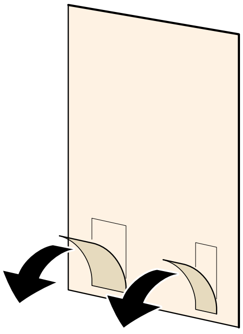
表面に特殊加工をした用紙、はがき、高品位専用紙などを大量に使用すると、プリンタ内部に紙粉がたまり、用紙が正しく送られなくなることがあります。このような場合はクリーニングシートを使って、内部の給紙ローラのクリーニングを行ってください。

●参考 クリーニングシートは、 別売のキヤノン製クリーニングシートキット（CK-101）をお買い求めください。

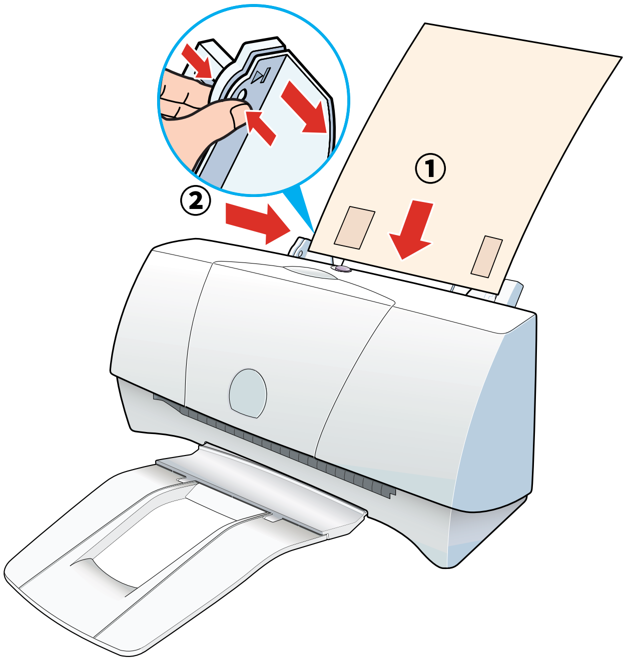


1 プリンタに用紙サポートが取り付けられていることと、電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認します。

2 クリーニングシートの 2 枚のシールをはがします。



3　① シールのある面を手前に向け、シールの位置が下になるようにして、オートシートフィーダの右側に合わせて挿入します。
② 用紙ガイドをつまんでクリーニングシートの左端に合わせます。



4　プリンタドライバの画面を開きます。

Windows

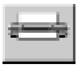
プリンタドライバの設定画面を開きます。

➡ 設定画面を開く

［ユーティリティ］タブをクリックして、［ユーティリティ］シートを開きます。

Macintosh

アプリケーションソフトを起動して、［ファイル］メニューから［用紙設定］を選択します。
［ユーティリティ］をクリックします。

5 をクリックします。

6 クリーニングを実行するかどうか確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

クリーニングシートが給紙されて、シールの部分に紙粉が付着し排出されます。
以上で給紙ローラのクリーニングは完了です。

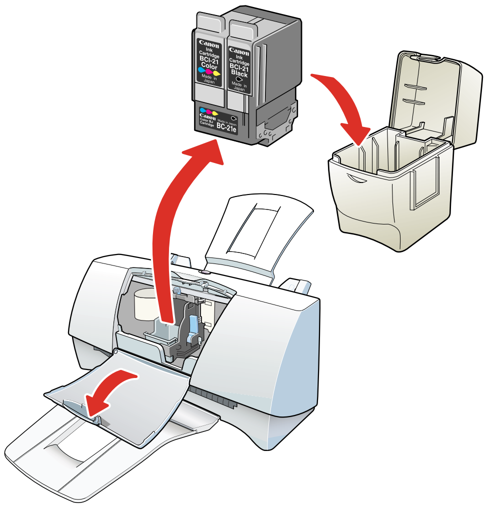
●禁止 一度使用したクリーニングシートは使えません。地域の条例にしたがって捨ててください。

プリンタの移送

引越しなどで本機を別の場所に移送する場合は、購入時にプリンタが入っていた箱や保護材を使用して梱包してください。
他の箱を使用する場合は、丈夫な箱に保護材を十分に詰め、本機が安全に移送されるようしっかりと梱包してください。

1 **プリンタの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認し、フロントカバーを開け、BJ カートリッジをカートリッジホルダから取りはずします。**

取りはずした BJ カートリッジは保管箱（SB-21）に保管してください。保管箱は別途お買い求めください。



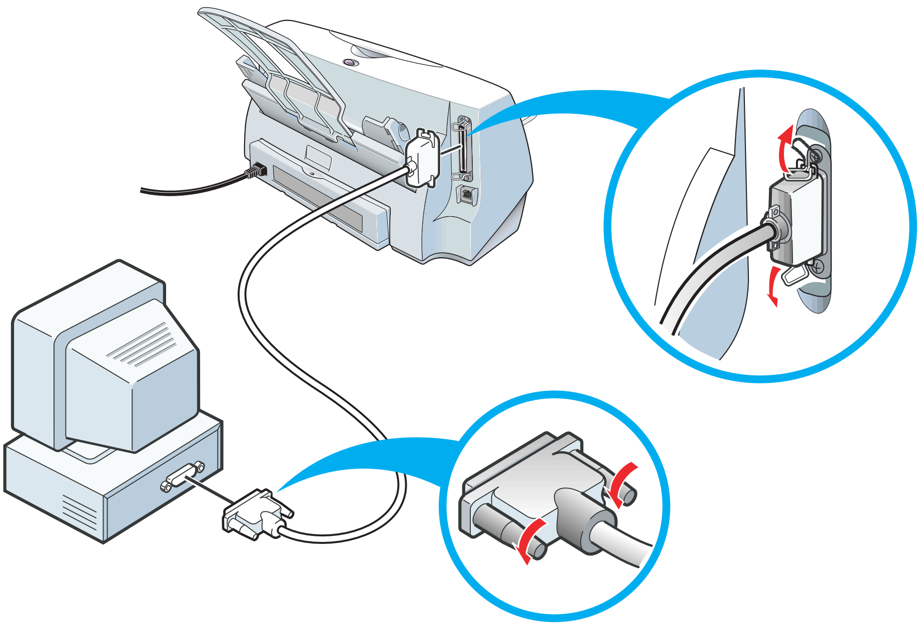
2 **用紙サポートと排紙トレイを取りはずします。**

3 **電源プラグをコンセントから抜いて、プリンタの電源を切ります。**

4 コンピュータとプリンタから、プリンタケーブルを取りはずします。

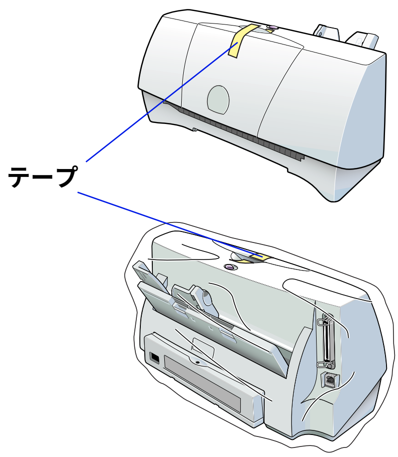
また、プリンタから電源コードを取りはずします。

下図は、パラレルインタフェースの場合です。

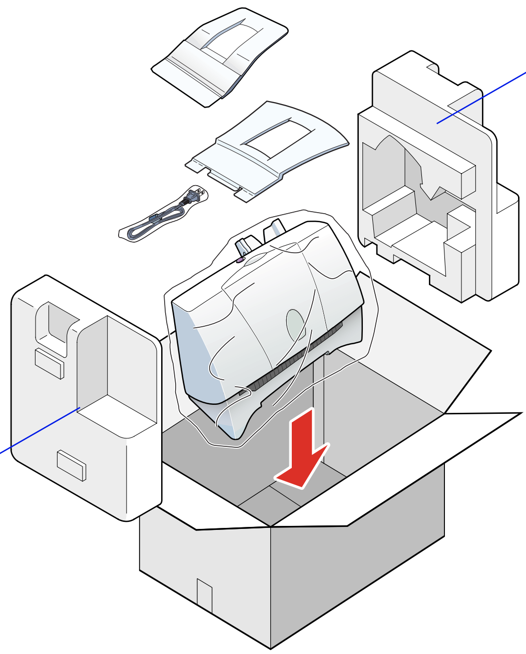


5 テープでフロントカバーを固定し、袋に入れます。

テープを貼る場所は、 で示しています。用紙ガイドは図の位置に寄せてください。



6　プリンタの両側を保護材ではさんで、箱に入れます。



●参考

運送業者に輸送を依頼するときは、箱の上部に「精密機器」と明記してください。

ドライバ解説編

プリンタに付属しているソフトウェアの説明書です。
必要なページを開いて印刷してお読みください。

[Windows ドライバガイド](#)

[Macintosh ドライバガイド](#)

Windows ドライバガイド

プリンタドライバの基礎知識

プリンタの応用テクニック

メンテナンス機能

スキャナドライバ

スキャナ用アプリケーションソフト

付録

ドライバガイドをお使いになる前に

■各ソフトウェアのインストールについて

本書を読む前に、各ソフトウェアのインストールを正しい手順で行ってください。
インストール方法は次の取扱説明書に書かれています。

プリンタドライバ（BJ Raster Printer Driver）

Windows 98、Windows 95、Windows NT4.0でパラレルインタフェースにプリンタを接続している場合	→	かんたんスタートガイド（緑色）の裏面
Windows 98でUSBインタフェースにプリンタを接続している場合	→	かんたんスタートガイド（紫色）の裏面

スキャナドライバ（IS Scan）とIS Scan Plus

Windows 98、Windows 95、Windows NT4.0をお使いの場合	→	かんたんスタートガイド（緑色／紫色）の裏面

■Windows NT4.0をお使いの方へ

本書に記載されているプリンタドライバの説明はWindows 98、Windows 95用です。Windows NT4.0をお使いの場合は、操作方法が異なります。
操作方法については、別途Word文書形式で取扱説明書を用意していますので、そちらをご覧ください。
インストール完了後、次の手順で「Windows NT 4.0 プリンタドライバガイド」を開いて説明をお読みください。

1 ［スタート］ボタンをクリックします。
2 ［プログラム］、［BJ ラスタ プリンタ］、［操作説明］をクリックします。

スキャナドライバ（IS Scan）とIS Scan Plusはまったく共通です。本書の説明をお読みください。

プリンタドライバの機能

プリンタドライバはBJ F210で印刷するときに必要なソフトウェアです。
プリンタドライバが正しくインストールされると、コンピュータは接続したプリンタを認識できるようになります。
印刷時には、原稿のデータをプリンタに理解できる形式に変換し、プリンタに送り出す働きをします。

プリンタドライバの機能を本書では３つに分類しています。各ページ右上に「プリンタドライバの基礎知識」、「プリンタの応用テクニック」、「メンテナンス機能」の分類名を記載していますので、目的に合わせて必要な説明を参照してください。

印刷設定を行う……………………→**「プリンタドライバの基礎知識」** P.209〜P.218

プリンタドライバが正しくインストールされていれば、印刷はいつでも実行できます。しかし、印刷された結果は、原稿の種類、使用する用紙やBJカートリッジによって違いがあります。これらの条件に合わせて最適な印刷結果を得られるようにする操作が印刷設定です。 適正な印刷設定を行えば、印刷の品質や発色は向上します。印刷を実行する前にプリンタドライバの設定画面を開いて、基本的な印刷設定を行うようにしてください。最低限必要な情報は、「基礎知識」にまとめています。

特殊な機能を実行する……………→**「プリンタの応用テクニック」** P.219〜P.257

プリンタドライバの設定により、拡大/縮小印刷、割り付け印刷、ポスター印刷、スタンプ/背景の印刷などの特殊な印刷を実行できます。また、写真などの画像データに特殊効果を加えて印刷することもできます。
印刷結果に満足がいかない場合は、色や品質に関する詳細な設定を行ってください。
また、BJバックグラウンドモニタ、BJバックグラウンダ、BJステータスモニタ、BJプリンタモニタといった各種ツールを使用すると、印刷の進行状況やプリンタの状態を確認できます。
これらの応用的な機能については「応用テクニック」にまとめています。

プリンタのメンテナンスを行う……………→**「メンテナンス機能」** P.258〜P.261

BJカートリッジのメンテナンス（プリントヘッドのクリーニング、ノズルチェックパターンの印刷）を行う場合にも、プリンタドライバの設定画面を開いてください。アイコンをクリックすると、それぞれの機能をプリンタに実行させることができます。
これらの機能については「メンテナンス機能」にまとめています。

＊本書で使用している画面はWindows 98の画面です。Windows 95で使用する場合は、画面が一部異なるところがあります。

スキャナドライバの機能

スキャナドライバIS ScanはBJ F210にカラーイメージスキャナカートリッジIS-22を装着して、画像を取り込むときに必要なソフトウェアです。
スキャナドライバが正しくインストールされると、コンピュータは接続したプリンタをスキャナ装置として認識できるようになります。

本書ではIS Scanの機能説明を「スキャナドライバ」、IS Scan Plusの機能説明を「スキャナ用アプリケーションソフト」と分類しています。各ページ右上に記載していますので、目的に合わせて必要な説明を参照してください。

IS Scan**の機能**･･････････････････････････････→**「スキャナドライバ」** P.262〜P.270

IS ScanはTWAIN対応のスキャナドライバです。インストールするとTWAIN対応の画像編集アプリケーションソフトから起動できるようになります。IS Scanが行うのは画像の読み取りのみで、読み取った画像はアプリケーションソフトに転送されます。編集、印刷、データの保存はアプリケーションソフトで行ってください。
画像の読み取り時に必要な設定を中心に、IS Scanの機能は「スキャナドライバ」にまとめています。

IS Scan Plus･･････････････→**「スキャナ用アプリケーションソフト」** P.271〜P.282

IS Scan PlusはIS Scanの機能を活用するための画像編集アプリケーションソフトです。TWAIN対応のアプリケーションソフトをお持ちでない場合は、このIS Scan Plusをお使いください。画像の読み取り、編集、保存、印刷までを一貫して行うことができます。
IS Scan Plusの機能は「スキャナ用アプリケーションソフト」にまとめています。

●参考

- IS Scan、IS Scan Plusをお使いの場合は、プリンタにカラーイメージスキャナカートリッジIS-22（以下、本書ではスキャナカートリッジと略します）を取り付けておく必要があります。また、原稿をスキャニングホルダにセットするなど、プリンタ側での作業を伴います。
これらの詳細については「スキャナとして使うには」を参照してください。
- IS Scan PlusはIS Scanをインストール時に「TWAINドライバだけをインストール」を選択した場合は、インストールされていません。必要な場合は、[標準インストール]を選択して、インストールしてください。

プリンタドライバの基礎知識

Windows

設定画面を開く

基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

用紙サイズを設定する

給紙方法を確認する

ヘルプの見かた

設定画面を閉じる

設定画面を開く

印刷設定をするときや、クリーニングなどのメンテナンス操作を行うときに、プリンタドライバの設定画面(プリンタのプロパティ)を開きます。
開く方法は２通りあります。

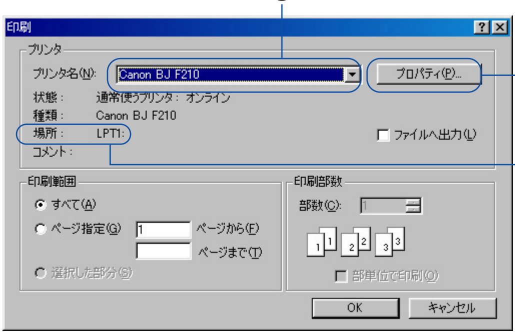
■アプリケーションソフトから開く

通常は印刷の前にこの方法で設定画面を開き、印刷設定を行います。
操作のしかたはアプリケーションソフトによって異なりますが、ここでは一般的な手順を説明します。

1 アプリケーションソフトで印刷を実行するメニューを選択します。
一般的には［ファイル］メニューから［印刷］を選択して、［印刷］ダイアログボックスを表示します。

2 プリンタの［名前］が［Canon BJ F210］になっていることを確認します。別のプリンタが表示されている場合は ▼ をクリックし、一覧から選択します（①）。続いて、［プロパティ］ボタンをクリックします（②）。

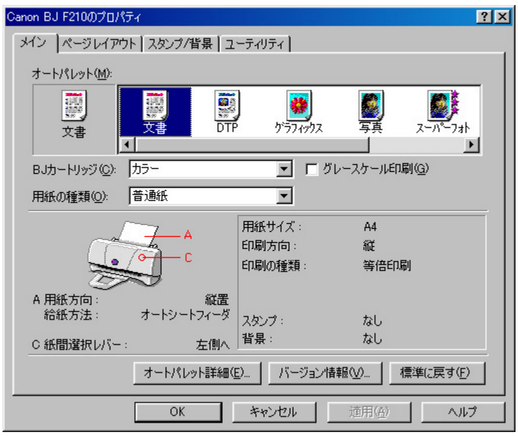
①



②

Windows 98をお使いで、BJプリンタを複数台使用している場合は、［場所］でポート名も確認してください。
パラレルインタフェースに接続する場合は、［LPT1:］など、USBインタフェースに接続している場合は、［USBPRN01］などと表示されます。

設定画面が開きます。



●参考

・アプリケーションソフトによっては別のメニュー名であったり、もっと手順が多くなることがあります。お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

■単独で開く

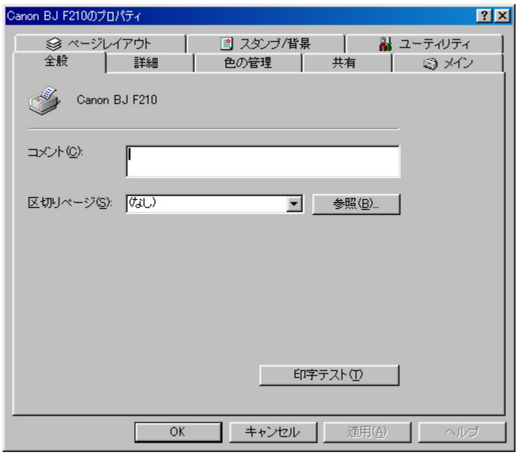
アプリケーションソフトを開いていないときに、クリーニングなどのメンテナンスを実行したいときや、すべてのアプリケーションソフトに共通する印刷設定をしたいときは、この方法で設定画面を開きます。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］、［プリンタ］を選択します。

2 ［Canon BJ F210］のアイコンを選択します。



3 ［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。
次のような設定画面が開きます。



●参考

・プリンタドライバの印刷設定に関するタブは［メイン］、［ページレイアウト］、［スタンプ/背景］、［ユーティリティ］の4種類です。
単独で開いたときは、このほかにWindowsが追加する［詳細］などのタブがあります。
それらのタブについてはWindowsの取扱説明書を参照してください。

基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

オートパレットは印刷の品質や色の設定をアイコンに登録したものです。原稿や目的に最も近いものを選ぶと、BJカートリッジや用紙の種類を自動的にお勧めの設定に変更します。

■オートパレットの選択のしかた

まずアイコンを選択して、[BJカートリッジ] と [用紙の種類] は実際にプリンタにセットしているものに合わせます。

1 設定画面を開き、[メイン] シートを表示します。

2 [オートパレット] で原稿の種類や目的に最も近いアイコンを選択します（①)。
次に [BJカートリッジ]（②)、[用紙の種類]（③）で実際にプリンタにセットしているものを選択します。



［ヒント］
カラーの原稿をモノクロで印刷したい場合は、[グレースケール印刷]のチェックボックスをオン（☑）にします。

●参考

・選択したオートパレットの設定を変えると、現在の設定を表すアイコンが「～から変更」という形に変わります。



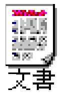
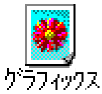
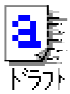
↑現在の設定

この状態でも印刷は問題なくできますが、変更したオートパレットに名前をつけて新規登録することも可能です。
登録するとほかの原稿を印刷する場合もワンタッチで同じ設定を選択できるようになります。

➡ オートパレットの登録と整理　P.241

■あらかじめ用意されているオートパレット

あらかじめシステムが用意しているオートパレットの用途は次の表を参照してください。
アイコンを選択すると、[BJカートリッジ]、[用紙の種類] の設定が変わります。

アイコン	用　　途	[BJカートリッジ]	[用紙の種類]
	普通紙に印刷するときの標準の設定です。文章中心の原稿に適しています。	カラー	普通紙
	さまざまな要素（写真、絵、表など）が混在している文書を印刷するときにお勧めの設定です。写真やグラフィックスを自動認識して最適な設定に切り替えながら印刷します。	カラー	普通紙
	グラフや色の境界がはっきりしたコンピュータグラフィックスなどを印刷するときにお勧めの設定です。	カラー	高品位専用紙
	写真を印刷するときの設定です。グラデーションを多用したグラフィックス原稿にも適しています。	カラー	高品位専用紙
	写真を最高品質で印刷するときの設定です。グラデーションを多用したグラフィックス原稿にも適しています。	フォト	高品位専用紙
	品質よりも印刷スピードの高速性を重視する設定です。試し刷りなどに適しています。	カラー	普通紙
	デジタルカメラで撮影した画像データを印刷するときにお勧めの設定です。[フォトデータ補正] がオンになっているため、色かぶりや露出アンダー、露出オーバーが発生している画像の色合いを補正して印刷できます。 ➡ フォトデータ補正を行う　P.234	フォト	高品位専用紙

●参考

・オートパレットに登録されている設定項目は、[BJカートリッジ] や [用紙の種類] だけではありません。すべての項目の設定内容を確認したいときは、[オートパレット] でアイコンを選択した後、[オートパレット詳細...] ボタンをクリックしてください。[クオリティ]、[特殊効果]、[色設定] シートにある設定項目がオートパレットに登録されているもののすべてです。
・オートパレットの各設定項目は変更できます。

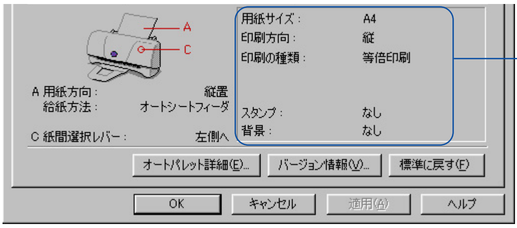
➡ オートパレットの登録と整理　P.241

用紙サイズを設定する

用紙サイズはあらかじめアプリケーションソフトで設定しておきます。印刷するときはプリンタドライバの設定画面を開き、アプリケーションソフトで設定したサイズと同じになっていることを確認してください。

■用紙サイズの設定を確認する

［メイン］シートには、ほかのタブの設定内容を確認できる欄（設定内容欄）があります。
ここで［用紙サイズ］の設定がアプリケーションソフトと同じかどうか確認できます。



設定内容欄

■ 用紙サイズの設定を変更する

アプリケーションソフトの設定と異なっているときは、次の手順で設定を合わせます。
定型サイズの場合は、使用している用紙のサイズを直接選択します。

1 ［ページレイアウト］タブをクリックし、［用紙サイズ］の▼をクリックして、一覧から目的のサイズを選択します。



●参考

・使用しているアプリケーションソフトによっては［用紙サイズ］がグレー表示になっていることがあります。
この場合は［キャンセル］ボタンをクリックして、いったん設定画面を閉じます。単独で開く方法で設定画面を開き直して、［用紙サイズ］を選択してください。

➡ 単独で開く　P.211

■非定型の用紙を使用するとき

A4、A5などの定型サイズではない用紙を使用する場合は、[ユーザ定義サイズ] を選択します。

1 [ページレイアウト] タブをクリックし、[用紙サイズ] の▼をクリックして、一覧から [ユーザ定義サイズ] を選択します。



[ユーザ定義サイズ] ダイアログボックスが表示されます。

2 [用紙の幅]、[用紙の長さ] の数値を入力して（①）[OK] ボタンをクリックします（②）。

[ユーザ定義サイズ] ダイアログボックス



●参考 ・[単位] はmmに設定されています。必要に応じてインチ（inch）に変更できます。

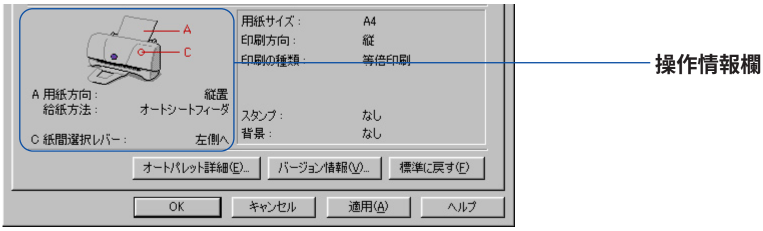
指定したサイズの用紙が設定されます。

給紙方法を確認する

BJ F210では、用紙はオートシートフィーダにセットするため、どのオートパレットを選択しても［給紙方法］は［オートシートフィーダ］が設定されています。

■給紙方法の設定を確認する

［メイン］シートには、プリンタにセットする用紙に合わせて、プリンタ側の操作に必要な情報を確認できる欄（操作情報欄）があります。ここで［給紙方法］の設定を確認できます。



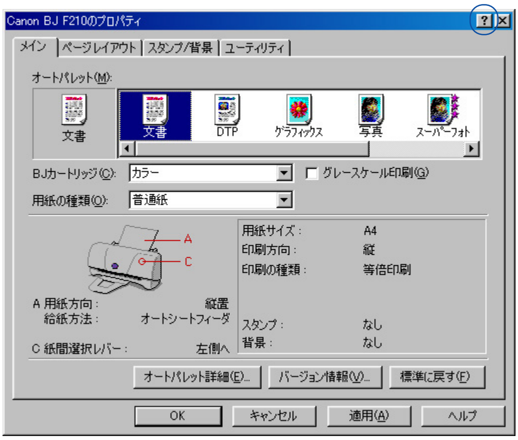
BJ F210には手差しトレイはありません。給紙方法はオートシートフィーダのみです。

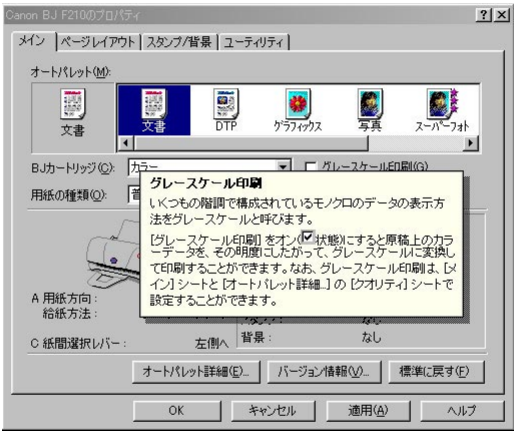
ヘルプの見かた

ヘルプを表示すると、設定画面を開いた状態で、操作のしかたや、設定項目の説明を読むことができます。

■設定項目の説明を見る（ポップアップ）

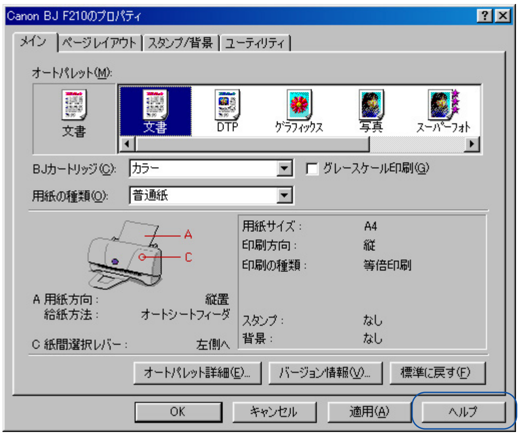
設定画面右上にある ? ボタンをクリックするとポインタの形が ? に変わります。
この状態で説明を見たい項目にポインタを合わせてクリックします。

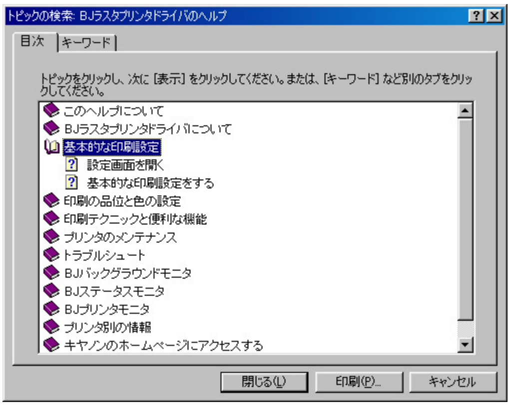




■操作説明を見る（目次）

設定画面下部にある［ヘルプ］ボタンをクリックすると、目次が表示されます。
説明を見たい大項目、小項目を順にダブルクリックします。





［キーワード］タブをクリックして、キーワードとなる単語を入力して知りたい項目を検索することもできます。

設定画面を閉じる

印刷に関する設定がすべて終わったら、設定画面を閉じて印刷を実行します。

■印刷設定を完了する

1 操作情報欄を見て、プリンタの紙間選択レバーの位置や用紙のセットのしかたが正しいかどうか確認します。



2 ［OK］ボタンをクリックします。



設定した内容を有効にして、設定画面が閉じます。

●参考

- 設定内容を無効にしたいときは、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。
- 設定内容をインストール時の設定（標準設定）に戻したいときは、各シートで［標準に戻す］ボタンをクリックしてください。
- 設定画面を閉じないで、設定した内容を有効にしたい場合は［適用］ボタンをクリックします（Windows 95では［更新］ボタンと表示されることがあります）。

プリンタの応用テクニック

Windows

拡大／縮小印刷をする

割り付け印刷をする

冊子印刷をする

ポスター印刷をする

バナー紙（長尺紙）印刷をする

部数と印刷順序を変更する

用紙の両面に印刷する

スタンプを印刷する

背景を印刷する

画像の補正を行う

画像に特殊効果を加える

印刷の品質を調整する

色を調整する

好みの設定を登録する

バックグラウンド印刷について

BJ ステータスモニタの機能

BJ プリンタモニタの機能

拡大/縮小印刷をする

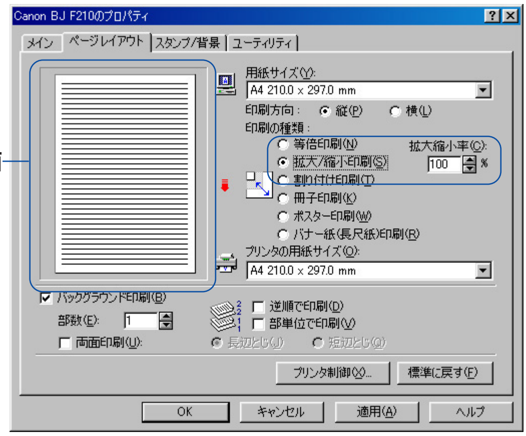
アプリケーションソフトで作成した原稿を、拡大または縮小して印刷します。
拡大縮小率を設定する方法と、プリンタにセットする用紙サイズを変える方法があります。

■拡大縮小率を指定する

原稿をどの程度拡大、縮小するかがわかっている場合は、拡大縮小率を%で設定します。

1 設定画面を開き、［ページレイアウト］タブをクリックします。

2 ［印刷の種類］で［拡大/縮小印刷］をクリックします。
［プリンタの用紙サイズ］と［拡大縮小率］を設定できるようになります。



3 ［拡大縮小率］を設定します。
数値欄を選択して数値を入力するか、をクリックして数値を調整します。

4 プレビュー画面でレイアウトを確認し、印刷を実行する場合は［OK］ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

●参考 通常の印刷に戻したい場合は、［印刷の種類］で［等倍印刷］を選択してください。

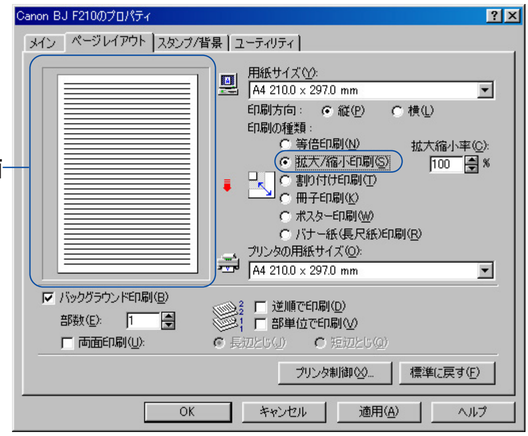
■原稿サイズと異なるサイズの用紙をプリンタにセットする

［プリンタの用紙サイズ］を設定して、拡大/縮小印刷を行います。
［用紙サイズ］より大きなサイズを選択すると拡大、小さなサイズを選択すると縮小されて印刷されます。プリンタには［プリンタの用紙サイズ］で指定したのと同じサイズの用紙をセットしてください。

1 設定画面を開き、［ページレイアウト］タブをクリックします。

2 ［印刷の種類］で［拡大/縮小印刷］をクリックします。
［プリンタの用紙サイズ］と［拡大縮小率］を設定できるようになります。

プレビュー画面



3 ［プリンタの用紙サイズ］の ▼ をクリックし、目的の用紙サイズを選択します。
［用紙サイズ］と異なるサイズを選択すると、［拡大縮小率］は自動的に計算されます。微調整が必要な場合は数値を変更してください。



4 プレビュー画面でレイアウトを確認し、印刷を実行する場合は［OK］ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

●参考

・通常の印刷に戻したい場合は、［印刷の種類］で［等倍印刷］を選択してください。

割り付け印刷をする

2ページ分または4ページ分の原稿を、1枚の用紙に納まるようレイアウトして印刷します。
見開きで全体のイメージを見たいときや、袋とじに仕上げるときに便利です。

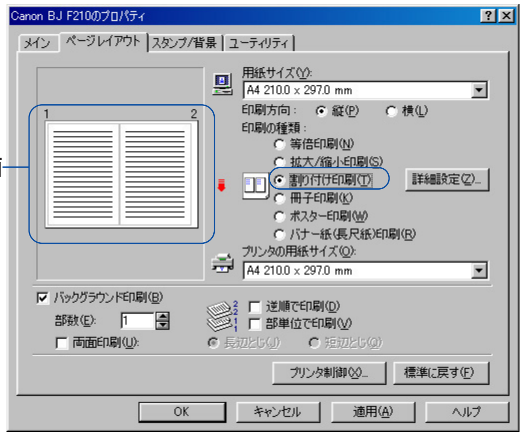
■割り付け印刷の設定を行う

［印刷の種類］で［割り付け印刷］を選択します。割り付けページ数等の細かい設定を行う場合は、［詳細設定］ボタンをクリックします。

1 設定画面を開き、［ページレイアウト］タブをクリックします。

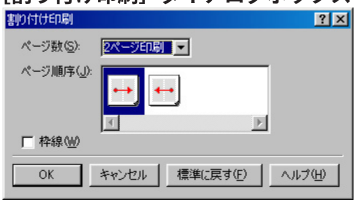
2 ［印刷の種類］で［割り付け印刷］をクリックします。
［詳細設定］ボタンが表示され、プレビュー画面の表示が変わります。

プレビュー画面



3 必要に応じて［詳細設定］ボタンをクリックし、［割り付け印刷］ダイアログボックスで詳細な設定を行います。
設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。

［割り付け印刷］ダイアログボックス



[ページ数]…………… ▼ をクリックして、1枚の用紙に2ページ分の原稿を割り付けるか、4ページ分の原稿を割り付けるかを選択します。

[ページ順序]…………用紙に対してどのような順序で原稿を割り付けるかを選択します。
アイコン上の矢印の丸側を起点として、矢印の方向にページを配置します。

[枠線]……………………チェックボックスをオン（☑）にすると、各ページのまわりに枠線を印刷します。

4 プレビュー画面でレイアウトを確認し、印刷を実行する場合は、[OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

●参考

・[バックグラウンド印刷] がオフ（☐）になっているときは、割り付け印刷はできません。
・通常の印刷に戻したい場合は、[印刷の種類] で [等倍印刷] を選択してください。

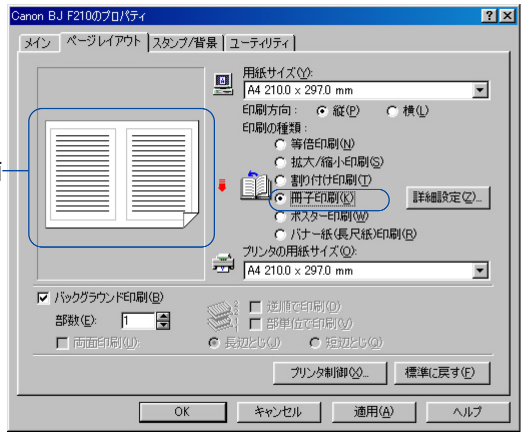
冊子印刷をする

中央で折ってとじたときにページの順番が揃うように、ページを配分しながら両面印刷します。
小冊子を作るときに便利です。

■冊子印刷の設定を行う

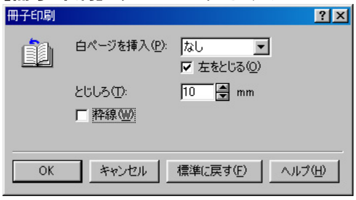
1 設定画面を開き、[ページレイアウト] タブをクリックします。
2 [印刷の種類] で [冊子印刷] をクリックします。
[詳細設定] ボタンが表示され、プレビュー画面の表示が変わります。

プレビュー画面



3 必要に応じて [詳細設定...] ボタンをクリックし、[冊子印刷] ダイアログボックスで詳細な設定を行います。
設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。

[冊子印刷] ダイアログボックス



[白ページを挿入]……………とじたときに片側のページが白紙になるようにしたい場合、白紙にするほうのページを選択します。

[左をとじる]……………………チェックボックスをオン（☑）にすると、左側をとじるように原稿を配置します。チェックボックスをオフ（□）にすると、右側をとじるように原稿を配置します。

[上をとじる]……………………チェックボックスをオン（☑）にすると、上側をとじるように原稿を配置します。チェックボックスをオフ（□）にすると、下側をとじるように原稿を配置します。

[とじしろ]………………………とじしろの数値を、mm単位で入力します。用紙の中央から指定した幅が1ページ分のとじしろとなります。

[枠線]……………………………チェックボックスをオン（☑）にすると、１ページごとに周囲を枠で囲みます。

4 プレビュー画面でレイアウトを確認し、印刷を実行する場合は、［OK］ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

5 片面の印刷が終わると、メッセージが表示されます。
画面の指示にしたがって、用紙を正しくオートシートフィーダにセットします。

6 ［OK］ボタンをクリックすると、もう一方の面の印刷が始まります。
両面の印刷が完了したら、とじしろの中央で折ってとじて、小冊子を作成します。

●参考

- ［冊子印刷］を実行すると、両面印刷の機能が実行されます。
- ［バックグラウンド印刷］がオフ（□）になっているときは設定できません。
- 次の設定項目はグレー表示となって選択できません。
  ［両面印刷］、［長辺とじ］、［短辺とじ］、［逆順で印刷］、［部単位で印刷］
- ［白ページを挿入］でページを選択しているときは、スタンプや背景を設定していても、白紙となるページには印刷されません。
- ［用紙の種類］に［普通紙］以外の用紙が選択されているときは設定できません。
- ［左をとじる］および［上をとじる］のうち、設定できる内容は、［用紙サイズ］や［印刷方向］の設定によって変わります。
- 冊子印刷を行うと、原稿の内容が縮小されるため、印刷結果が粗くなったように見えることがあります。

ポスター印刷をする

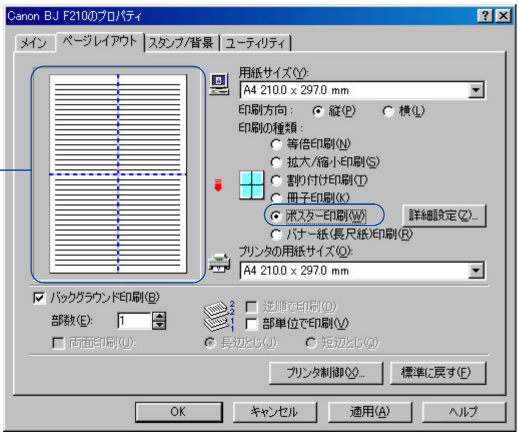
原稿を拡大して、複数の用紙に分割して印刷します。
写真などの画像データを印刷して用紙を貼り合わせると、ポスターのような大判の印刷物に仕上げることができます。

■ポスター印刷の設定を行う

［印刷の種類］で［ポスター印刷］を選択します。原稿の分割数など、細かい設定を行う場合は、［詳細設定］ボタンをクリックします。

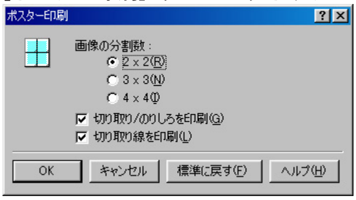
1 設定画面を開き、［ページレイアウト］タブをクリックします。

2 ［印刷の種類］で［ポスター印刷］をクリックします。
［詳細設定］ボタンが表示され、プレビュー画面の表示が変わります。



3 必要に応じて［詳細設定］ボタンをクリックし、［ポスター印刷］ダイアログボックスで詳細な設定を行います。
設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。

［ポスター印刷］ダイアログボックス



[画像の分割数] ……………………………原稿をいくつに分割するかを選択します。
分割数が多くなるほど、印刷に使用する用紙の枚数が増え、大きなポスターを作成できます。

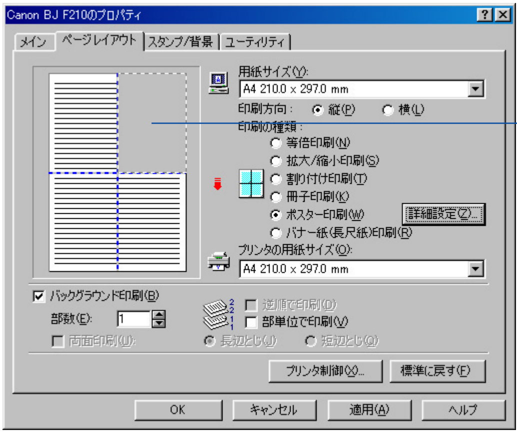
[切り取り／のりしろを印刷] ……チェックボックスをオン（☑）にすると、貼り合わせるときに目安となる「切り取り」、「のりしろ」の文字を印刷します。

[切り取り線を印刷] …………………チェックボックスをオン（☑）にすると、貼り合わせるときに目安となる切り取り線を印刷します。

4 プレビュー画面でレイアウトを確認し、印刷を実行する場合は、［OK］ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

●参考

- ［バックグラウンド印刷］がオフ（☐）になっているときは、ポスター印刷はできません。
- 次の設定項目はグレー表示となって選択できません。
  ［両面印刷］、［長辺とじ］、［短辺とじ］、［逆順で印刷］
- 通常の印刷に戻したい場合は、［印刷の種類］で［等倍印刷］を選択してください
- プレビュー画面ではマウス操作により、印刷する部分と印刷しない部分を選択できます。



各分割範囲をクリックすると表示が消え、そのページは印刷されなくなります。再度同じ範囲をクリックすると、そのページは印刷されるようになります。

プレビュー画面内にマウスポインタを置いて右クリックすると、一度にすべての範囲を選択したり、すべての範囲を印刷しない設定にすることができます。

[全ページ選択] ………すべての範囲を印刷範囲として選択します。

[全ページ削除] ………すべての範囲を印刷しない設定にします。

バナー紙（長尺紙）印刷をする

バナー紙をプリンタにセットする方法は「**バナー紙に印刷する**」をご覧ください。
ここでは、バナー紙に印刷するときの設定方法のみ説明します。

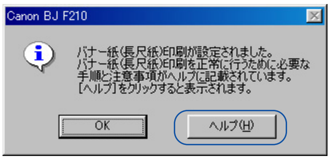
■バナー紙に印刷するための設定を行う

［印刷の種類］で［バナー紙（長尺紙）印刷］を選択します。

1 設定画面を開き、［ページレイアウト］タブをクリックします。
2 ［印刷の種類］で［バナー紙（長尺紙）印刷］をクリックします。



3 表示されたメッセージで［ヘルプ］ボタンをクリックすると、詳しい手順と注意事項を読むことができます。



4 ［OK］ボタンをクリックします。
メッセージが閉じて、プレビュー画面の表示が変わります。
5 印刷を実行する場合は、［OK］ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

●参考

・バナー紙印刷時は、アプリケーションソフトの部数の設定は1部にしてください。複数部印刷の設定をすると正しく印刷できません。
・通常の印刷に戻したい場合は、［印刷の種類］で［等倍印刷］を選択してください。

部数と印刷順序を変更する

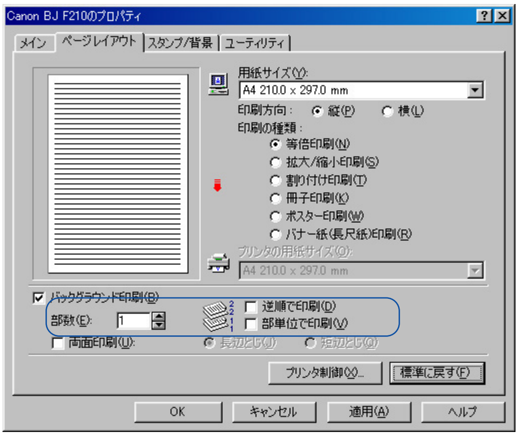
基本の設定では、部数は1部、印刷順序は1ページ目から順番に印刷するようになっています。
同じ印刷データを複数部印刷するときは部数の設定が必要です。また印刷順序を部単位で逆順に設定しておくと、印刷後に並べ換える手間が省けます。

■部数と印刷順序を設定する

印刷の順序は、[逆順で印刷] と [部単位で印刷] の設定のしかたによって変わります。

1 設定画面を開き、[ページレイアウト] タブをクリックします。

2 [部数] と [逆順で印刷]、[部単位で印刷] の設定をします。



[部数]

印刷する部数を設定します。1〜999まで設定可能です。

[逆順で印刷]

複数のページを印刷するときの順序を設定します。

オン（☑）にすると、最終のページから印刷します。オフ（☐）にすると、先頭のページから印刷します。

[部単位で印刷]

複数部を続けて印刷するときの順序を設定します。

オン（☑）にすると、1部ずつまとまるように印刷します。オフ（☐）にすると、同一ページごとにまとまるように印刷します。

3 印刷を実行する場合は、[OK] ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考

- [バックグラウンド印刷] がオフ（☐）になっているときは設定できません。
- [バナー紙（長尺紙）印刷] を選択しているときは設定できません。
- [冊子印刷] を選択しているときは [逆順で印刷]、[部単位で印刷] は設定できません。
- [ポスター印刷] を選択しているときは [逆順で印刷] は設定できません。
- [部数] の設定は、プリンタドライバ上で行うことをお勧めします。

用紙の両面に印刷する

基本の設定では、用紙の片面に印刷するようになっています。
両面印刷をする場合は、片面の印刷が終わるごとに、用紙をオートシートフィーダにセットします。

■両面印刷を行う

両面印刷は、［長辺とじ］と［短辺とじ］の設定のしかたによって変わります。

1 設定画面を開き、［ページレイアウト］タブをクリックします。

2 ［両面印刷］をオン（☑）にします。



3 ［長辺とじ］と［短辺とじ］のいずれかを選択します。

［長辺とじ］

用紙の長いほうの辺でとじるときに選択します。

［短辺とじ］

用紙の短いほうの辺でとじるときに選択します。

4 印刷を行う場合は、［OK］ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

5 片面の印刷が終わると、メッセージが表示されます。

画面の指示にしたがって、排出された用紙の印刷されていない面を上にして、オートシートフィーダにセットします。

長辺とじと短辺とじでは、用紙を裏返すときの向きが異なります。画面に表示される図をご覧になり、正しくセットしてください。

6 ［OK］ボタンをクリックすると、もう一方の面の印刷が始まります。

●参考

- ［バックグラウンド印刷］がオフ（□）になっているときは設定できません。
- ［メイン］シートの［用紙の種類］に［普通紙］以外が選択されているときは設定できません。
- ［印刷の種類］に［冊子印刷］、［ポスター印刷］、［バナー紙（長尺紙）印刷］が選択されているときは設定できません。

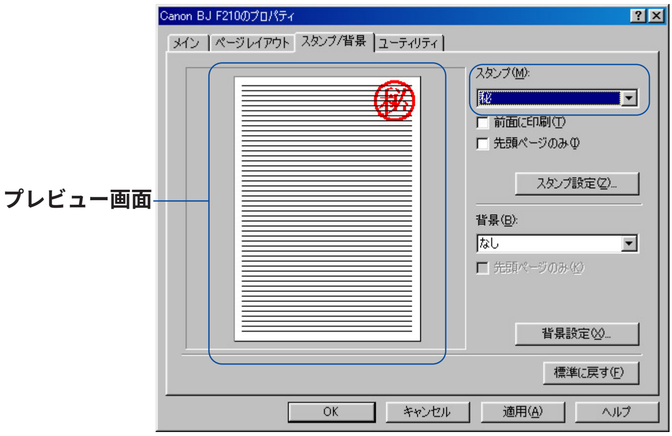
スタンプを印刷する

原稿データに重ねて、文字列で構成されたスタンプを印刷します。
ここでは、すでに登録されているスタンプを選択する方法を説明します。

■登録されているスタンプを選択する

あらかじめ「社外秘」、「重要」など、ビジネス文書に使用するスタンプが登録されています。

1. 設定画面を開き、[スタンプ/背景] タブをクリックします。
2. [スタンプ] の ▼ をクリックし、目的のタイトルを選択します。
プレビュー画面にスタンプが表示されます。



3. 必要に応じて、次の設定を行うことができます。

[前面に印刷]…………チェックボックスをオン（☑）にすると、スタンプは原稿データの上に表示されます。原稿データとスタンプが重なり合った部分ではスタンプが優先的に表示されます。オフ（☐）になっていると、原稿データと重なりあったスタンプが隠れてしまうことがあります。

[先頭ページのみ]…チェックボックスをオン（☑）にすると、スタンプは最初のページにだけ印刷されます。

4. 印刷を実行する場合は、[OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

●参考

- [バックグラウンド印刷] がオフ（☐）になっているときと、[バナー紙（長尺紙）印刷] を選択しているときは [スタンプ] を選択できません。
- 通常の印刷に戻したい場合は、[スタンプ] で [なし] を選択してください。
- スタンプのサイズや位置を変更したいときは、[スタンプ設定] ボタンをクリックしてください。

➡ スタンプの登録と削除　P.245

背景を印刷する

原稿データの下地にイラストなどの背景を印刷します。背景として登録できるのはビットマップファイルです。ここでは、すでに登録されている背景を選択する方法を説明します。

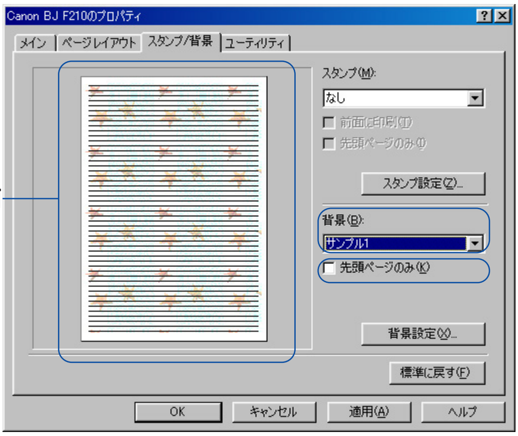
■登録されている背景を選択する

あらかじめ「サンプル1」、「サンプル2」というタイトルで背景が登録されています。

1 設定画面を開き、[スタンプ/背景] タブをクリックします。

2 [背景] の をクリックし、目的のタイトルを選択します。
プレビュー画面に背景が表示されます。

プレビュー画面



3 必要に応じて、次の設定を行います。
[先頭ページのみ]…チェックボックスをオン（ ）にすると、背景は最初のページにだけ印刷されます。

4 印刷を実行する場合は、[OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

●参考

・[バックグラウンド印刷] がオフ（ ）になっているときと、[バナー紙（長尺紙）印刷] を選択しているときは [背景] を選択できません。
・通常の印刷に戻したい場合は、[背景] で [なし] を選択してください。
・背景の濃度や位置を変更したいときは、[背景設定] ボタンをクリックしてください。

背景の登録と削除 P.247

画像の補正を行う

写真やイラストなどの画像データを印刷する場合、必要に応じて補正を行うことができます。
画像のジャギー（ギザギザ）を軽減し、輪郭をなめらかに補正するイメージデータ補正と、画像の色合いを補正するフォトデータ補正があります。

■イメージデータ補正を行う

画像データをアプリケーションソフトで、拡大すると輪郭にジャギー（ギザギザ）が発生することがあります。イメージデータ補正を行うと、このジャギーを軽減し画像をなめらかに補正して印刷します。
たとえば、インターネットのホームページに使われている低解像度のイメージデータを印刷するときに効果的です。

1 設定画面を開き、［メイン］シートで［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。
2 ［クオリティ］シートで［イメージデータ補正］をオン（☑）にします。



3 ［OK］ボタンをクリックして、［メイン］シートに戻ります。
4 印刷を行う場合は、［OK］ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考

・使用しているアプリケーションソフトによっては、うまく補正されないことがあります。
・画像データが高解像度の場合は、補正の効果が明確でないことがあります。
・イメージデータ補正を行うと印刷時間が長くなることがあります。

■フォトデータ補正を行う

スキャナやデジタルカメラで取り込んだ画像データの色調を補正して印刷します。
色かぶり、露出オーバー、露出アンダーが原因で色合いが悪くなっている画像データに効果的です。

1 設定画面を開き、[メイン] シートで [オートパレット詳細...] ボタンをクリックします。

2 [クオリティ] シートで [フォトデータ補正] をオン（☑）にします。



3 必要に応じて、[ページ内一括] の設定をします。
オフ（☐）にすると、ページ内にある複数の画像をひとつひとつ補正します。
オン（☑）にすると、ページ内にある複数の画像を一括して補正します。切り抜きや回転など、加工した画像データがある場合は、オンにしてください。

4 [OK] ボタンをクリックして、[メイン] シートに戻ります。

5 印刷を行う場合は、[OK] ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考

- [バックグラウンド印刷] がオフ（☐）のときは選択できません。
- [バナー紙（長尺紙）印刷] を選択しているときは、[フォトデータ補正] を選択しても機能しません。

画像に特殊効果を加える

画像データを加工して、オリジナルの輪郭や色に特殊な効果を与えます。
画像データをイラストのような風合いに加工したり、単一色で表現したりできます。

■イラストのような風合いに加工する

［イラストタッチ］を使うと、写真などの画像データがイラストのような表現で印刷できます。

1 設定画面を開き、［メイン］シートで［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。

2 ［特殊効果］タブをクリックし、［イラストタッチ］をオン（☑）にします。
画像イメージビューがイラストのように変わります。



3 必要に応じて［明るさ］のスライドバーをドラッグして、画像の明るさを調整します。

4 ［OK］ボタンをクリックして、［メイン］シートに戻ります。

5 印刷を行う場合は、［OK］ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考

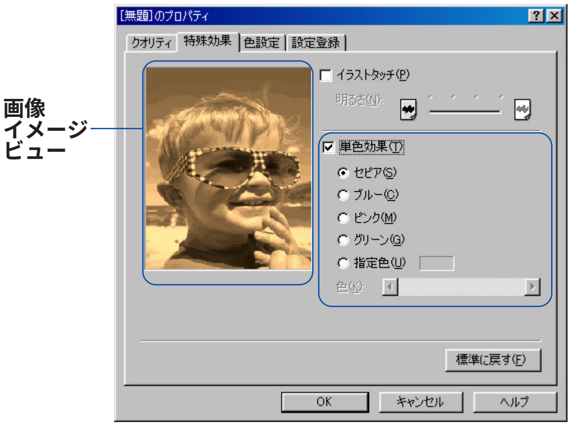
・［単色効果］と組み合わせて使用することができます。
・［バックグラウンド印刷］がオフ（☐）のときは選択できません。

■単一の色で表現する

［単色効果］を使うと、写真などの画像データを単一の色で印刷できます。

1 設定画面を開き、［メイン］シートで［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。

2 ［特殊効果］タブをクリックし、［単色効果］をオン（☑）にします。
画像イメージビューが単色に変わります。



3 ［セピア］、［ブルー］、［ピンク］、［グリーン］、［指定色］から、好みの色を選んでクリックします。［指定色］を選んだ場合は、必要に応じて［色］スライドバーをドラッグして、好みの色を選んでください。選択した色は、画像イメージビューで確認できます。

4 ［OK］ボタンをクリックして、［メイン］シートに戻ります。

5 印刷を行う場合は、［OK］ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考

- ［イラストタッチ］と組み合わせて使用することができます。
- ［バックグラウンド印刷］がオフ（☐）のときは選択できません。
- ［BJカートリッジ］が［ブラック］のときは選択できません。
- ［グレースケール印刷］がオン（☑）のときは選択できません。

印刷の品質を調整する

印刷結果の品質に満足できなかった場合は、印刷品位やディザリングの方式を変えて微調整することができます。ただし、印刷するデータ自体に問題がある場合は印刷品位を上げても、効果がわからない場合があります。

■品質に関する設定を変更する

印刷の品質は、［印刷品位］と［ディザリング］の設定によって変わります。

1 設定画面を開き、［メイン］シートで［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。
2 ［クオリティ］シートで［印刷品位］と［ディザリング］を必要に応じて設定します。



［印刷品位］

スライドバーを右（高品位）にするほど、印刷の品質は上がり、印刷に時間がかかります。
スライドバーの設定に合わせて印字モードが変わります。

［ディザリング］

印刷物の色と形状は、吹き付けたインクの点（ドット）の集まりで表現します。この点の配置のしかたを決定しているのがディザリングで、ハーフトーン（中間調）の表現方法が変わります。

［パターン（高速）］

ディザリング処理を簡易的に行って高速に印刷します。

［パターン］

異なる色のドットを一定の法則にしたがって並べます。
色の境界をくっきり見せたいグラフィックスやグラフに適しています。

[誤差拡散]

異なる色のドットをランダムに配置します。微妙なグラデーションが作り出せるため、写真などの自然画像に適しています。

[自動]

チェックボックスをオン（☑）にすると、印刷データ上にある画像データのタイプを自動的に判別して、適切なディザリング方法に切り替えながら印刷します。

3 [OK] ボタンをクリックして、[メイン] シートに戻ります。

4 印刷を行う場合は、[OK] ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考

- 最高の品質で印刷する場合は、[誤差拡散] を選択してください。
- BJカートリッジの種類や、選択している用紙の種類、印刷品位などによって選択できない設定があります。その場合は、選択可能な範囲で調整することをお勧めします。

色を調整する

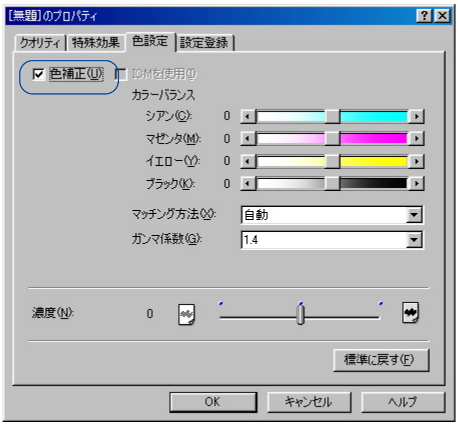
印刷した色合いが思い通りにならなかった場合は、プリンタドライバで色補正をしたり、濃度を調整したりすることができます。画像編集のアプリケーションソフトなどのように印刷するデータ自体の色を補正するものではありません。あくまで微調整を行うものです。

■色を補正する

プリンタドライバが持つ色補正機能をオン（☑）にすると、［カラーバランス］、［マッチング方法］、［ガンマ係数］を設定できるようになります。

1 設定画面を開き、［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。

2 ［色設定］タブをクリックし、［色補正］がオン（☑）になっていることを確認します。
この状態で、［カラーバランス］、［マッチング方法］、［ガンマ係数］の設定ができます。



3 必要に応じて各項目の設定を行います。

［カラーバランス］
シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各色ごとに色の強弱を設定します。
各色のスライドバーを左右にドラッグして調整します。たとえば、青味が強いと感じる場合は、［シアン］をマイナス方向（左）に、弱いと感じる場合はプラス方向（右）にドラッグします。調整後は4色のインクのバランスが変わりますので、全体の色相も変わります。あくまで微調整に留めてください。

［マッチング方法］
中間色を重視する（［写真］）か、原色を鮮やかに表現する（［グラフィックス］）かを選択できます。［自動］を選択すると、印刷データ上にある画像データのタイプを自動判別して適切なマッチング方法に切り替えながら印刷します。

[ガンマ係数]
完全な白と黒の間にある中間色のコントラストを調整します。数値が大きくなるほど全体が暗くなり、明るい部分のコントラストは強く、暗い部分のコントラストは弱く表現されます。
調整しない場合は［1.0］を選択してください。

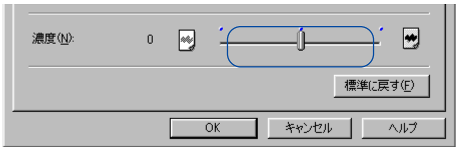
4 ［OK］ボタンをクリックして、［メイン］シートに戻ります。
5 印刷を行う場合は、［OK］ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考
・このほかにWindows 98の色補正機能ICM（Image Color Management）を使った色補正も行うことができます。ただし、使用するにはアプリケーションソフトがICMに対応している必要があるなど、さまざまな条件があります。詳細はヘルプを参照してください。

■濃度を調整する

印刷結果全体の濃度を濃くしたり、薄くしたり調整できます。

1 設定画面を開き、［メイン］シートで［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。
2 ［色設定］タブをクリックします。
3 ［濃度］のスライドバーを左右にドラッグして、濃淡を調整します。右にいくほど濃く、左にいくほど薄くなります。



4 ［OK］ボタンをクリックして、［メイン］シートに戻ります。
5 印刷を行う場合は、［OK］ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

好みの設定を登録する

オートパレット、スタンプ、背景は、ご自分で設定内容を変更したり、新しいものを登録することができます。
ここでは、それぞれの登録や削除のしかたについて説明します。

■オートパレットの登録と整理

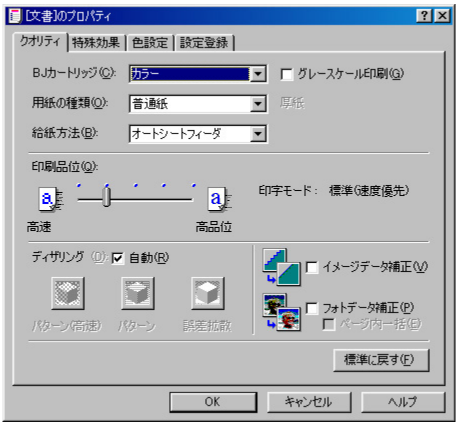
既存のオートパレットの設定内容を変更して、新しいオートパレットを登録することができます。
ご自分で登録したオートパレットは、ファイルとして保存したり、不要になったときには削除できます。
登録の方法と整理のしかたを順に説明します。

●新しいオートパレットの登録

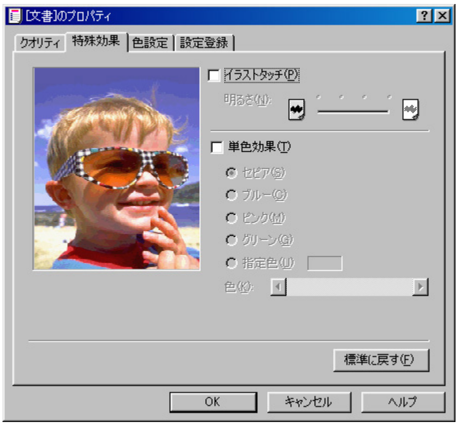
1 設定画面を開き、［オートパレット］で印刷する原稿や目的に最も近いアイコンを選択します。

2 ［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。
オートパレットのプロパティ画面が表示されます。ここでは選択したオートパレットの設定内容のすべてが確認できます。

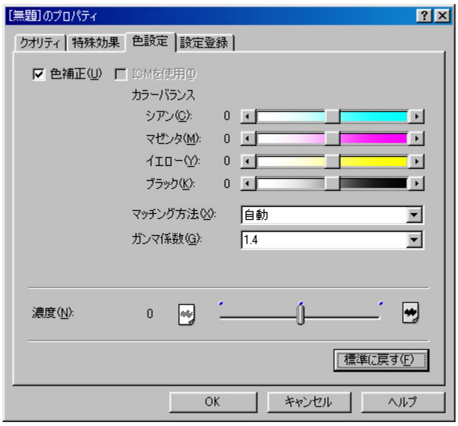
3 ［クオリティ］シートの設定を必要に応じて変更します。
各設定項目の意味は、?ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。



4 ［特殊効果］タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
各設定項目の意味は、?ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。



5 ［色設定］タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
各設定項目の意味は、?ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。



6 ［設定登録］タブをクリックします。
［設定登録］シートはオートパレットの登録や整理を行う画面です。クオリティ、特殊効果、色設定の各シートで設定した内容を新しいオートパレットとして保存します。



7 ［タイトル］の入力欄をクリックして新しいオートパレットの名称を入力します。
半角で8文字、全角で4文字以内のタイトルをつけてください。

8 ［アイコン一覧］で新しいオートパレットのアイコンを選択します。

9 必要に応じてオートパレットの説明を、［コメント］に入力します。
ここで入力したコメントは、［メイン］シートの［オートパレット］のアイコンにマウスポインタを置くと表示されます。

10 ［保存］ボタンをクリックします。
［登録一覧］に新しいオートパレットが表示されます。

11 ［OK］ボタンをクリックします。
［メイン］シートに戻ります。

●参考

・［メイン］シートのオートパレットが［〜から変更］の状態になっている場合は、次の方法でも新規登録できます。
①［〜から変更］アイコンを右クリックし、［名前をつけて保存］を選択。
②［設定登録］シートが表示されたら、［タイトル］を入力。
③必要に応じて［アイコン一覧］、［コメント］を変更。
④［保存］ボタンをクリック。

・既存のオートパレットが使用しているのと同じタイトルは使用できません。また、「ﾜｰﾌﾟﾛ」、「表計算」、「絵」、「写真ﾌｨﾙﾑ」、「OHP」というタイトルも使用できません。

●アイコンの表示順序を変える

1 設定画面を開き、［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。

2 ［設定登録］タブをクリックします。

3 ［登録一覧］で表示位置を変えたいアイコンを選択します。

4 次のいずれかの方法で移動します。
①アイコン移動ボタンをクリックして、目的の位置に移動したら［OK］ボタンをクリックします。
…アイコンがひとつ前に移動する。
…アイコンがひとつ後に移動する。
②［登録一覧］で直接マウスでアイコンをドラッグし、目的の位置に移動したらマウスのボタンを離し、［OK］ボタンをクリックします。
［メイン］シートに戻ります。変更した表示順序は、［メイン］シートの［オートパレット］の表示順序にも反映されます。

●参考

・移動したあとで［キャンセル］ボタンをクリックしても、元の位置には戻せません。同様の手順でアイコンを移動して元の位置に戻してください。

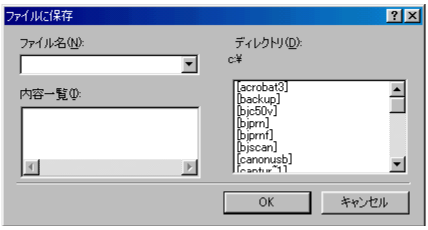
●登録したオートパレットをファイルに保存する

1 設定画面を開き、［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。

2 ［設定登録］タブをクリックします。

3 ［登録一覧］でファイルに保存したいアイコンを選択します。

4 ［ファイルに保存］ボタンをクリックします。
［ファイルに保存］ダイアログボックスが開きます。



5 ［ディレクトリ］で保存するドライブ、フォルダ名を選択します。
6 ［ファイル名］の入力欄をクリックして、ファイルの名前を入力します。
半角で8文字以内、全角で4文字以内の名前をつけてください。
7 ［OK］ボタンをクリックします。
オートパレットがファイルに保存されて、［設定登録］シートに戻ります。

●参考

・ひとつのファイルには複数のオートパレットを保存できます。オートパレットごとにファイル名をつけ直す必要はありません。

●ファイルに保存したオートパレットを読み込む

1 設定画面を開き、［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。
2 ［設定登録］タブをクリックします。
3 ［ファイル読込］ボタンをクリックします。
［ファイル読込］ダイアログボックスが表示されます。
4 ［ディレクトリ］でオートパレットのファイルが保存されているドライブ、フォルダ名を選択します。
5 ［ファイル名］でオートパレットが保存されているファイルを選択します。
6 ［内容一覧］で使用したいオートパレットのアイコンを選択します。
7 ［OK］ボタンをクリックします。
オートパレットが読み込まれて、［設定登録］シートの［登録一覧］に表示されます。

●不要になったオートパレットを削除する

1 設定画面を開き、［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。
2 ［設定登録］タブをクリックします。
3 ［登録一覧］で削除したいアイコンを選択します。
4 ［登録の削除］ボタンをクリックします。
5 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
［登録一覧］から選択したオートパレットが削除されます。
6 ［OK］ボタンをクリックします。
［メイン］シートに戻ります。

●参考

・［文書］など既存のオートパレットは削除できません。
・次の手順で［メイン］シートでも登録したオートパレットを削除できます。
①［オートパレット］で削除したいアイコンを右クリックし、［削除］を選択。
②確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリック。

■スタンプの登録と削除

スタンプ設定のプロパティ画面では、既存のスタンプの設定内容を変更したり、新しいスタンプを登録することができます。
不要になったスタンプは削除できます。登録と削除のしかたを順に説明します。

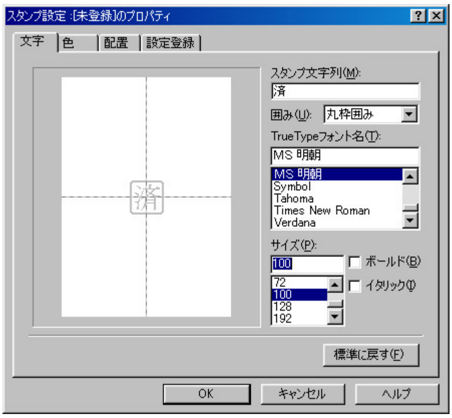
●新しいスタンプの登録

1 設定画面を開き、[スタンプ/背景] タブをクリックします。

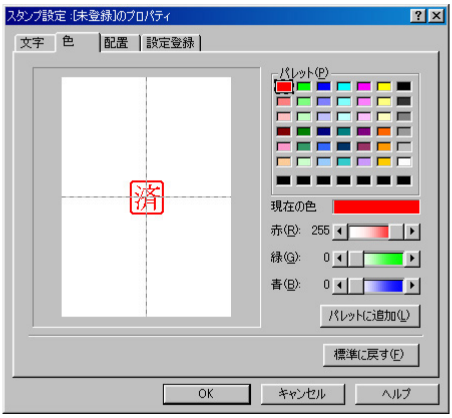
2 すでに登録してあるスタンプの設定を一部変更する場合は、[スタンプ] で目的のタイトルを選択します。まったく新規で作成する場合は、[なし] を選択してください。

3 [スタンプ設定...] ボタンをクリックします。
スタンプ設定のプロパティ画面が表示されます。

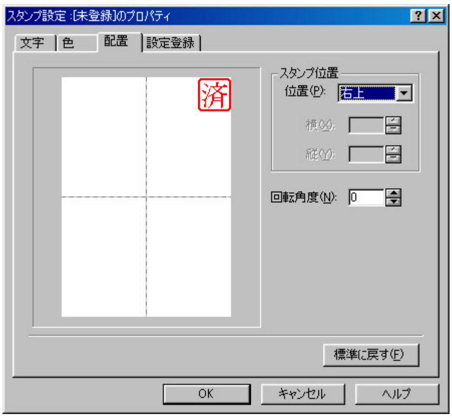
4 [文字] シートでスタンプに使用する文字列に関する設定を行います。
各設定項目の意味は、? ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。



5 [色] タブをクリックし、スタンプの配色に関する設定を行います。
各設定項目の意味は、? ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。



6 ［配置］タブをクリックし、スタンプに印刷位置に関する設定を行います。
各設定項目の意味は、？ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。



7 ［設定登録］タブをクリックします。
文字、色、配置の各シートで設定した内容を新しいスタンプとして登録します。



8 ［タイトル］の入力欄をクリックし、スタンプのタイトルを入力します。
9 ［保存］ボタンをクリックします。
10 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
11 設定登録シートで、［OK］ボタンをクリックします。
［スタンプ/背景］シートに戻ります。

●不要になったスタンプを削除する

1 設定画面を開き、［スタンプ/背景］タブをクリックします。
2 ［スタンプ設定...］ボタンをクリックします。
スタンプ設定のプロパティ画面が表示されます。
3 ［設定登録］タブをクリックします。
4 ［タイトル］の一覧から、削除したいスタンプを選択します。
5 ［削除］ボタンをクリックします。
6 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
7 ［OK］ボタンをクリックします。
［スタンプ/背景］シートに戻ります。

■背景の登録と削除

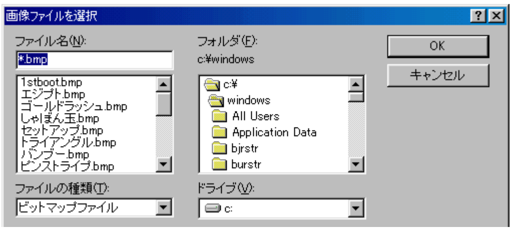
任意のビットマップファイルを選択して、新しい背景として登録することができます。また、既存の背景の設定を一部変更して登録することも可能です。
不要になった背景はいつでも削除できます。登録の方法と削除のしかたを順に説明します。

●新しい背景の登録

1 設定画面を開き、[スタンプ/背景]タブをクリックします。
2 すでに登録してある背景の設定を一部変更する場合は、[背景]で目的のタイトルを選択します。まったく新規で作成する場合は、[なし]を選択してください。
3 [背景設定...]ボタンをクリックします。
背景設定のプロパティ画面の[背景]シートが表示されます。

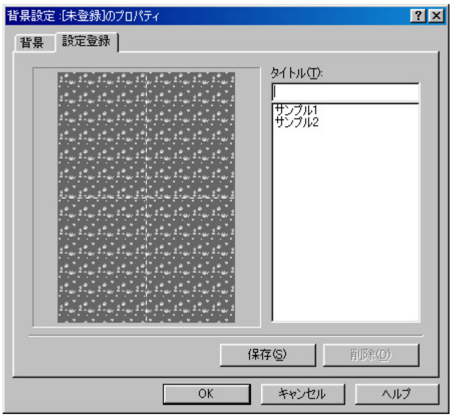


4 [ファイル選択]ボタンをクリックします。
5 [画像ファイルを選択]ダイアログボックスが表示されます。



6 [ドライブ]でビットマップファイルが保存されているドライブを選択します。
7 [フォルダ]でビットマップファイルが保存されているフォルダ名を選択し、開きます。
8 [ファイル名]で背景として使用するビットマップファイルを選択します。
9 [OK]ボタンをクリックします。
背景シートの[ファイル名]に選択したビットマップファイル名が表示されます。
10 必要に応じて[背景]シートにあるその他の設定を行います。
各設定項目の意味は、**?** ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。

11 ［設定登録］タブをクリックします。



12 ［タイトル］の入力欄をクリックし、背景のタイトルを入力します。
13 ［保存］ボタンをクリックします。
14 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
15 ［OK］ボタンをクリックします。
［スタンプ/背景］シートに戻ります。

●参考 ・容量が15Mバイトを超えるビットマップは背景として登録できません。

●不要になった背景を削除する

1 設定画面を開き、［スタンプ/背景］タブをクリックします。
2 ［背景設定...］ボタンをクリックします。背景設定のプロパティ画面が表示されます。
3 ［設定登録］タブをクリックします。
4 ［タイトル］の一覧から、削除したい背景を選択します。
5 ［削除］ボタンをクリックします。
6 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
7 ［OK］ボタンをクリックします。
［スタンプ/背景］シートに戻ります。

バックグラウンド印刷について

BJプリンタのプリンタドライバは通常バックグラウンド印刷を行う設定になっています。
バックグラウンドでの印刷の進行状況はBJバックグラウンドモニタとBJバックグラウンダで確認できます。

■バックグラウンド印刷について

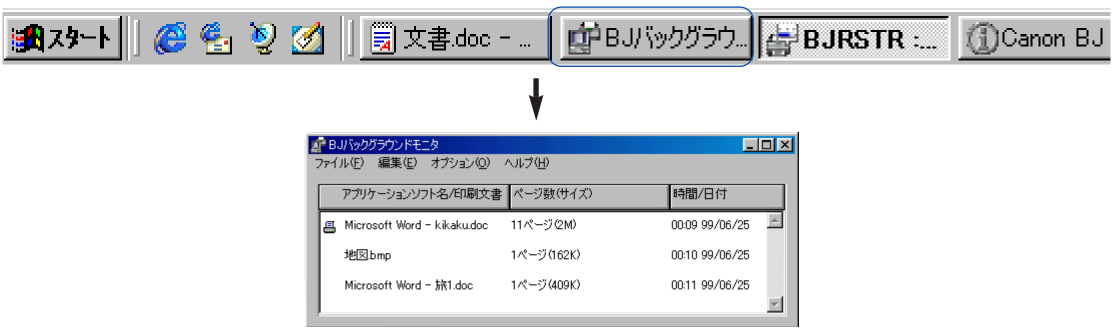
印刷実行中に別の作業を並行して行えるような印刷処理方法をバックグラウンド印刷といいます。BJプリンタのプリンタドライバでは通常、このバックグラウンド印刷を行う設定になっています。
設定画面を開き、［ページレイアウト］タブをクリックすると、［バックグラウンド印刷］という設定項目があります。ここがオン（☑）の場合は、バックグラウンド印刷を行う設定になっています。
バックグラウンド印刷時は、BJバックグラウンドモニタ、BJバックグラウンダが起動し、進行状況の確認、印刷の中止などを行うことができます。

●参考

・［ページレイアウト］シートの［バックグラウンド印刷］がオフ（☐）になっている場合は、バックグラウンド印刷を利用している次の機能も使用できなくなります。
 －［ページレイアウト］シートの［割り付け印刷］、［冊子印刷］、［ポスター印刷］、［部数］、［逆順で印刷］、［部単位で印刷］、［両面印刷］、［プリンタ制御］
 －［スタンプ/背景］シートのすべての機能
 －［クオリティ］シートの［フォトデータ補正］
 －［特殊効果］シートのすべての機能
 －［色設定］シートの［ICMを使用］（Windows 98のみ）

■BJバックグラウンドモニタの機能

印刷を実行すると自動的に起動し、タスクバー上に最小化された状態で表示されます。この［BJバックグラウンドモニタ］アイコンをクリックするとウィンドウが開き、印刷中、印刷待ちの文書の進行状況を確認することができます。



表示項目の内容

[アプリケーションソフト名/印刷文書]

スプールされている文書ファイル名が表示されます（使用しているアプリケーションソフトによっては、その名称も表示されます)。印刷中の文書には、 アイコンがつきます。

[ページ数（サイズ)]

文書サイズをページ数とバイト数で表示します。

[時間/日付]

印刷を開始した時刻と日付が表示されます。

BJバックグラウンドモニタでは次のような作業を行うことができます。

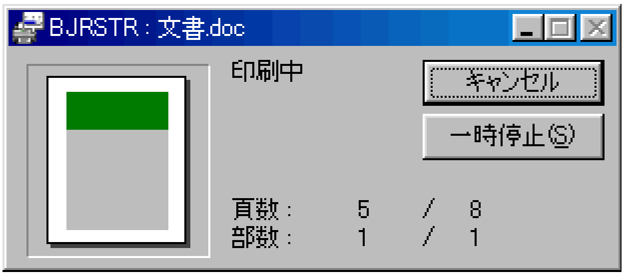
- 印刷する文書の順番を変える
  順番を変えたい文書にマウスポインタを合わせ、移動したい位置までマウスの左ボタンを押したままドラッグします。移動したい位置で左ボタンを離すと移動します。
  ただし、印刷中の文書の順番は変えることができません。
- 印刷を中止する
  印刷を中止したい文書をクリックして、[編集］メニューから［削除］を選択します。確認のメッセージが表示されたら、[OK］ボタンをクリックします。
- BJバックグラウンドモニタを終了する
  [ファイル］メニューから［終了］を選択します。BJバックグラウンドモニタが閉じて終了します。
- バックグラウンド印刷の優先度を設定する
  バックグラウンド印刷の処理を、アプリケーションソフトで行うほかの作業の処理に対してどれくらい優先させるかを設定できます。
  [オプション］メニューから［プライオリティ］を選択し、スライドバーをドラッグして調整します。左（低）にするほど、バックグラウンド印刷の処理が優先度が低くなって、ほかの作業の処理スピードが速くなります。
- 印刷データの一時保管用ディレクトリを変更する
  バックグラウンド印刷を実行するには、一時的に印刷データを保存するための領域がディスクに必要です。ディスクに十分な空き容量がない場合は実行できなくなりますので、空き容量の多いフォルダに変更してください。
  [オプション］メニューから［ディレクトリ］を選択し、[ドライブ]、[ディレクトリ］を選択し、[OK］ボタンをクリックします。

●参考

- 印刷していない時にBJバックグラウンドモニタを開きたい場合は、[スタート］ボタンをクリックして［プログラム]、[BJラスタプリンタ]、[BJバックグラウンドモニタ］を順に選択します。また、デスクトップに表示されている［BJラスタプリンタ］フォルダを開いて、[BJバックグラウンドモニタ］を選択する方法もあります。
- BJバックグラウンドモニタについては、[ヘルプ］メニューの［ヘルプ］を選択して、説明を参照してください。

■BJバックグラウンダの機能

［バックグラウンド印刷］がオン（☑）の場合は、印刷を開始するとBJバックグラウンダが表示されます。現在プリンタドライバが印刷処理を行っている文書の進行状況を確認できます。



BJバックグラウンダでは次のような作業を行うことができます。

- 印刷を中止する
  文書の印刷を途中でやめたい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
- プリンタドライバの印刷処理を一時的に停止する
  ［一時停止］ボタンをクリックすると、プリンタは処理を停止します。
  ［再開］ボタンをクリックすると、プリンタは続きを印刷します。

BJステータスモニタの機能

BJステータスモニタはプリンタの状態を確認するツールです。
エラーが発生すると、その内容を示し、対処の方法を表示します。

■動作環境

プリンタをパラレルインタフェースに接続している場合、BJステータスモニタを使用するには、次の条件を満たしている必要があります。

・使用しているコンピュータが双方向通信機能を持っていること
・プリンタを接続するインタフェースケーブルが双方向通信に対応していること

またインタフェースの種類にかかわらず、次の条件を満たしている必要があります。

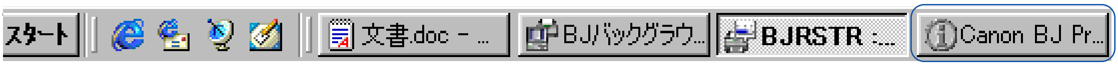
・Windowsで双方向通信機能をサポートする設定になっていること

●参考

・Windowsの設定を確認する場合は、［プリンタ］フォルダでお使いの機種のプリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。設定画面の［詳細］タブをクリックして［スプールの設定］ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが開きます。ここで［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されていれば、BJステータスモニタを使用できます。

■BJステータスモニタの起動

印刷データがプリンタに送られると自動的に起動し、タスクバー上に最小化された状態で表示されます。この［BJステータスモニタ］アイコンをクリックすると開き、プリンタの状態、印刷の進行状況、搭載カートリッジの種類などの情報を確認することができます。



印刷していない時にBJステータスモニタを開きたい場合は、プリンタドライバの設定画面を開いて、［ユーティリティ］タブをクリックし、［ステータスモニタ起動］ボタンをクリックします。



■［プリンタステータス］シートの項目

［プリンタ名］

BJステータスモニタが情報を表示しているプリンタの機種名が表示されます。

［ドキュメント名］

印刷中は文書ファイル名が表示されます（使用しているアプリケーションソフトによっては、その名称も表示されます）。

［状態］

プリンタの状態を図とメッセージで表示します。

［開始日時］

印刷を開始した日時を表示します。

［進行状況］

印刷中は処理の進行状況を%とゲージで表示します。ただし、スプールデータ形式がRAWに設定されていなければ表示されません。また、［スプール設定］で［プリンタに直接データを送る］が設定されている場合も表示されません。

［印刷済枚数］

印刷が終了した枚数を表示します。

［印刷中止］

クリックすると、進行中の印刷を中止できます。ただし、データの転送が終了したあとは中止できません。

［搭載カートリッジ］

プリンタに取り付けられているカートリッジの種類を表示します。

…カラーBJカートリッジ、蛍光BJカートリッジまたはフォトBJカートリッジ

…ブラックBJカートリッジ

…スキャナカートリッジ

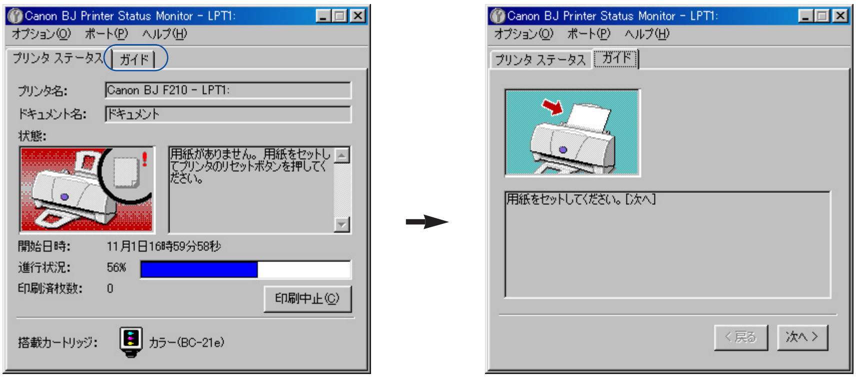
●参考

- BJステータスモニタの起動のしかたは［オプション］メニューで設定できます。詳細は［ヘルプ］メニューの［トピックの検索］を選択して、説明を参照してください。
- ［進行状況］が表示されない場合は、［プリンタ］フォルダからお使いの機種のプリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。プリンタドライバの設定画面が表示されたら、次の操作を行ってください。

  ①［詳細］タブをクリックします。
  ②［スプールの設定］ボタンをクリックします。
  ③［プリンタに直接印刷データを送る］が選択されていたら、［印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う］を選択します。
  ④［スプールデータ形式］が［RAW］になっていないときは、一覧から選択します。
  ⑤［OK］ボタンを順にクリックして設定画面を閉じます。

■エラーが発生したときの表示

用紙がない、インクがなくなったなどのエラーが発生したときは、自動的にBJステータスモニタが表示されます。［プリンタステータス］シートでエラー内容を確認し、［ガイド］タブをクリックしてください。対処方法の説明が表示されます。［次へ］ボタンをクリックすると、説明の続きを読むことができます。



■印刷を中止する

BJバックグラウンドモニタ、BJバックグラウンダが処理を終了してしまったあと、または、バックグラウンド印刷がオフの場合は、BJステータスモニタで印刷を中止できます。
BJステータスモニタを開き、［プリンタステータス］シートで［印刷中止］ボタンをクリックします。

■複数のBJプリンタを使用している場合

複数のBJプリンタを使用していて、それぞれのBJステータスモニタを起動している場合は、［ポート］メニューで表示したいプリンタの接続ポートを選択します。
また、BJプリンタモニタ（P.255）では、インストールされているBJプリンタの情報を一覧形式で表示します。機種名をダブルクリックすると、そのプリンタのBJステータスモニタを起動することができます。

■BJステータスモニタを終了する

BJステータスモニタを開いている場合は、右上の × ボタンをクリックすると終了します。
また、タスクバーに最小化で常駐している場合は、アイコンを右クリックして［閉じる］を選択します。

BJプリンタモニタの機能

BJプリンタモニタは、コンピュータにインストールしている複数のBJプリンタの情報を一覧形式で表示します。それぞれの状態、接続ポート、搭載カートリッジなどの情報を確認できます。
また、選択したプリンタのBJステータスモニタを起動することも可能です。

■動作環境

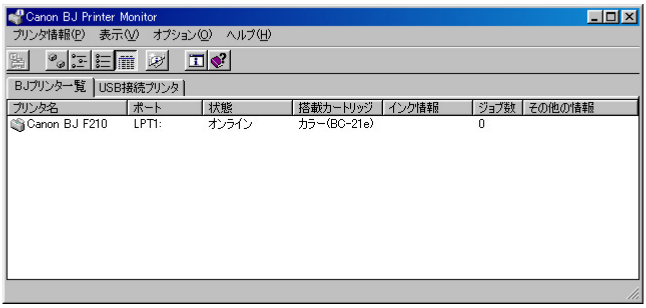
BJステータスモニタ（P.252）の動作環境と同様です。

■BJプリンタモニタの起動

［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］、［BJラスタプリンタ］、［BJプリンタモニタ］を順に選択します。デスクトップに表示されている［BJラスタプリンタ］フォルダを開いて、［BJプリンタモニタ］を選択しても起動します。

■BJプリンタモニタが表示する情報

［BJプリンター覧］シートには、お使いのコンピュータにインストールされているBJプリンタの情報を一覧形式で表示します。



［BJプリンター覧］シート

［プリンタ名］

プリンタの機種名を表示します。名前を変更した場合は、その名前が表示されます。
機種名の前に表示されるアイコンは次のようなプリンタの状態を表します。

…正常な状態

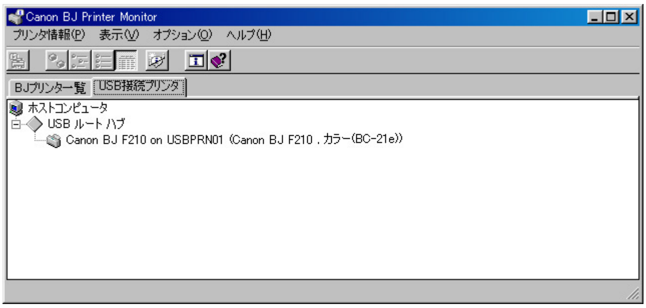
…警告が発生している状態

…エラーが発生している状態

[ポート]
プリンタを接続しているポートが表示されます。
[状態]
プリンタの状態を表示します。
[搭載カートリッジ]
プリンタに取り付けられているカートリッジの種類を表示します。
[インク情報]
BJ F210では何も表示されません。
[ジョブ数]
印刷処理中の文書の数を表示します。
[その他の情報]
用紙サイズやオプションの有無などの情報を表示しますが、BJ F210では何も表示されません。

●参考

- 次のプリンタは、[BJプリンター覧]シートに表示されません。
  USB/パラレル変換ケーブルで接続されているプリンタ
  BJC-430J USB対応モデル、BJC-430JD Lite
  ほかのコンピュータに接続されている共有プリンタ
- 印刷先のポートの設定が正しくないと、[BJプリンター覧]シートに表示されないことがあります。たとえばプリンタが対応していないのに、印刷ポートにUSBポートやIrDAポートが選択されている場合は、そのプリンタの情報を表示できません。
  Windows 98でプリンタをUSBインタフェースに接続している場合は、[USB接続プリンタ]タブをクリックしてください。USBインタフェースケーブルで接続されているプリンタを確認できます。



●参考

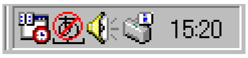
- [表示]メニューの[最新の情報に更新]を選択すると、BJプリンタモニタの表示が新しい情報に変わります。
- BJプリンタモニタのその他のメニューについては、[ヘルプ]メニューの[トピックの検索]を選択して、説明を参照してください。

■BJステータスモニタを起動する

BJプリンタモニタの一覧から、プリンタ名を選択し、［プリンタ情報］メニューの［ステータスモニタ起動］を選択すると、選択したプリンタのBJステータスモニタが起動します。
一覧のプリンタ名をダブルクリックしても同様に起動します。

■BJプリンタモニタを閉じて終了する

［プリンタ情報］メニューの［閉じる］を選択すると、ウィンドウが閉じます。
この状態でもBJプリンタモニタは、タスクトレイにアイコンが表示され常駐しています。



BJプリンタモニタアイコン

●参考

・アイコンの形態はプリンタの状態によって変わります（［プリンタ名］P.255）。
・アイコンを右クリックして、［BJプリンタモニタの終了］を選択すると、終了します。

メンテナンス機能

Windows

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンを印刷する

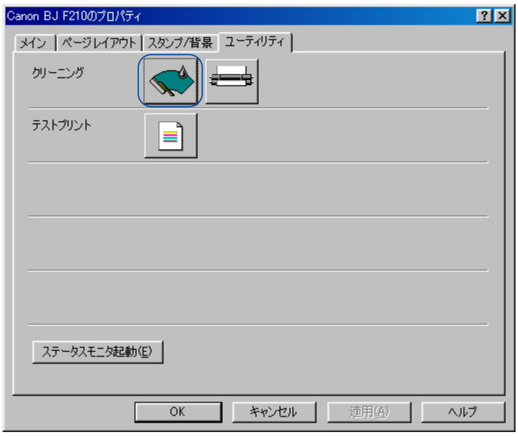
給紙ローラをクリーニングする

プリントヘッドをクリーニングする

印刷がかすれたり、特定の色が出なくなったときは、プリントヘッドのノズルが詰まっている可能性があります。クリーニングを行うと、プリントヘッドのノズルの状態が改善します。

■クリーニングを行う

1 設定画面を開き、［ユーティリティ］タブをクリックします。
2 ［クリーニング］のをクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。
クリーニングが開始されます。

●参考

・クリーニングを行うタイミングについては、『基本操作ガイド』の「お手入れ」を参照してください。
・プリントヘッドの状態が改善したかどうか確認するには、ノズルチェックパターンの印刷を行ってください。

➡ ノズルチェックパターンを印刷する　P.260

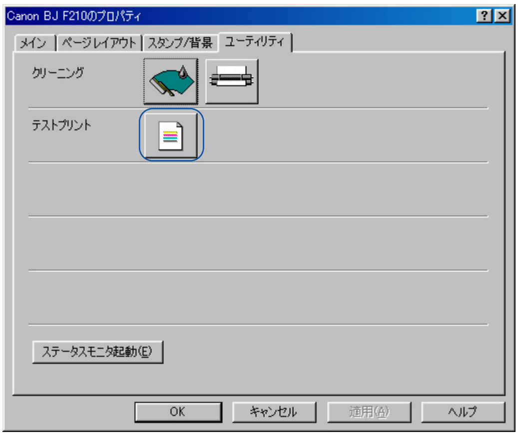
ノズルチェックパターンを印刷する

ノズルチェックパターンは、テストプリントの一種で、プリントヘッドのノズルから正常にインクが出ているかどうかを確認できます。
印刷結果の状態が悪いとき、またはクリーニングのあとなどに、印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。

■ノズルチェックパターン印刷を行う

1 設定画面を開き、[ユーティリティ] タブをクリックします。

2 [テストプリント] の  をクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていること、A4サイズの普通紙が1枚以上、縦置きにセットされていることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。
ノズルチェックパターンが印刷されます。

●参考

- 印刷されたパターンの見かたは、『基本操作ガイド』の「お手入れ」を参照してください。
- クリーニングを繰り返しても、ノズルチェックパターンの状態がよくない場合は、BJカートリッジのプリントヘッドが消耗している可能性があります。新しいものに交換してください。交換のしかたは『基本操作ガイド』の「カートリッジの種類と使いかた」を参照してください。

給紙ローラをクリーニングする

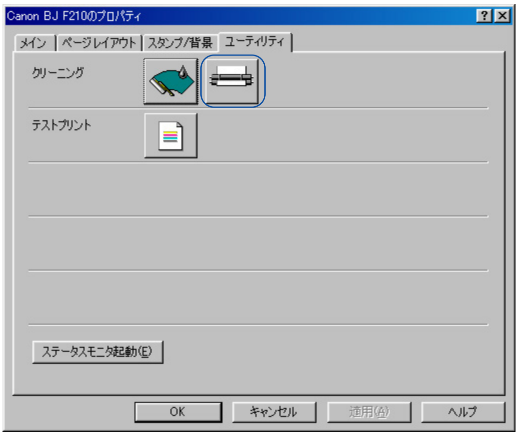
高品位専用紙など、表面に特殊加工がされている用紙を大量に使用すると、給紙ローラに紙粉が付着し、用紙が正しく給紙されなくなることがあります。専用のクリーニングシートを使って給紙ローラをクリーニングすると改善します。ここでは、給紙ローラのクリーニングを実行する操作についてのみ説明します。

■給紙ローラのクリーニングを行う

クリーニングシートをプリンタにセットする方法は、「給紙ローラのクリーニング」を参照してください。

1 設定画面を開き、［ユーティリティ］タブをクリックします。

2 ［クリーニング］の をクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていること、クリーニングシートがセットされていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。
給紙ローラのクリーニングが開始します。

●参考

・クリーニングシートについての詳細は、「給紙ローラのクリーニング」を参照してください。

スキャナドライバ

Windows

アプリケーションソフトで画像を読み取る

画像の読み取り方法を変更する

設定内容を保存する

IS Scan のその他の機能

アプリケーションソフトで画像を読み取る

TWAIN対応の画像編集アプリケーションソフトから、IS Scanを起動して画像を読み取る手順を説明します。実際の操作では、スキャナカートリッジの取り付けや、原稿のセットなどの作業が伴います。これらの詳細については、「スキャナとして使うには」を参照してください。

■画像を読み取る

アプリケーションソフトで画像を読み取るために、最低限必要な操作を説明します。操作のしかたはアプリケーションソフトによって異なりますが、ここでは一般的な手順を説明します。

1 プリンタにスキャナカートリッジを取り付けます。

2 アプリケーションソフトで画像読み取りを行うメニューを選択します。
一般的には［ファイル］メニューから［TWAIN対応機器からの入力...］を選択して、IS Scanのメインダイアログボックスを表示します。

3 読み取る原稿に合わせて、最低限必要な設定を行います。
［原稿サイズ］の ▼ をクリックして、読み取る原稿の大きさに近いサイズを選択します（①）。
［読み取り設定］で原稿に最も近いボタンをクリックします（②）。
各ボタンの意味は「画像の読み取り方法を変更する P.266」を参照してください。

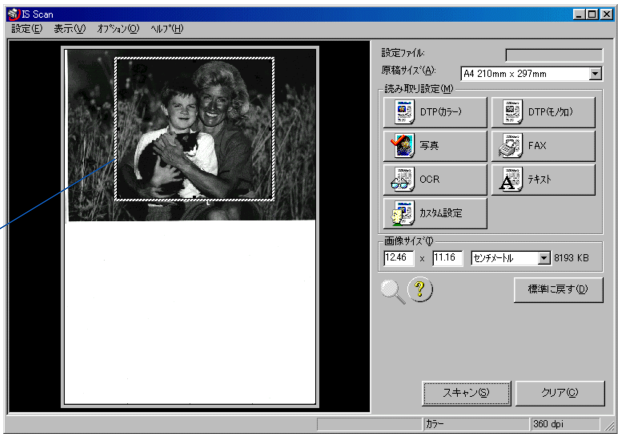


4 プリンタに原稿がセットされていることを確認して、［プレスキャン］ボタンをクリックします。
プレスキャンとは、本番の読み取りの前に行う簡易的な読み取り方法です。原稿が正しく読み取られているかどうかを確認します。

●参考

・プレビュー領域に表示された画像の一部が切れていたり、斜めになっていた場合は、［クリア］ボタンをクリックしてください。原稿をスキャニングフォルダにセットし直し、再度［プレスキャン］ボタンをクリックして確認します。

5 原稿の一部分だけが必要な場合は、プレビュー領域内でマウスをドラッグして範囲を指定します。選択ボックスで囲まれた部分が読み取り範囲となります。



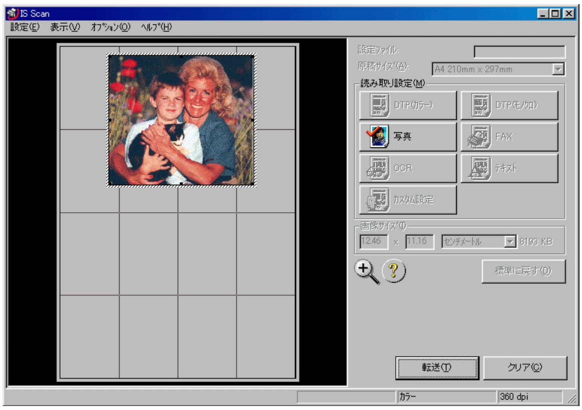
●参考

- 選択ボックスを作成するには、範囲となる長方形の１点にマウスポインタを移動し、マウスの左ボタンを押したまま対角点まで移動し、マウスの左ボタンを離します。
- 選択ボックス内にマウスポインタを置いて、ドラッグすると位置を移動できます。また、4隅にマウスポインタを合わせてドラッグすると大きさを変更できます。
- 選択ボックスの最小範囲は縦25.4mm、横25.4mmです。
- 選択された範囲の大きさは、[画像サイズ] で確認できます。

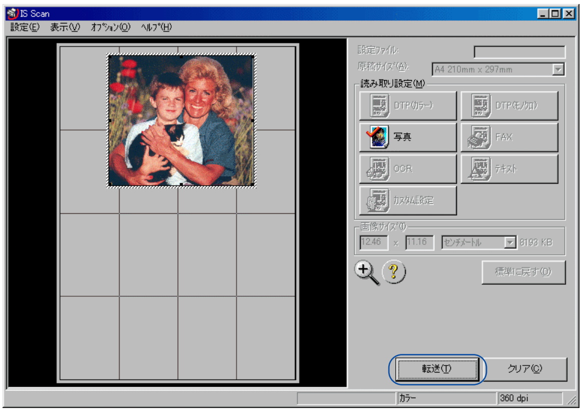
6 原稿がセットされていることを確認して、[スキャン] ボタンをクリックします。



選択ボックスで指定した範囲だけが、読み取られます。



7 ［転送］ボタンをクリックします。

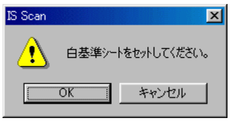


アプリケーションソフトに読み取った画像データが転送されます。

必要に応じてアプリケーションソフトで画像データを編集し、印刷や保存を行ってください。

●参考

- アプリケーションソフトによっては、IS Scanのメインダイアログボックスが表示されず、独自の読み取り設定画面が表示されることがあります。この場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、読み取りの操作を行ってください。
- IS Scanを起動中に、IS Scanを呼び出したアプリケーションソフトを終了しないでください。システムからの応答がなくなることがあります。
- ［プレスキャン］ボタンや［スキャン］ボタンをクリックしたとき、次のようなメッセージが表示されることがあります。



この場合は、白基準シートをセットして、［OK］ボタンをクリックしてください。白基準補正が行われます（白基準補正　P.270）。

■読み取りを中止してIS Scanを終了する

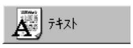
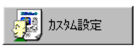
設定や読み取りを中止して、メインダイアログボックスを閉じたい場合は、［設定］メニューから［ドライバの終了］を選択してください。

画像の読み取り方法を変更する

読み取る画像の色、解像度などの設定は、原稿に合った［読み取り設定］ボタンを選択することで、自動的にお勧めの設定になります。
好みに合わせた設定を行いたい場合は、［カスタム設定］ボタンを選択します。

■既存の設定で読み取る

メインダイアログボックスの［読み取り設定］で、プリンタにセットした原稿に近いボタンを選択します。
各ボタンの設定は次の表を参照してください。

アイコン	用　　途	［読み取り方式］ ［解像度］	［輪郭強調］ ［文字強調］ ［カラーマッチング］	プレスキャン モード
	カラーの原稿を読み取るときの標準的な設定です。	カラー 180dpi	オフ オフ オン（行う）	グレースケール
	モノクロの原稿を読み取るときの標準的な設定です。	グレースケール 180dpi	オフ オフ オフ	グレースケール
	スナップ写真のような紙焼きの写真を読み取るときにお勧めの設定です。	カラー 360dpi	オフ オフ オン（行う）	グレースケール
	モノクロの原稿をFAX送信に適したデータに変換して読み取ります。	モノクロ 200dpi	オフ オン（行う） オフ	モノクロ
	モノクロの原稿をOCR入力に適したデータに変換して読み取ります。	モノクロ 360dpi	オフ オン（行う） オフ	モノクロ
	ワープロ文書のように文字だけの原稿を読み取るときに、お勧めの設定です。	モノクロ 180dpi	オン（行う） オフ オフ	モノクロ
	自分で好みの設定を行いたいときに選択します。 好みの設定で読み取る P.267	ー	ー	ー

●参考

［FAX］と［OCR］は、原稿をグレースケールで読み取ったあと、モノクロのデータに変換します。その結果、不要な背景などが削除され、テキストや線画の画質を高めることができます。一方［テキスト］は、はじめから原稿をモノクロで読み取ります。

■好みの設定で読み取る

メインダイアログボックスの［読み取り設定］で［カスタム設定］ボタンをクリックすると、好みに合わせた詳細な設定を行うことができます。

1 IS Scanのメインダイアログボックスを表示します。

2 ［読み取り設定］で［カスタム設定］ボタンをクリックします。
［カスタム設定］ダイアログボックスが開きます。

3 読み取る原稿に合わせて、必要な設定を行います。



［基準値］
既存の設定の内容を一部変更したいときに目的に合ったものを選択します。

［読み取り方式］
原稿に合わせてカラー、グレースケール、モノクロから選択します。

［しきい値］
［読み取り方式］が［モノクロ］で、［文字強調］がオフの場合だけ有効な機能です。
スライドバーをドラッグして、モノクロの画像の濃淡を調整します。左にいくほど淡く（明るく）、右にいくほど濃く（暗く）、画像を読み取ります。

［解像度］
読み取る画像の解像度を選択します。解像度が高いほど、精密で高精細な画像になりますが、画像データは大きくなります。一般的にホームページなどのように画面で見ることを目的としている場合は90dpi、プリンタで印刷することを目的としている場合は180dpiで十分です。

［輪郭強調］
［読み取り方式］が［モノクロ］の場合だけ有効な機能です。オンにすると、画像の輪郭部分だけをシャープに際立たせて読み取りを行います。プレスキャン時は無効になります。

［文字強調］
［読み取り方式］が［モノクロ］の場合だけ有効な機能です。
オンにすると、文字部分をシャープに際立たせて読み取りを行います。

［カラーマッチング］
［読み取り方式］が［カラー］の場合だけ有効な機能です。
オンにすると、［モニタタイプ］で選択されているモニタの色の特性に合うように、色を調整して読み取りを行います。

［モニタタイプ］

［カラーマッチング］がオンになっている場合だけ有効な機能です。
使用しているモニタのプロファイル（色特性）を選択します。一覧に表示されるのは、システムにインストールされているICCプロファイルフォーマットに準拠したモニタプロファイルです。プリンタで印刷することを目的としている場合は［BJ Standard］が最適です。

［プレスキャン］

プレスキャンを行うときの読み取り方式を、モノクロ、グレースケール、カラーから選択します。

4 ［OK］ボタンをクリックします。
メインダイアログボックスに戻ります。

5 原稿がセットされていることを確認して、［プレスキャン］または［スキャン］ボタンをクリックして、読み取りを行います。

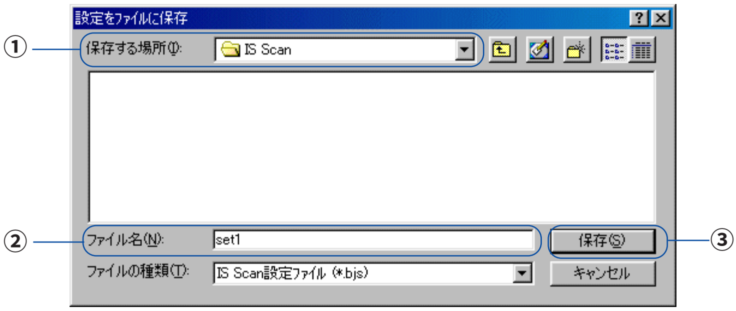
設定内容を保存する

メインダイアログボックスでの設定内容は、名前をつけて保存することができます。
保存した設定内容を呼び出せば、簡単に好みの設定で読み取りが可能になります。

■設定内容をファイルに保存する

メインダイアログボックスにある［原稿サイズ］、［読み取り設定］、［画像サイズ］の設定内容をファイルに保存します。

1. メインダイアログボックスで［原稿サイズ］、［読み取り設定］、［画像サイズ］を設定します。
2. ［設定］メニューの［設定ファイルを保存...］を選択します。
3. ［保存する場所］を選択し（①）、［ファイル名］を入力して（②）［保存］ボタンをクリックします（③）。



設定内容が指定したファイル名で保存されます。

■保存した設定内容を使用する

保存した設定内容で画像を読み取りたい場合は、設定ファイルを開きます。

1. メインダイアログボックスの［設定］メニューの［設定ファイルを開く...］を選択します。
2. ファイルを選択して［開く］ボタンをクリックします。
   ［設定ファイル］に選択したファイル名が表示されて、メインダイアログボックスの設定内容が変わります。

●参考

・プレビュー領域に画像が表示されているときに設定ファイルを開くと、読み取ったデータは破棄されます。再度、［プレスキャン］ボタンか［スキャン］ボタンをクリックして、画像を読み取ってください。
・一度保存した設定ファイルの内容を変更して、［設定］メニューから［設定ファイルを保存...］を選択すると、新しい設定内容が上書きされます。元の設定内容を残したい場合は、［設定ファイルを別名で保存...］を選択し、別のファイル名をつけてください。

IS Scanのその他の機能

画像の読み取り以外の機能について、まとめて説明します。

■白基準補正

読み取る画像の色味を正しいカラーバランスにするためには、白基準補正という操作が必要です。はじめて画像の読み取りを行う場合や、スキャナカートリッジの温度が上昇したときには、メッセージを表示してプリンタに白基準シートをセットすることを促します。
白基準シートをプリンタにセットし、メッセージの［OK］ボタンをクリックすると読み取りが開始され、白基準補正の値が設定されます。
この操作は必要に応じて、いつでも行うことができます。
メインダイアログボックスの［オプション］メニューで［白基準補正］を選択します。

1. メインダイアログボックスの［オプション］メニューの［白基準補正］を選択します。
2. メッセージが表示されたら、白基準シートをプリンタにセットします。
   セットのしかたは「白基準補正を行う」を参照してください。
3. ［OK］ボタンをクリックします。
   白基準シートが排紙されたら、補正は完了です。

■接続している機器の情報を見る

［オプション］メニューの［デバイス情報］を選択すると、現在接続されているプリンタの機種名と、通信モードを確認できます。
プリンタをパラレルインタフェースケーブルで接続している場合は「ECP/1」などのように表示されます。プリンタをUSBインタフェースケーブルで接続している場合は「USB」と表示されます。

■プレビュー領域の表示を拡大する

プレビュー領域の表示を拡大するには、アイコンをクリックするか、［表示］メニューから［拡大する］を選択します。
元の表示に戻したいときは、アイコンをクリックするか、［表示］メニューから［標準］を選択します。

■ヘルプを見る

メインダイアログボックス上にあるをクリックすると、IS Scanの各機能の説明を見ることができます。目次を見たいときは、［ヘルプ］メニューの［目次］を選択してください。

スキャナ用アプリケーションソフト

Windows

IS Scan Plus を起動／終了する

［写真を取り込もう］画面の操作

［画像を取り込もう］画面の操作

読み取った画像を印刷する

読み取った画像を編集する

［コピーしよう］画面の操作

読み取った画像を保存する

IS Scan Plusを起動/終了する

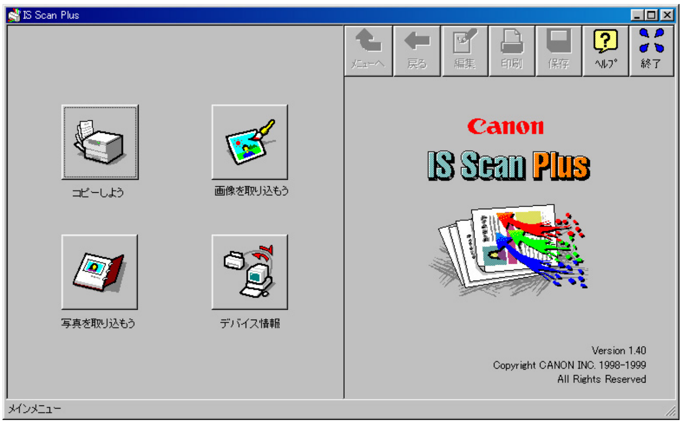
IS Scan PlusはスキャナドライバIS Scanの機能を使って読み取った画像を、編集、印刷、保存できるアプリケーションソフトです。
画像編集のアプリケーションソフトをお持ちでない場合も、スキャナカートリッジを使用して、手軽に写真などを取り込むことができます。

■IS Scan Plusのインストールについて

IS Scan PlusはスキャナドライバIS Scanをインストール時に［標準インストール］を選択すると、同時にインストールされます。［TWAINドライバだけをインストール］を選択した場合はインストールされていません。［標準インストール］を選択して、インストールを行ってください。

■IS Scan Plusを起動する

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］、［IS Scan Plus］、［IS Scan Plus］を選択すると、メインメニューが開きます。
2. 実行したい作業を選択して、目的のボタンをクリックすると、それぞれの作業を実行する画面が表示されます。操作方法については参照ページをご覧ください。



①［写真を取り込もう］… スナップ写真などの紙焼きの写真原稿を読み取って、編集や印刷をする場合に選択します（［写真を取り込もう］画面の操作　P.274）。

②［画像を取り込もう］… 写真以外の原稿を読み取って、編集や印刷をする場合に選択します（［画像を取り込もう］画面の操作　P.277）。

③［コピーしよう］……… 読み取った原稿をそのまま印刷する場合に選択します（［コピーしよう］画面の操作　P.280）。

④［デバイス情報］……… 接続されているプリンタの機種名と、通信モードを確認できます。

■IS Scan Plusのヘルプを見る

画面の右上にあるボタンをクリックすると、表示されている画面の説明を見ることができます。このボタンはすべての画面に共通です。

■接続している機器の情報を見る

プリンタが正しく接続され、電源が入っていることを確認して、［デバイス情報］ボタンをクリックします。現在接続されているプリンタの機種名と、通信モードを確認できます。通信モードは、プリンタをパラレルインタフェースケーブルで接続している場合、「ECP/1」などのように表示されます。プリンタをUSBインタフェースケーブルで接続している場合は「USB」と表示されます。

■IS Scan Plusを終了する

画面の右上にあるボタンをクリックすると、IS Scan Plusを終了することができます。このボタンはすべての画面に共通です。

[写真を取り込もう]画面の操作

[写真を取り込もう]画面は、スナップ写真のような紙焼きの写真原稿を読み取るときに開きます。
読み取った画像にはさまざまな編集を加えて、印刷や保存を行うことができます。

■[写真を取り込もう]画面を開く

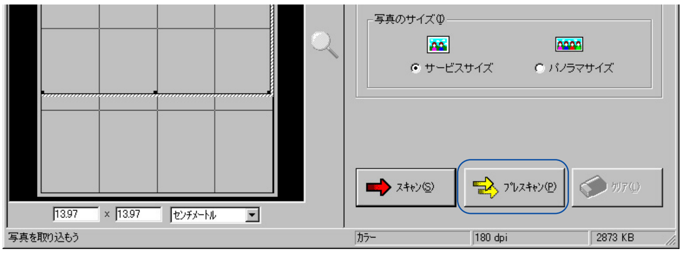
メインメニューで[写真を取り込もう]ボタンをクリックします。

■写真を読み取る

1 必要な設定を行います。
[写真の種類]で、[カラー写真]か[モノクロ写真]を選択します(①)。
[写真のサイズ]で[サービスサイズ]か[パノラマサイズ]を選択します(②)。



2 プリンタに原稿がセットされていることを確認して、[プレスキャン]ボタンをクリックします。



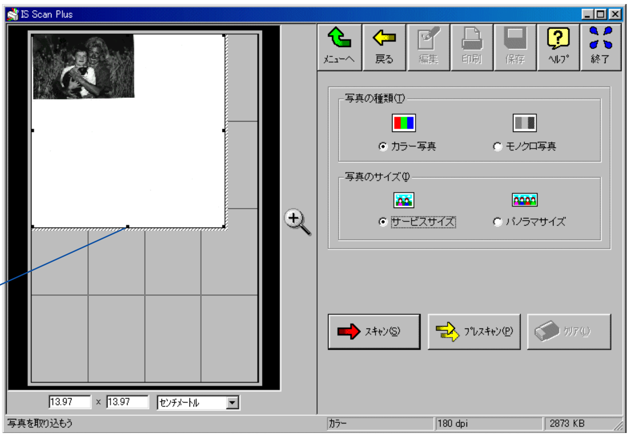
プレスキャンとは、本番の読み取りの前に行う簡易的な読み取り方法です。原稿が正しく読み取られているかどうかを確認します。

●参考

・プレビュー領域に表示された画像の一部が切れていたり、斜めになっている場合は、原稿をスキャニングホルダにセットし直し、再度[プレスキャン]ボタンをクリックして読み取りします。

3 原稿の一部分だけが必要な場合は、プレビュー領域内の選択ボックスをマウスでドラッグして範囲を指定します。選択ボックスで囲まれた部分が読み取り範囲となります。

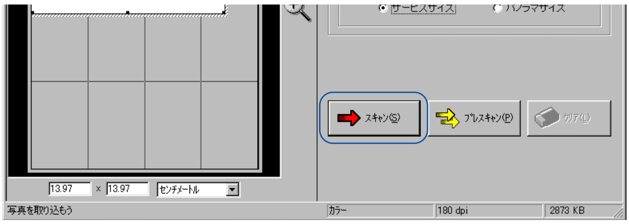
選択ボックス



●参考

- 選択ボックス内にマウスポインタを置いて、ドラッグすると位置を移動できます。また、線上にある８つのポイントにマウスポインタを合わせてドラッグすると大きさを変更できます。
- 選択ボックスの最小範囲は縦25.4mm、横25.4mmです。
- 選択された範囲の大きさは、プレビュー領域の下部に表示されます。

4 原稿がセットされていることを確認して、［スキャン］ボタンをクリックします。

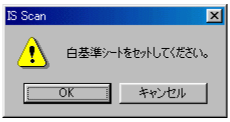


読み取られた画像がプレビュー領域に表示されます。



●参考

・［プレスキャン］ボタンや［スキャン］ボタンをクリックしたとき、次のようなメッセージが表示されることがあります。



この場合は、白基準シートをセットして、［OK］ボタンをクリックしてください。白基準補正が行われます（白基準補正　P.270）。

■使用できるボタン

…メインメニューに戻ります。

…１つ前の画面に戻ります。

…取り込んだ画像の編集ができる画面を表示します（P.279）。

…取り込んだ画像の印刷を行います（P.278）。

…取り込んだ画像を保存します（P.282）。

［画像を取り込もう］画面の操作

［画像を取り込もう］画面は、写真以外の原稿を読み取るときに開きます。
読み取った画像にはさまざまな編集を加えて印刷や保存を行うすることができます。

■［画像を取り込もう］画面を開く

メインメニューで［画像を取り込もう］ボタンをクリックします。

■原稿を読み取る

1 必要な設定を行います

①［読み取り設定］で原稿に最も近いボタンクリックします。

DTP(カラー)	カラーの原稿を読み取るときの標準的な設定です。
DTP(モノクロ)	モノクロの原稿を読み取るときの標準的な設定です。
写真	スナップ写真のような紙焼きの写真を読み取るときにお勧めの設定です。
テキスト	ワープロ文書のように文字だけの原稿を読み取るときに、お勧めの設定です。
カスタム設定	自分で好みの設定を行いたいときに選択します。 ➡ 好みの設定で読み取る　P.267

②［原稿サイズ］を選択します。

2 以降の手順は［写真を取り込もう］画面（➡ P.274）と同じです。
必要に応じて［プレスキャン］か［スキャン］ボタンをクリックして画像を読み取ります。

■使用できるボタン

…メインメニューに戻ります。

…１つ前の画面に戻ります。

…取り込んだ画像の編集ができる画面を表示します（➡ P.279）。

…取り込んだ画像の印刷を行います（➡ P.278）。

…取り込んだ画像を保存します（➡ P.282）。

読み取った画像を印刷する

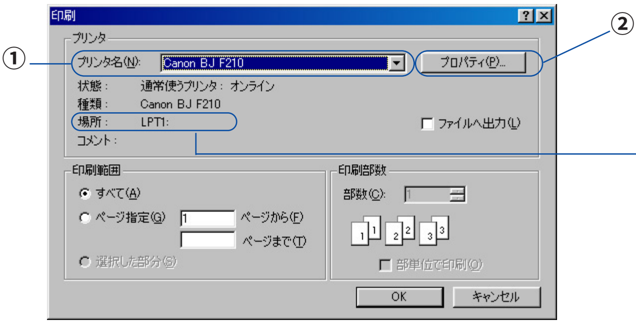
［写真を取り込もう］画面と、［画像を取り込もう］画面で
読み取った画像は、いつでも印刷を行うことができます。

■印刷する

基本的な印刷設定を行って、取り込んだ画像の印刷を実行します。

1 ［印刷］ボタンをクリックします。
［印刷］ダイアログボックスが開きます。

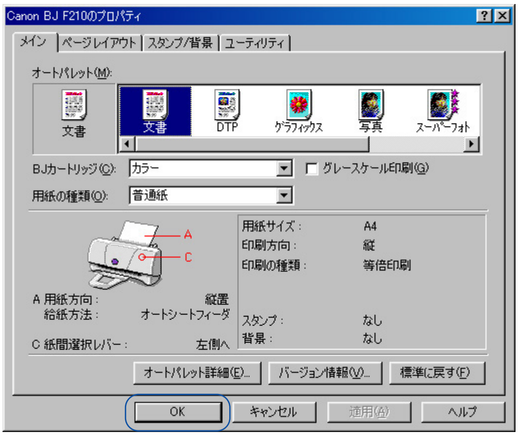
2 ［プリンタ名］で［Canon BJ F210］が選択されていることを確認して（①）、［プロパティ］ボタンをクリックします（②）。



Windows 98をお使いで、BJプリンタを複数台使用している場合は、［場所］でポート名も確認してください。パラレルインタフェースに接続する場合は、［LPT1:］など、USBインタフェースに接続している場合は、［USBPRN01］などと表示されます。

プリンタドライバの設定画面が開きます。

3 P.212を参照して、基本的な印刷設定を行い［OK］ボタンをクリックします。



4 スキャナカートリッジを取りはずし、印刷設定に合ったBJカートリッジに交換します。

5 用紙がセットされていることを確認して、［印刷］ダイアログボックスの［OK］ボタンをクリックします。
印刷を開始します。

読み取った画像を編集する

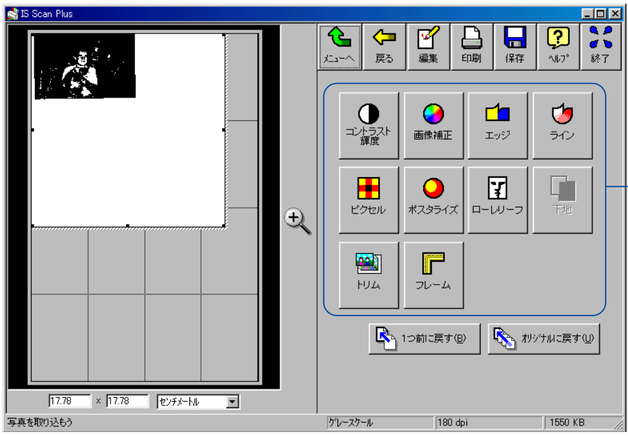
[写真を取り込もう］画面、［画像を取り込もう］画面で読み取った画像は、さまざまな編集機能を使って加工することができます。
取り込んだ画面や設定によって、使用できる機能は異なります。

■画像を編集する

編集の対象となるのは、プレビュー領域に表示されている画像です。

1 ［編集］ボタンをクリックします。
編集機能のボタンが表示されます。

2 目的のボタンをクリックします。



編集機能のボタン

●参考

- ［画像を取り込もう］画面では、［トリム］、［フレーム］は選択できません。［下地］は、モノクロ画像を読み取った場合に選択できます。
- 読込んだ画像の設定によって選択できない機能があります。詳細はヘルプを参照してください。

3 各編集機能の画面で必要な設定を行います。
各機能の詳細は［ヘルプ］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

4 ［更新］ボタンをクリックします
画像を編集した結果がプレビュー画面に反映されます。

●参考

- 元に戻したいときは［オリジナルに戻す］ボタンを選択してください。
複数の編集を加えた場合は、［1つ前に戻す］ボタンで各編集段階を遡って元の状態に戻していくことができます。

[コピーしよう]画面の操作

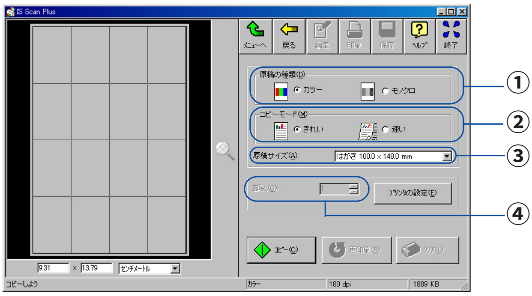
[コピーしよう]画面は、読み取った画像をすぐに印刷したいときに開きます。
読み取った画像に編集を加えることはできませんが、読み取りから印刷まで簡単に行うことができます。

■[コピーしよう]画面を開く

メインメニューで[コピーしよう]ボタンをクリックします。

■原稿をコピーする

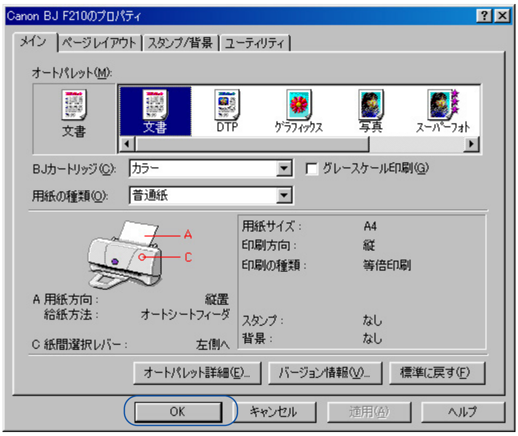
1 必要な設定を行います。
[原稿の種類]で[カラー]か[モノクロ]を選択します(①)。
[コピーモード]で[きれい]か[速い]を選択します(②)。
[原稿サイズ]を一覧から選択します(③)。
必要に応じて印刷する[部数]を選択します(④)。



2 [プリンタの設定]ボタンをクリックします。
[プリンタの設定]ダイアログボックスが開きます。

3 [プリンタ名]で[Canon BJ F210]が選択されていることを確認して[プロパティ]ボタンをクリックします。

4 P.212を参照して、プリンタドライバの設定画面で基本的な印刷設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。



5 原稿がセットされていることを確認して、［コピー］ボタンをクリックします。

6 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
原稿の読み取りを開始します。

7 メッセージが表示されたら、スキャナカートリッジを取りはずし、印刷設定に合ったBJカートリッジに交換します。

8 用紙をセットして、メッセージの［OK］ボタンをクリックします。
印刷を開始します。

●参考

・コピー終了後にプレビュー領域に表示されている画像を再度印刷したい場合は、［再印刷］ボタンをクリックします。
・同じ設定で別の原稿をコピーしたい場合は、［コピー］ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックして、同様の手順でコピーします。
・異なる設定でコピーしたい場合は、［クリア］ボタンをクリックして、プレビュー領域の画像を消去してください。その後、同様の手順でコピーします。

■［コピーしよう］画面で使用できるボタン


…メインメニューに戻ります。


…１つ前の画面に戻ります。


…取り込んだ画像を保存します（P.282）。

読み取った画像を保存する

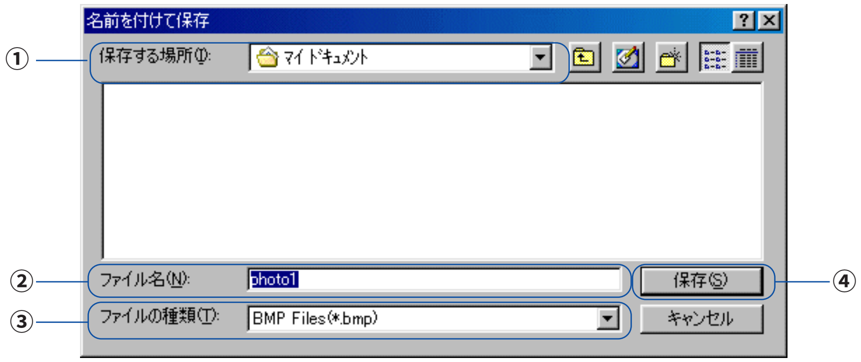
IS Scan Plusで読み取った画像は、名前をつけてファイルに保存することができます。
保存した画像は、ほかのアプリケーションソフトで作成した文書に貼り付けたり、電子メールに添付したり、インターネットのホームページに使用したり、さまざまな活用が可能です。

■画像をファイルに保存する

プレビュー領域に表示されている画像をファイルに保存します。

1 ［保存］ボタンをクリックします。
［名前をつけて保存］ダイアログボックスが開きます。

2 ［保存する場所］を選択して（①）、［ファイル名］を入力します（②）。
［ファイルの種類］を選択し（③）、［保存］ボタンをクリックします（④）。



画像が保存されます。

●参考

・ファイルの種類はBMP（ビットマップ）ファイル、JPEGファイル、TIFFファイルから選択できます。

プリンタを追加する

不要になったプリンタドライバを削除する

不要になったスキャナドライバ関連のファイルを削除する

プリンタを追加する

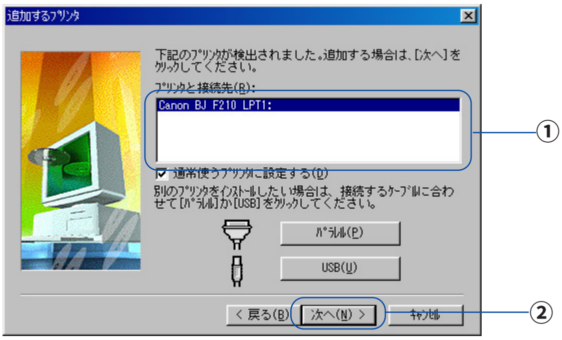
2台目以降のプリンタを使用するとき、またはほかのBJプリンタを使用する場合は、[BJプリンタの追加]を起動します。
USBインタフェースに接続する場合は、指示があるまで、プリンタをコンピュータに接続しないでください。

■新しいプリンタを追加する

2台目以降のプリンタをどのインタフェースで使用するかによって、手順が違います。

●パラレルインタフェースにプリンタを接続する場合

1. 新しいプリンタを接続して電源を入れます。
2. [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]、[BJラスタプリンタ]、[BJプリンタの追加]を順に選択します。
3. 接続したプリンタ名とポート名（LPT1等）が選択されていることを確認して（①）、[次へ]ボタンをクリックします（②）。

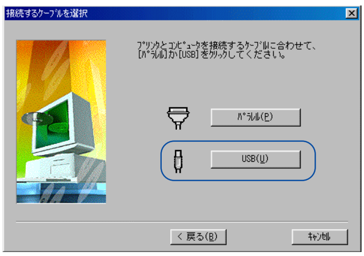


4. 再起動を促すメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

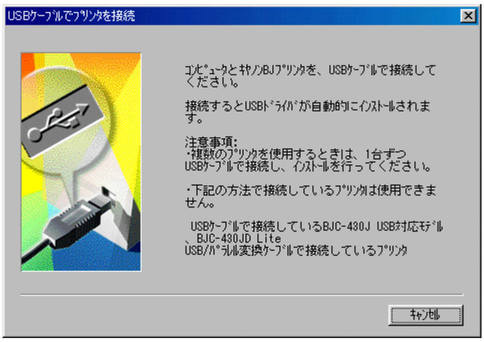
●USBインタフェースにプリンタを接続する場合

指示があるまで、プリンタをコンピュータに接続しないでください。

1. [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]、[BJラスタプリンタ]、[BJプリンタの追加]を順に選択します。
2. [USB]ボタンをクリックします。



3 次のような画面が表示されたら、新しいプリンタを接続します。

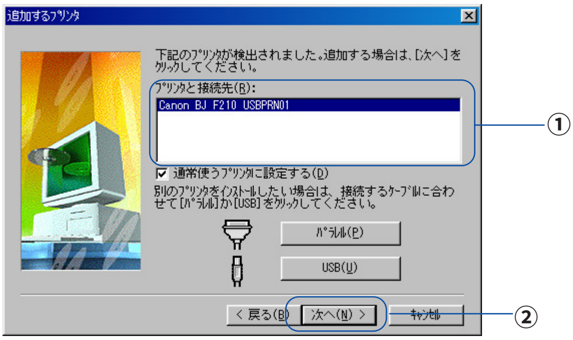


USBドライバがインストールされて、手順4の画面が表示されます。

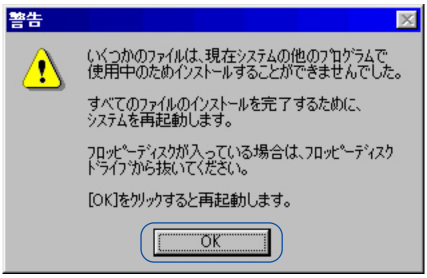
●参考

・接続を完了してもこの画面から先に進まなくなった場合は、何らかのトラブルが発生している可能性があります。［キャンセル］ボタンをクリックして1つ前の画面に戻ります。さらに［キャンセル］ボタンをクリックして、［BJプリンタの追加］をいったん中止します。『Windows 98のUSBインタフェースで、ドライバのインストールができないときは』を参照して、トラブルを解除した後、プリンタの追加の手順をやり直してください。

4 接続したプリンタ名とポート名（USBPRN01など）が正しく選択されていることを確認して（①）、［次へ］ボタンをクリックします（②）。



5 再起動を促すメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。



以上でプリンタの追加は完了です。

不要になったプリンタドライバを削除する

プリンタドライバは将来的に新しいバージョンが提供される可能性があります。新しいバージョンをインストールする場合は、あらかじめ、以前に使っていたプリンタドライバを削除しておいてください。

■アンインストーラでプリンタドライバを削除する

プリンタドライバに関連するファイルを一度に削除する場合は、アンインストーラを使います。複数のプリンタがインストールされている場合は、すべての機種が削除されます。

1. ［スタート］ボタンをクリックして、［プログラム］、［BJ ラスタ プリンタ］、［アンインストーラ］を順に選択します。
2. 確認のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。
3. すべてのファイルの削除が完了したら、［OK］ボタンをクリックします。



以上でプリンタドライバの削除は完了です。
お使いの環境によっては、この後、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されることがあります。この場合は、［OK］ボタンをクリックするとコンピュータが再起動します。

●参考

- デスクトップ上の［BJ ラスタ プリンタ］フォルダの中にある［アンインストーラ］をダブルクリックしても同様に削除できます。
- 特定の機種だけを削除したい場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［設定］、［プリンタ］を選択し、削除したい機種のアイコンをクリックします。［ファイル］メニューの［削除］を選択すると、確認のメッセージが表示されます。［はい］ボタンをクリックするとその機種のみ削除できます。
- BJプリンタモニタが起動していると、アンインストールを実行できません。

BJプリンタモニタを閉じて終了する　P.257

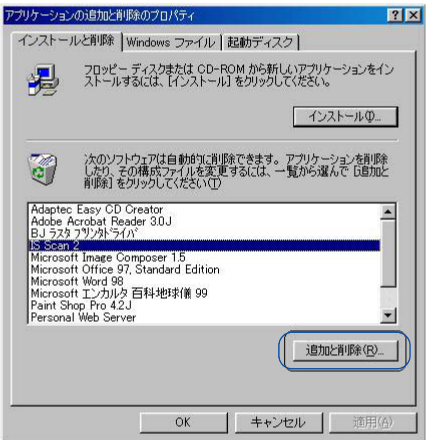
不要になったスキャナドライバ関連のファイルを削除する

スキャナドライバIS ScanやIS Scan Plusは将来的に新しいバージョンが提供される可能性があります。新しいバージョンをインストールする場合は、あらかじめ、以前に使っていたスキャナ関連のファイルを削除しておいてください。

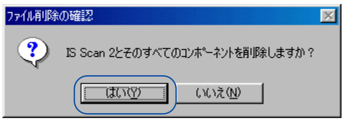
■IS ScanとIS Scan Plusを削除する

［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］で［IS Scan 2］を選択すると、IS Scan、IS Scan Plusを一度に削除することができます。

1 ［スタート］ボタンをクリックして、［設定］、［コントロールパネル］を順に選択します。
2 ［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
3 一覧から［IS Scan 2］を選択し、［追加と削除］ボタンをクリックします。



4 確認のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。



削除が開始されます。

5 削除が完了したら、［コンピュータからプログラムを削除］ダイアログボックスで［OK］ボタンをクリックします。
6 ［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックスで［OK］ボタンをクリックします。

以上で削除は完了です。

Macintosh ドライバガイド

プリンタドライバの基礎知識

プリンタの応用テクニック

メンテナンス機能

スキャナドライバ

スキャナ用アプリケーションソフト

付録

ドライバガイドをお使いになる前に

■各ソフトウェアのインストールについて

本書を読む前に、プリンタドライバ、スキャナドライバ（IS Scan）、Copy Utilityのインストールを正しい手順で行ってください。
プリンタドライバ、スキャナドライバ（IS Scan）のインストール方法は『かんたんスタートガイド』（青色）の裏面に書かれています。
Copy Utilityのインストール方法は、P.344に書かれています。

■動作環境

ハードウェア	USBインタフェースを標準搭載したMacintoshシリーズ
基本ソフトウェア	Mac OS 8.1以上（日本語版）
インタフェース	コンピュータ標準のUSBポートにUSBケーブルでプリンタを接続

iMacでMac OS 8.1を使用している方へ

Mac OS 8.1をアップデートする必要があります。
まだ、アップデートしていない場合は、プリンタドライバをインストールする前に、アップルコンピュータ株式会社が提供している「iMacアップデート 1.0」を入手して、必ずアップデートを完了してください。「iMacアップデート1.0」は、アップルコンピュータ株式会社のホームページで配布されています。

Mac OS 9を使用している方へ

- 「マルチユーザ」機能をオンにしてお使いの場合は、次の点にご注意ください。
  マルチユーザ環境でプリンタドライバおよびIS Scan アプリケーションソフトをインストールできるのは、[所有者]または[通常利用者]です。[制限付き利用者]または[パネル利用者]は、スキャナドライバのうち、TWAINドライバをインストールすることはできますが、IS Scanアプリケーションソフトおよびプリンタドライバをインストールすることはできません。
  [制限付き利用者]または[パネル利用者]がTWAINドライバをインストールする方法、IS Scanを使用する方法については、スキャナドライバに付属している[お読みください]ファイルを参照してください。
  [お読みください]ファイルを開くには、「プリンタドライバ/リファレンスガイド（CD-ROM)」をコンピュータのCD-ROMドライブにセットし、CD-ROMのフォルダ内にある[スキャナドライバ]フォルダをダブルクリックして、[お読みください]アイコンをダブルクリックしてください。
- 本書に掲載されている画面は、おもにMac OS 8.5で使用する場合のものです。Mac OS 9で使用する場合も、ほとんど同じ画面が表示されます。

プリンタドライバの機能

プリンタドライバはBJ F210で印刷するときに必要なソフトウェアです。
プリンタドライバが正しくインストールされると、コンピュータは接続したプリンタを認識できるようになります。
印刷時には、原稿のデータをプリンタに理解できる形式に変換し、プリンタに送り出す働きをします。

プリンタドライバの機能を本書では３つに分類しています。各ページ右上に「プリンタドライバの基礎知識」、「プリンタの応用テクニック」、「メンテナンス機能」の分類名を記載していますので、目的に合わせて必要な説明を参照してください。

印刷設定を行う……………………→**「プリンタドライバの基礎知識」** P.292〜P.300

プリンタドライバが正しくインストールされると、印刷はいつでも実行できます。しかし、印刷された結果は、原稿の種類、使用する用紙やBJカートリッジによって違いがあります。これらの条件に合わせて最適な印刷結果を得られるようにする操作が印刷設定です。
適正な印刷設定を行えば、印刷の品質や発色は向上します。印刷を実行する前にプリンタドライバの設定画面を開いて、基本的な印刷設定を行うようにしてください。最低限必要な情報は、「プリンタドライバの基礎知識」にまとめています。

特殊な機能を実行する……………→**「プリンタの応用テクニック」** P.301〜P.323

プリンタドライバの設定により、拡大/縮小印刷、割り付け印刷などの特殊な印刷を実行できます。また、写真などの画像データの色合いを補正して印刷することもできます。
印刷結果に満足がいかない場合は、色や品質に関する詳細な設定を行ってください。
また、バックグラウンド印刷時はBJプリントモニタを使用して、印刷の進行状況やプリンタの状態を確認したり、プリンタをネットワーク上で使用することもできます。
これらの応用的な機能については「プリンタの応用テクニック」にまとめています。

プリンタのメンテナンスを行う……………→**「メンテナンス機能」** P.324〜P.327

BJカートリッジのメンテナンス機能（プリントヘッドのクリーニング、ノズルチェックパターンの印刷）を行う場合にも、プリンタドライバの設定画面を開いてください。アイコンをクリックすると、それぞれの機能をプリンタに実行させることができます。
これらの機能については「メンテナンス機能」にまとめています。

スキャナドライバの機能

スキャナドライバIS ScanはBJ F210にカラーイメージスキャナカートリッジIS-22を装着して、画像を取り込むときに必要なソフトウェアです。
スキャナドライバが正しくインストールされると、コンピュータは接続したプリンタをスキャナ装置として認識できるようになります。

本書ではIS Scanの機能説明を「スキャナドライバ」、コピーユーティリティの機能説明を「スキャナ用アプリケーションソフト」と分類しています。各ページ右上に記載していますので、目的に合わせて必要な説明を参照してください。

IS Scanの機能……→「スキャナドライバ」 P.328〜P.342

IS ScanはTWAIN対応のスキャナドライバという役割と、画像読み取りアプリケーションソフトという役割を持っているため、インストール後は、次の2種類の方法で起動できます。

- TWAIN対応の画像編集アプリケーションソフトから起動。
- IS Scanを単独で起動。

いずれの方法で起動しても画像の読み取り方法は基本的に同じです。各起動方法、読み取りの設定のしかたなど、IS Scanの機能は「スキャナドライバ」にまとめています。

コピーユーティリティ…→「スキャナ用アプリケーションソフト」 P.343〜P.346

コピーユーティリティはIS Scanの画像読み取り機能を利用して、コピーのような手軽さで、画像の読み取りから印刷までを一貫して行うことができます。
コピーユーティリティの機能は「スキャナ用アプリケーションソフト」にまとめています。

●参考

- IS Scan、コピーユーティリティをお使いの場合は、プリンタにカラーイメージスキャナカートリッジIS-22（以下、本書ではスキャナカートリッジと略します）を取り付けておく必要があります。また、原稿をスキャニングホルダにセットするなど、プリンタ側での作業を伴います。
  これらの詳細については「スキャナとして使うには」を参照してください。

プリンタドライバの基礎知識

Macintosh

プリンタドライバを選択する

用紙サイズに関する設定を行う（用紙設定ダイアログ）

基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

ヘルプの見かた

プリンタドライバを選択する

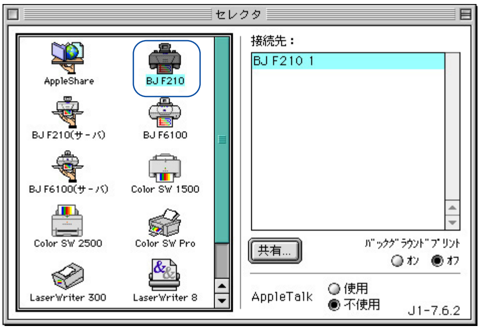
用紙や印刷の設定を行う前に、使用している環境に合ったプリンタドライバを［セレクタ］で選択しておく必要があります。
この操作は、プリンタドライバをインストール後一度行えば、同一のプリンタを使っている限り、選択し直す必要はありません。

■セレクタでプリンタドライバを選択する

コンピュータにプリンタを直接接続している場合は、次の手順でプリンタドライバを選択します。

1 アップルメニューから［セレクタ］を選択します。
［セレクタ］ダイアログが開きます。

2 ［BJ F210］アイコンをクリックします。



3 バックグラウンド印刷を行う場合は、オンを選択します。

クローズボックス



4 ［クローズボックス］をクリックして、セレクタを閉じます。
これ以降はBJ F210を使って印刷ができるようになります。

●参考

・バックグラウンド印刷については次を参照してください。
バックグラウンド印刷について　P.318
・ネットワークでプリンタを使用する場合は次を参照してください。
ネットワーク上でプリンタを使用する　P.320

用紙サイズに関する設定を行う（用紙設定ダイアログ）

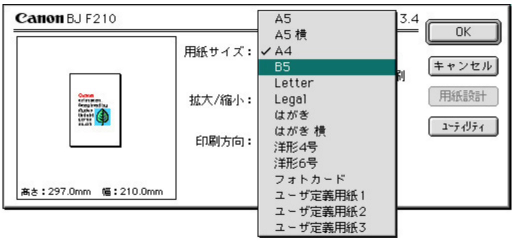
印刷に使用する用紙の大きさは、アプリケーションソフトで原稿作成時に選択するのが一般的です。
用紙設定ダイアログを開いて、プリンタにセットするものと同じになるように選択します。

■用紙サイズと印刷方向を変更する

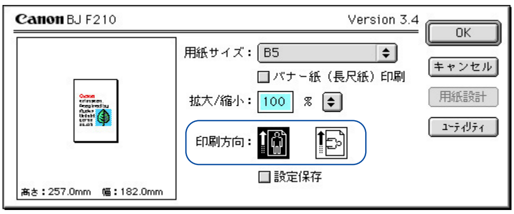
用紙設定ダイアログを開いて変更します。操作のしかたはアプリケーションソフトによって違いますが、ここでは一般的な手順を説明します。

1 アプリケーションソフトで用紙設定を実行するメニューを選択します。
一般的には［ファイル］メニューから［用紙設定...］をクリックして、用紙設定ダイアログを表示します。

2 ［用紙サイズ］を選択します。
一覧にない非定型の用紙サイズを使用する場合は、次項を参照してください。



3 ［印刷方向］を選択します。



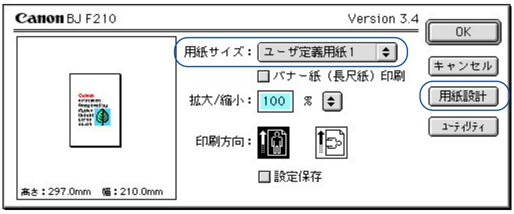
4 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。
用紙設定ダイアログが閉じます。

■非定型の用紙サイズを使用するとき

A4、A5などの定型サイズではない用紙を使用する場合は、［ユーザ定義サイズ］を選択します。

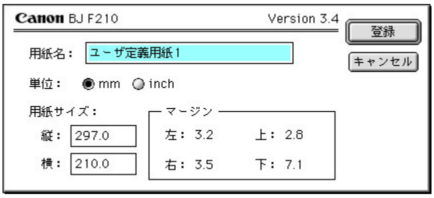
1 アプリケーションソフトで用紙設定を実行するメニューを選択します。
一般的には［ファイル］メニューから［用紙設定...］をクリックして、用紙設定ダイアログを表示します。

2 ［用紙サイズ］で［ユーザ定義用紙（1～3）］のどれかを選択し、［用紙設計］ボタンをクリックします。



用紙設計ダイアログが表示されます。

3 ［用紙名］と［単位］、［縦］、［横］の長さの数値を入力します。



4 ［登録］ボタンをクリックします。
用紙設計ダイアログが閉じて、指定した用紙名で用紙サイズが設定されます。

●参考
- ユーザ定義用紙は1～3まで登録できます。
- 用紙設定ダイアログボックスで行った設定を、常に新規作成時のデフォルトの設定にしたい場合は［設定保存］のチェックボックスをオン（☑）にします。

基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

印刷を開始する前に、基本的な印刷設定を行います。プリンタの状態（BJカートリッジ、用紙の種類）に設定を合わせ、原稿に適した印刷設定のアイコンを選ぶことで、きれいな印刷ができるようになります。

■印刷設定を行って印刷を開始する

［部数］、［ページ］、［BJカートリッジ］、［用紙の種類］、［印刷設定］を順に選択して、印刷を開始するまでの手順を説明します。

1 アプリケーションソフトで印刷を実行するメニューを選択します。
一般的には［ファイル］メニューから［プリント...］を選択して、プリントダイアログを表示します。

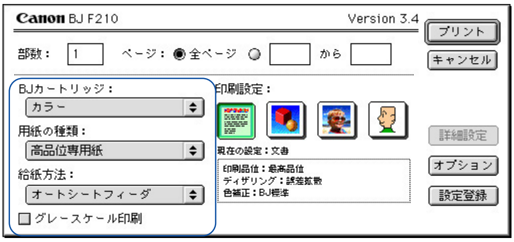
2 印刷したい部数を入力し、印刷するページを選択します。



●参考

・特定のページを印刷したい場合は「から」の前後に、印刷開始ページと印刷終了ページを入力します。

3 ［BJカートリッジ］、［用紙の種類］を選択します。
⇕ をクリックすると一覧が表示されますので、プリンタの状態に合わせて選択します。



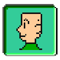
●参考

・カラーで作成した原稿をモノクロで印刷したい場合は、［グレースケール印刷］のチェックボックスをオン（☑）にしてください。
・［給紙方法］はオートシートフィーダのみの選択となるため、一覧は表示されません。

4 ［印刷設定］のアイコンを選択します。
「各アイコンの説明」を参照して、印刷する原稿のタイプに最も近いものを選択します。
［現在の設定］には選択されているアイコンの名称と、［印刷品位］、［ディザリング］、［色補正］の情報が表示されます。



各アイコンの説明

	文　書	文章中心の原稿や、標準的な品質で印刷するときにお勧めの設定です。
	グラフィックス	グラフや色の境界がはっきりしたコンピュータグラフィックスなどを印刷するときにお勧めの設定です。
	写　真	写真をよりきれいに印刷するときの設定です。グラデーションを多用したグラフィックス原稿にも適しています。
	マニュアル	印刷品位、ディザリング、色補正などを好みの設定にしたいときに選択します。マニュアルで印刷設定を行う P.306

5 印刷を開始する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

・BJカートリッジや用紙のセットのしかたは、『基本操作ガイド』を参照してください。

■原稿データのプレビューを表示する

［オプション］ボタンをクリックして出力先を変更すると、原稿データのプレビューを見ることができます。

1 プリントダイアログを開き、［オプション］ボタンをクリックします。
オプション設定ダイアログが表示されます。

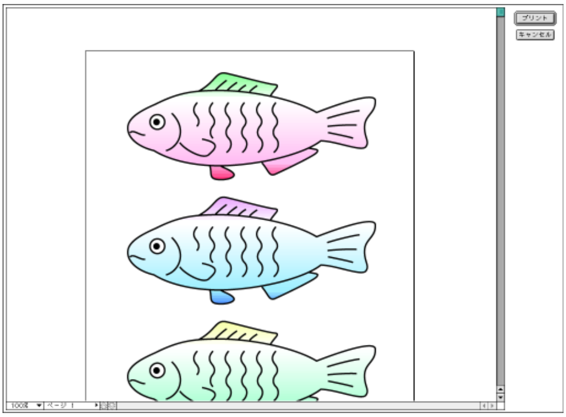
2 出力先で［プレビュー］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



3 プリントダイアログで［プレビュー］ボタンをクリックします。



プレビュー画面が表示されます。



●参考

・［印刷設定］でマニュアル（）アイコンを選択してプレビュー画面を表示した場合は、［カラーバランス］と［濃度］の設定ができます。

マニュアルで印刷設定を行う P.306

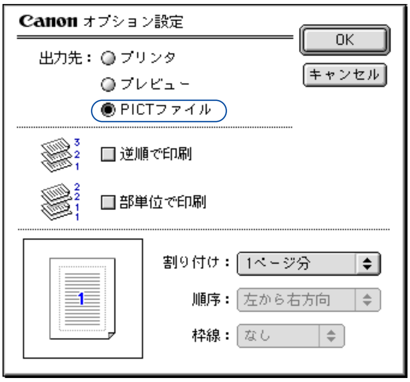
4 印刷を開始する場合は［プリント］ボタンをクリックします。印刷しないでプレビュー画面を閉じる場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

■原稿データをPICTファイルで保存する

［オプション］ボタンをクリックして出力先を変更すると、原稿データをPICT形式のファイルで保存できます。

1 プリントダイアログを開き、［オプション］ボタンをクリックします。
オプション設定ダイアログが表示されます。

2 出力先で［PICTファイル］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



3 プリントダイアログで［ファイル］ボタンをクリックします。



4 ［保存名］を入力し、［保存］ボタンをクリックします。



原稿データがPICTファイル形式で保存されます。

ヘルプの見かた

プリンタドライバには、たくさんの機能があります。ヘルプをバルーン表示する設定にしておくと、見たい項目にポインタを移動するだけで、簡単な説明を読むことができます。

■ヘルプのバルーン表示を行う

ヘルプのバルーン表示を行う場合は、[ヘルプ] メニューの [バルーン表示] を選択します。
この状態で説明を見たい項目にポインタを合わせると、バルーン表示が行われます。

1 [ヘルプ] メニューから [バルーン表示] を選択します。
2 プリンタドライバの画面（印刷設定ダイアログ、用紙設定ダイアログなど）を表示します。
3 説明を見たい項目にポインタを移動します。
その機能の説明が表示されます。



●参考 ・ヘルプのバルーン表示をやめたいときは、再度 [ヘルプ] メニューから [バルーンを隠す] を選択します。

プリンタの応用テクニック

Macintosh

拡大 / 縮小印刷をする

バナー紙（長尺紙）印刷をする

割り付け印刷をする

印刷順序を変更する

好みの印刷設定を行う

印刷の品質を変更する

画像の補正を行う

画像に特殊効果を加える

色の調整を行う

好みの設定を登録する

バックグラウンド印刷について

ネットワーク上でプリンタを使用する

拡大/縮小印刷をする

アプリケーションソフトで作成した原稿を、拡大または縮小して印刷します。

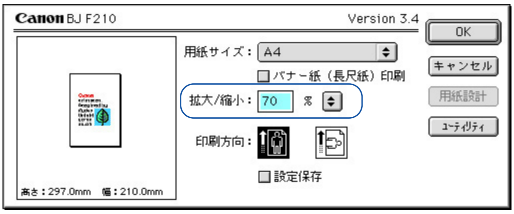
■拡大縮小率を指定する

［用紙設定］ダイアログで、拡大縮小率（%）で設定します。

1 ［用紙設定］ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 必要に応じて［用紙サイズ］を選択します。

3 ［拡大/縮小］を設定します。入力欄を選択して数値を入力するか、をクリックして、表示されるポップアップメニューから数値を調整します。



4 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。
用紙設定ダイアログが閉じます。

5 印刷を実行する場合は、プリントダイアログで［プリント］ボタンをクリックします。
プリントダイアログを開くには、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択するのが一般的です。

●参考

・通常の印刷に戻したい場合は、100%に設定してください。

バナー紙（長尺紙）印刷をする

バナー紙をプリンタにセットする方法は「バナー紙に印刷する」をご覧ください。
ここでは、バナー紙に印刷するときの設定方法のみ説明します。

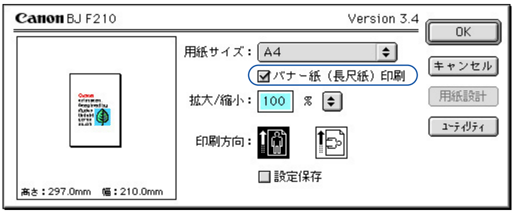
■バナー紙に印刷するための設定を行う

［用紙設定］ダイアログで、［バナー紙（長尺紙）印刷］をオンにします。

1 ［用紙設定］ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 ［用紙サイズ］で［A4］を選択します。

3 ［バナー紙（長尺紙）印刷］のチェックボックスをクリックして、オン（☑）にします。



4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。
用紙設定ダイアログが閉じます。

6 プリントダイアログを開きます。
プリントダイアログを開くには、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択するのが一般的です。

7 ［用紙の種類］で［普通紙］を選択します。

8 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

- バナー紙印刷時は、［部数］は１部に設定してください。複数部印刷の設定をすると正しく印刷できません。
- 通常の印刷に戻したい場合は、［バナー紙（長尺紙）印刷］をオフ（□）にしてください。

割り付け印刷をする

2ページ分または4ページ分の原稿を、1枚の用紙に納まるようレイアウトして印刷します。
見開きで全体のイメージを見たいときや、袋とじに仕上げるときに便利です。

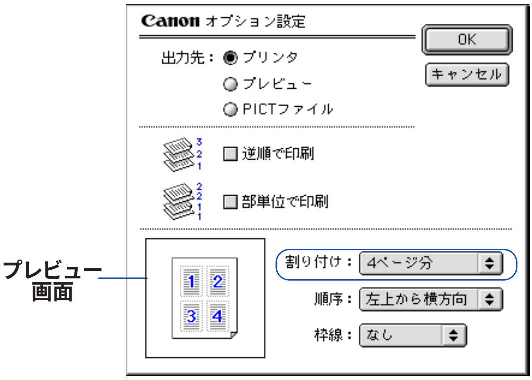
■割り付け印刷の設定を行う

プリントダイアログから［オプション設定］ダイアログを開いて設定します。

1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［オプション］ボタンをクリックします。
［オプション設定］ダイアログが表示されます。

3 ［割り付け］で1枚の用紙に何ページ分印刷するかを選択します。
プレビュー画面で印刷イメージを確認できます。



4 必要に応じて、次の設定を行います。
［順序］…用紙に対してどのような順序で原稿を割り付けるか選択します。
［枠線］…［細線］か［太線］を選択すると、各ページのまわりに指定した太さの枠線を印刷します。

5 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。
［オプション設定］ダイアログが閉じます。

6 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

・通常の印刷に戻したい場合は、［割り付け］で［1ページ分］を選択してください。

印刷順序を変更する

基本の設定では印刷順序は1ページ目から順番に印刷するようになっています。
同じ印刷データを複数部印刷するときは、印刷順序を部単位で逆順に設定しておくと、印刷後に並べ換える手間が省けます。

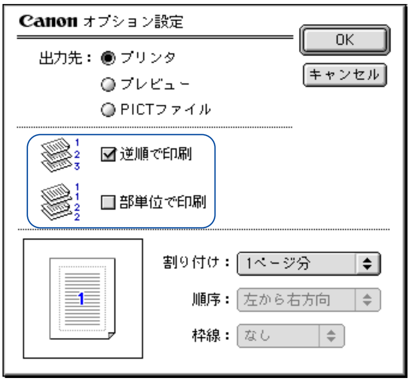
■印刷順序を設定する

印刷の順序は、［部単位で印刷］と［逆順で印刷］の設定のしかたによって変わります。
プリントダイアログから［オプション設定］ダイアログを開いて設定します。

1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［オプション］ボタンをクリックします。
［オプション設定］ダイアログが表示されます。

3 必要に応じて、［逆順で印刷］と［部単位で印刷］の設定を行います。



［逆順で印刷］……複数のページを印刷するときの順序を設定します。
オン（☑）にすると、最終のページから印刷します。オフ（☐）にすると、先頭のページから印刷します。

［部単位で印刷］…複数部を続けて印刷するときの順序を設定します。
オン（☑）にすると、1部ずつまとまるように印刷します。オフ（☐）にすると、同一ページごとにまとまるように印刷します。

4 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。
［オプション設定］ダイアログが閉じます。

5 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

好みの印刷設定を行う

［印刷設定］でマニュアルを選択すると、印刷の品質や色に関する設定を好みに応じて調整できるようになります。一度設定しておけば、次回からはアイコンをクリックするだけでその設定内容になります。

■マニュアルで印刷設定を行う

プリントダイアログの［印刷設定］でマニュアル（）を選択すると、クオリティパネル、特殊効果パネルと色設定パネルにある機能を選択できます。

1 プリントダイアログを開きます。

一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［印刷設定］でマニュアル（）を選択します。

3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

［詳細設定］ダイアログが表示されます。

4 必要に応じてクオリティパネルの各機能を設定します。

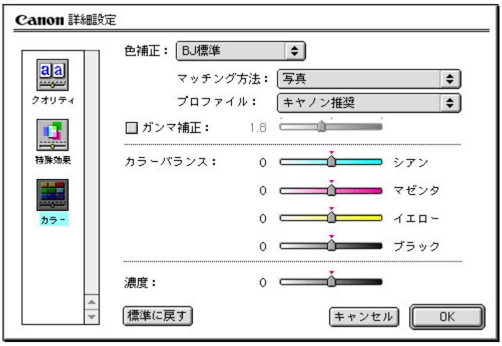


機能の詳細は、次の説明を参照してください。

［印刷品位］、［ディザリング］ 印刷の品質を変更する　P.308

［フォトデータ補正］ 画像の補正を行う　P.310

5 色の調整を行う場合は、［カラー］アイコンをクリックして、カラーパネルを表示します。



各機能の詳細は、次のページを参照してください。色の調整を行う　P.313

6 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックしてプリントダイアログに戻ります。

7 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

・次回以降、同じ印刷設定を使用する場合は、プリントダイアログの［印刷設定］でマニュアル（）アイコンを選択してください。

印刷の品質を変更する

印刷結果の品質に満足できなかった場合は、印刷品位やディザリングの方式を変えて微調整することができます。ただし、印刷するデータ自体に問題がある場合は印刷品位を上げても、効果がわからない場合があります。

■印刷の品質を調整する

印刷の品質は、［印刷品位］と［ディザリング］の設定によって変わります。［印刷設定］で［マニュアル］アイコンを選択すると設定できます。

1 ［プリント］ダイアログを開きます。

一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。

3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

［詳細設定］ダイアログが表示されます。

4 ［クオリティ］アイコンをクリックして、［クオリティ］パネルを表示します。

5 ［印刷品位］を設定します。

スライドバーを右（高品位）にするほど、印刷の品質は上がり、印刷時間がかかります。スライドバーの位置によって、印字モードの表示が変わります。



5 ［ディザリング］のいずれかのアイコンを選択します。
ディザリングは、吹き付けたインクの点（ドット）の配置のしかたを決定するもので、ハーフトーン（中間調）の表現方法が変わります。



［パターン］
異なる色のドットを一定の法則にしたがって並べます。
色の境界をくっきり見せたいグラフィックスやグラフに適しています。
［誤差拡散］
異なる色のドットをランダムに配置します。微妙なグラデーションが作り出せるため、写真などの自然画像に適しています。

6 ［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。
7 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

- ［ディザリング］の設定によっては、選択できない［印刷品位］があります。最高の品質で印刷する場合は、［誤差拡散］を選択してください。
- BJカートリッジの種類や、選択している用紙の種類などによって選択できない設定があります。その場合は、選択可能な範囲で調整することをお勧めします。

画像の補正を行う

フォトデータ補正を行うと、スキャナやデジタルカメラで取り込んだ画像データの色調を補正して印刷します。
色かぶり、露出オーバー、露出アンダーが原因で色合いが悪くなっている画像データに効果的です。

■フォトデータ補正を行う

［詳細設定］ダイアログで、フォトデータ補正をオンにします。

1 ［プリント］ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。
2 ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。
3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。
［詳細設定］ダイアログが表示されます。
4 ［クオリティ］アイコンをクリックして、［クオリティ］パネルを表示します。
5 ［クオリティ］パネルで［フォトデータ補正］をオン（ ）にします。



6 ［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。
7 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

・［バナー紙（長尺紙）印刷］を選択しているときは、［フォトデータ補正］を選択することができません。

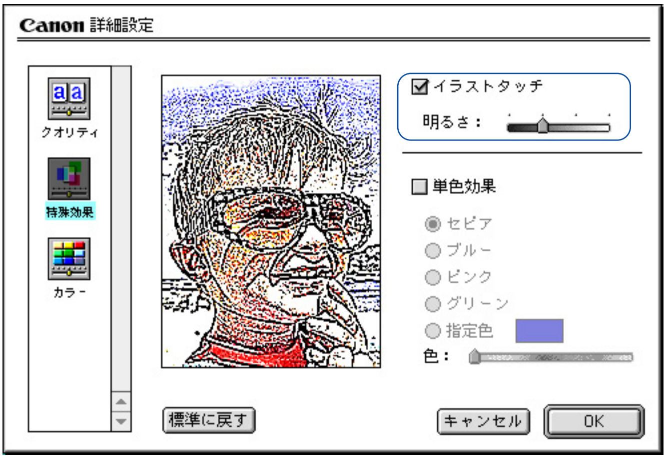
画像に特殊効果を加える

画像データを加工して、オリジナルの輪郭や色に特殊な効果を与えます。
画像データをイラストのような風合いに加工したり、単一色で表現したりできます。

■イラストのような風合いに加工する

［イラストタッチ］を使うと、写真などの画像データがイラストのような表現で印刷できます。

1. プリントダイアログを開きます。
   一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。
2. ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。
3. ［詳細設定］ボタンをクリックします。
4. ［特殊効果］アイコンをクリックして、［特殊効果］パネルを表示します。
5. ［特殊効果］パネルで［イラストタッチ］をオン（☑）にします。
   プレビュー画面がイラストのように変わります。



6. 必要に応じて［明るさ］のスライドバーをドラッグして、画像の明るさを調整します。
7. ［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。
8. 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

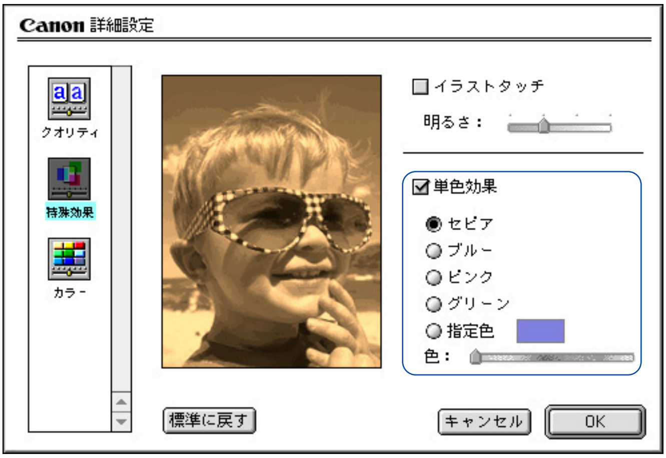
●参考

・［単色効果］と組み合わせて使用することができます。

■単一の色で表現する

［単色効果］を使うと、写真などの画像データを単一の色で印刷できます。

1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。
2 ［印刷設定］でマニュアル（）を選択します。
3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。
4 ［特殊効果］アイコンをクリックして、［特殊効果］パネルを表示します。
5 ［特殊効果］パネルで［単色効果］をオン（☑）にします。
プレビュー画面が単色に変わります。



6 ［セピア］、［ブルー］、［ピンク］、［グリーン］、［指定色］から、好みの色を選んでクリックします。選択した色は、プレビュー画面で確認できます。［指定色］を選んだ場合は、必要に応じて［色］スライドバーをドラッグして、好みの色を選んでください。［指定色］の右側に選択した色が表示されます。
7 ［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。
8 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

・［イラストタッチ］と組み合わせて使用することができます。
・［グレースケール印刷］がオン（☑）のときは選択できません。
・［BJカートリッジ］が［ブラック］のときは選択できません。

色の調整を行う

印刷した色合いが思い通りにならなかった場合は、プリンタドライバで色補正をしたり、濃度を調整したりすることができます。画像編集のアプリケーションソフトなどのように印刷するデータ自体の色を補正するものではありません。あくまで微調整を行うものです。

■色の補正とバランス、濃度を設定する

［印刷設定］で［マニュアル］アイコンを選択し、［カラー］アイコンを選択すると設定できます。

1 プリントダイアログを開きます。

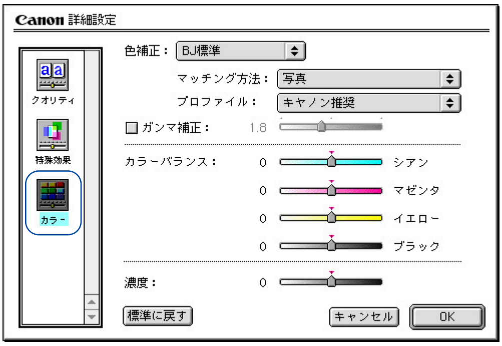
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［印刷設定］でマニュアル（）を選択します。

3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

［詳細設定］ダイアログの［クオリティ］パネルが表示されます。

4 ［カラー］アイコンをクリックして、カラーパネルを表示します。



5 必要に応じて各項目を設定します。

［色補正］

［BJ標準］…BJプリンタで印刷するのに最適な色補正を行います。通常はこれを選択してください。

［ColorSync］…ColorSyncによる色補正を行うときに選択します。

［なし］…色補正をしないときに選択します。

［マッチング方法］

色の表現方法を選択します。

［写真］…中間色を重視するときに選択します。

［グラフィックス］…原色を鮮やかに表現するときに選択します。

［スポットカラー］…基本色を多く使った原稿を印刷するときに選択します。

[プロファイル]
使用する色特性（プロファイル）を選択します。通常は［キヤノン推奨］を使用してください。［キヤノン推奨］はBJカートリッジや用紙の種類、印刷品位、ディザリングなどの設定に合った色特性を提供します。

[ガンマ補正]
ガンマ補正を行うと、完全な白と黒の間にある中間色のコントラストを調整できます。チェックボックスをオン（☑）にして、スライドバーを左右に移動させて調整します。
右にいくほど全体を暗く調整し、明るい部分のコントラストを強く、暗い部分のコントラストは弱く表現します。
ガンマ補正を行わない場合は、チェックボックスをオフ（☐）にしてください。

[カラーバランス]
シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各色ごとに色の強弱を設定します。
各色のスライドバーを左右にドラッグして調整します。たとえば、青味が強いと感じる場合は、マイナス方向（左）に、弱いと感じる場合はプラス方向（右）にドラッグします。
調整後は4色のインクのバランスが変わりますので、全体の色相も変わります。あくまで微調整に留めてください。

[濃度]
スライドバーを左右にドラッグして、濃淡を調整します。右にいくほど濃く、左にいくほど薄くなります。

6 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。
7 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考
・［色補正］が［なし］のときは、［マッチング方法］、［プロファイル］、［ガンマ補正］は選択できません。
・［BJカートリッジ］が［ブラック］、または［グレースケール印刷］がオンのときは、［カラーバランス］を設定することはできません。

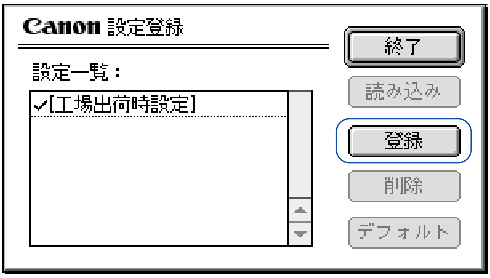
好みの設定を登録する

プリントダイアログの設定内容（BJカートリッジ、用紙の種類、給紙方法、グレースケール印刷、印刷設定）に名前をつけて登録しておくことができます。よく使用する設定はデフォルトの設定にしておくことが可能です。ここでは、登録や削除のしかた、呼び出しかたについて説明します。

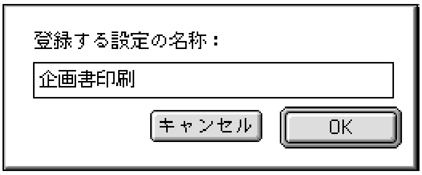
■印刷設定を登録する

プリントダイアログで設定した内容に名称をつけて登録しておくことができます。

1. プリントダイアログで設定を行い、[設定登録] ボタンをクリックします。
   設定登録ダイアログが開きます。
2. [登録] ボタンをクリックします。



3. 名称を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



   設定登録ダイアログに戻ります。
4. [終了] ボタンをクリックします。
   プリントダイアログに戻ります。

●参考

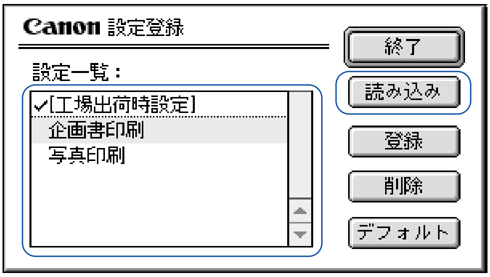
・すでに登録されている印刷設定と同じ名称で登録（上書き）することはできません。別の名称で登録するか、同じ名称の印刷設定を削除してから登録してください。

■登録した印刷設定を読み込む

登録した印刷設定を読み込んで、プリントダイアログの設定にします。

1 プリントダイアログを開き、［設定登録］ボタンをクリックします。
設定登録ダイアログが開きます。

2 読み込みたい印刷設定の名称をクリックし、［読み込み］ボタンをクリックします。



3 ［終了］ボタンをクリックします。
プリントダイアログに戻ります。

●参考

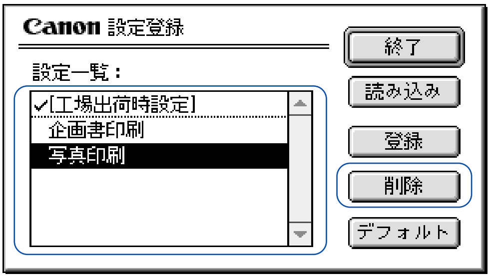
・登録した印刷設定をデフォルトの印刷設定（プリントダイアログが開いたときに、常に選択されている状態）にしたい場合は、［設定登録］ダイアログで名称を選択し、［デフォルト］ボタンをクリックします。名称にチェックが付いたら、その印刷設定がデフォルトになったことを示します。

■不要になった印刷設定を削除する

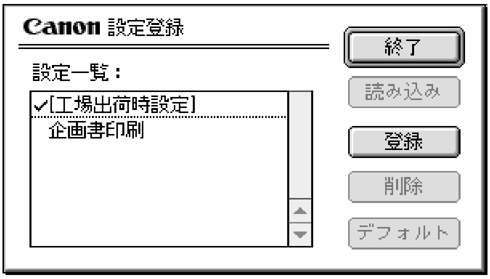
登録した印刷設定が不要になった場合、また同じ名称で別の設定内容で登録したい場合は、次の手順で削除します。

1 プリントダイアログを開き、[設定登録] ボタンをクリックします。
[設定登録] ダイアログが開きます。

2 削除したい印刷設定の名称をクリックし、[削除] ボタンをクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。
選択した印刷設定の名称がなくなります。



4 [終了] ボタンをクリックします。
プリントダイアログに戻ります。

●参考

- [工場出荷時設定]は削除できません。
- 一度削除したら、元に戻すことはできません。再度、印刷設定をして登録してください。

バックグラウンド印刷について

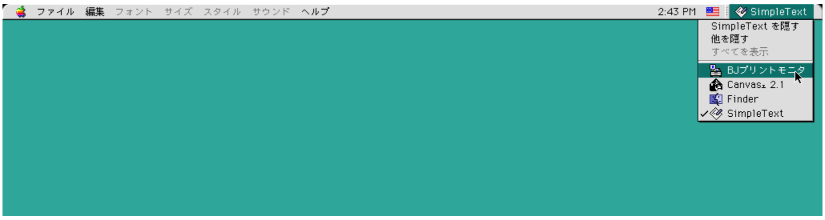
［セレクタ］でバックグラウンド印刷を行う設定になっていると、BJプリントモニタを開いて、印刷の進行状況を確認したり、印刷を中止できます。
また、印刷待ちになっている書類の印刷順序を変えることもできます。

■バックグラウンド印刷とは

印刷実行中に別の作業を並行して行えるような印刷処理方法をバックグラウンド印刷といいます。
バックグラウンド印刷を行うには、アップルメニューから［セレクタ］を選択して、プリンタドライバを選択したあと、［バックグラウンドプリント］をオンにします（プリンタドライバを選択する P.293）。
バックグラウンド印刷時は、BJプリントモニタを起動し、進行状況の確認、印刷の中止などを行うことができます。

■BJプリントモニタを表示する

印刷を実行すると自動的に起動します。アプリケーションメニューから［BJプリントモニタ］を選択するとウィンドウが表示され、印刷中、印刷待ちの文書の進行状況を確認することができます。



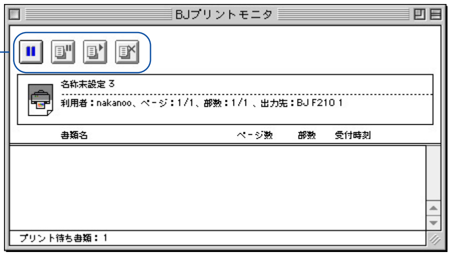
■BJプリントモニタのウィンドウを閉じる

［ファイル］メニューから［ステータスウィンドウを閉じる］を選択するとBJプリントモニタのウィンドウは閉じます。



■BJプリントモニタの機能

BJプリントモニタには、現在印刷中の書類と、印刷待ちの書類の情報が一覧で表示されます。
印刷待ちの書類情報は書類名、ページ数、部数、印刷を受け付けた時刻です。最下欄には印刷待ち書類の総数が表示されます。



操作ボタンの機能

…印刷を一時停止または再開（ ）します。

…指定した書類の印刷だけを中断します。

… で中断した書類の印刷をやり直します。

…指定した書類の印刷を中止します。

現在印刷中の書類について情報を表示します。
左端のアイコンは印刷が進むにつれて、だんだん黒くなります。

印刷待ちの書類について情報を表示します。

BJプリントモニタでは次のような作業を行うことができます。

- **印刷待ちの書類の順番を変える**

  順番を変えたい書類名にマウスポインタを合わせ、移動したい位置までマウスのボタンを押したままドラッグします。移動したい位置でボタンを離すと移動します。
  印刷中の文書の処理を中断して、印刷待ちの文書と入れ替えることもできます。

- **印刷を中止する**

  印刷を中止したい書類名をクリックして、 アイコンをクリックします。選択した書類が一覧から削除されます。

- **印刷を中断/再印刷する**

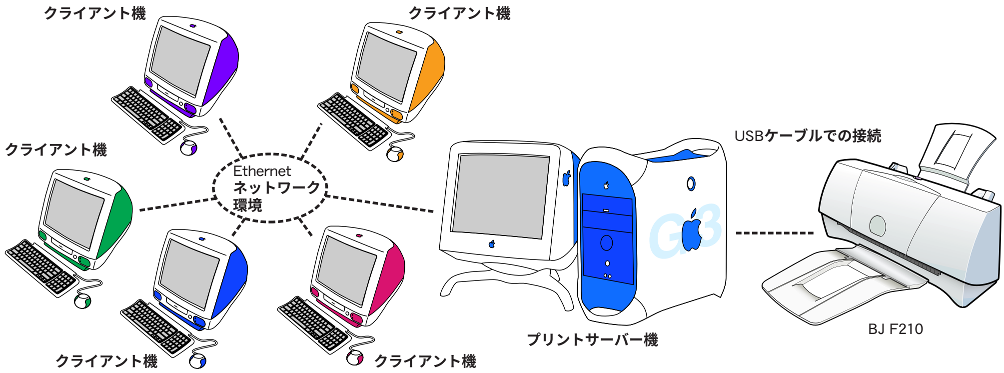
  印刷を中断したい書類名をクリックして、 アイコンをクリックします。印刷をやり直すときは、 アイコンをクリックします。

ネットワーク上でプリンタを使用する

BJ F210はEthernetネットワーク環境で使用することができます。ネットワークに接続されているすべてのコンピュータでプリンタを使用するためには、各コンピュータでプリンタドライバを選択しておく必要があります。

■接続環境とインストールについて

- Ethernetによるネットワーク環境で使用できます。
- プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバをインストールしてください（『かんたんスタートガイド』参照）。
- プリンタはプリントサーバー機として使用するコンピュータにUSBインタフェースケーブルで接続してください。プリントサーバー機とクライアント機では、選択するプリンタドライバや印刷状況を確認するツールが異なります。次の接続例を参考にしてください。



プリントサーバー機

USBインタフェースケーブルで直接プリンタを接続するコンピュータのことです。
プリントサーバー機では［BJ F210］というプリンタドライバを選択します。
プリントサーバー機からは、直接BJプリントモニタで、プリンタの状況を確認できます。

クライアント機

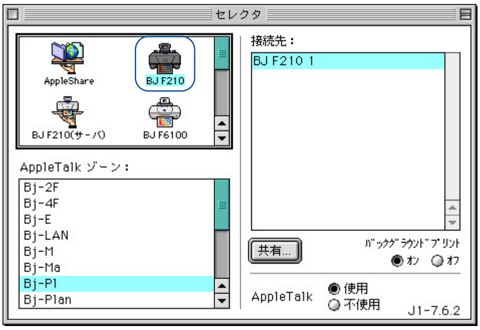
Ethernetでプリントサーバー機と接続されている各コンピュータのことです。
クライアント機からは［BJ F210（サーバ）］というプリンタドライバを選択します。
印刷を実行すると、データはプリントサーバー機を経由してプリンタに送られます。クライアント機からは、BJステータスモニタを起動してプリントサーバー機の印刷状況を確認することができます。

■プリンタドライバを選択する

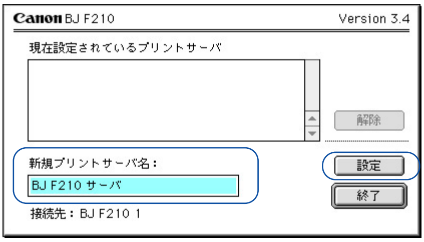
ネットワーク上でプリンタを使用する場合は、それぞれのコンピュータで正しいプリンタドライバを選択する必要があります。はじめにプリントサーバー機の設定を行い、続いて各クライアント機で設定を行います。

●プリントサーバー機の設定

1 アップルメニューから［セレクタ］を選択します。
2 ［AppleTalk］で［使用］を選択します。
3 ［BJ F210］アイコンを選択し、［接続先］でプリンタの名称を選択します。



4 ［共有...］ボタンをクリックします。
5 ［新規プリントサーバ名］が［BJ F210サーバ］になっていることを確認し、［設定］ボタンをクリックします。

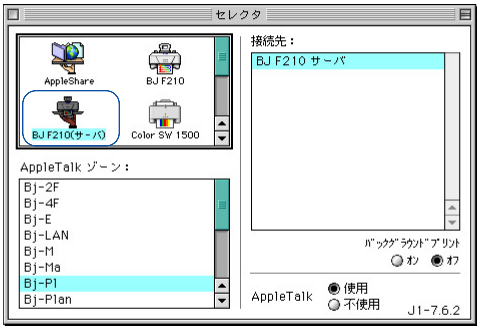


6 ［現在設定されているプリントサーバ］に新規プリントサーバー名が追加されたことを確認し、［終了］ボタンをクリックします。
7 クローズボックスをクリックして、セレクタを閉じます。

●参考 ・［新規プリントサーバ名］は、任意に変更することができます。

●クライアント機の設定

1 アップルメニューから［セレクタ］を選択します。
2 ［AppleTalk］で［使用］を選択します。
3 ［BJ F210（サーバ)］アイコンを選択し、［接続先］でプリントサーバー名を選択します。



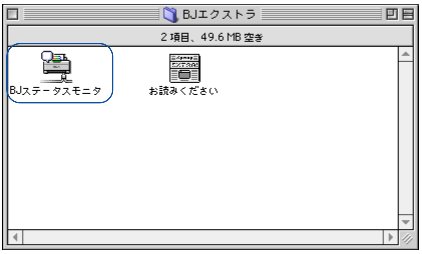
4 クローズボックスをクリックして、セレクタを閉じます。

■プリントサーバーの状況を確認する

クライアント機でプリントサーバー機の印刷状況を確認したい場合は、BJステータスモニタを起動します。

●BJステータスモニタを起動する

［BJエクストラ］フォルダの［BJステータスモニタ］アイコンをダブルクリックします。



●印刷状況を確認したいプリントサーバー機を選択する

1 ［ファイル］メニューから［プリントサーバーの選択］を選択する。
2 印刷状況を確認したいプリンタとプリントサーバー機を選択します。



●参考

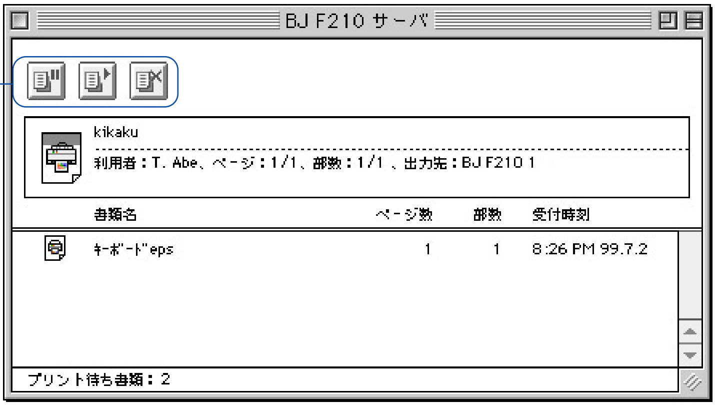
・AppleTalkゾーンが設定されている場合は、確認したいプリントサーバー機のあるゾーンを選択します。

●BJステータスモニタを閉じる

［ファイル］メニューから［終了］を選択するとBJステータスモニタは閉じます。

●BJステータスモニタの機能

BJステータスモニタでは、プリントサーバー機の印刷処理状況を確認できます。
印刷中の書類と、印刷待ちの書類の情報が一覧で表示されます。印刷待ちの書類情報は書類名、ページ数、部数、印刷を受け付けた時刻です。最下欄には印刷待ち書類の総数が表示されます。



操作ボタンの機能

…指定した書類の印刷だけを中断します。

…で中断した書類の印刷をやり直します。

…指定した書類の印刷を中止します。

現在印刷中の書類について情報を表示します。
左端のアイコンは印刷が進むにつれて、だんだん黒くなります。

印刷待ちの書類について情報を表示します。

BJステータスモニタでは次のような作業を行うことができますが、操作しているクライアント機の所有者と対象となる書類の所有者が一致していなければできません。書類名をダブルクリックすると、所有者を確認できます。

・印刷を中止する

印刷を中止したい書類名をクリックして、アイコンをクリックします。選択した書類が一覧から削除されます。

・印刷を中断/再印刷する

印刷を中断したい書類名をクリックして、アイコンをクリックします。印刷をやり直すときは、アイコンをクリックします。

●参考

- コンピュータの所有者については、コントロールパネルの[ファイル共有]を選択し、[所有者の名前]で確認できます。
- プリントサーバー機を複数台使用している場合は、BJステータスモニタの表示を切り替えることができます。[ファイル]メニューで[プリントサーバ選択]を選択し、[プリントサーバ]で目的のプリントサーバー機を選択して[OK]ボタンをクリックします。

メンテナンス機能

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンを印刷する

給紙ローラのクリーニングを行う

プリントヘッドをクリーニングする

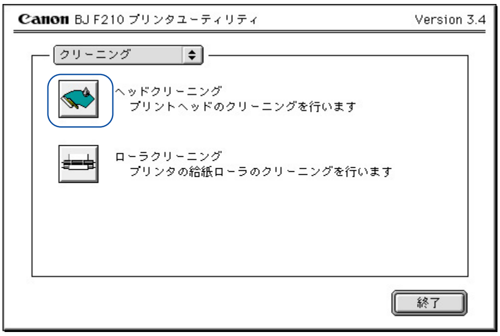
印刷がかすれたり、特定の色が出なくなったときは、プリントヘッドのノズルが詰まっている可能性があります。クリーニングを行うと、プリントヘッドのノズルの状態が改善します。

■クリーニングを実行する

1 ［用紙設定］ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。

3 ［クリーニング］が選択されているのを確認して、アイコンをクリックします。



4 確認のメッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていることを確認して、［実行］ボタンをクリックします。クリーニングが開始されます。

●参考

・クリーニングを行うタイミングについては、『基本操作ガイド』の「お手入れ」を参照してください。
・プリントヘッドの状態が改善したかどうか確認するには、ノズルチェックパターンの印刷を行ってください。

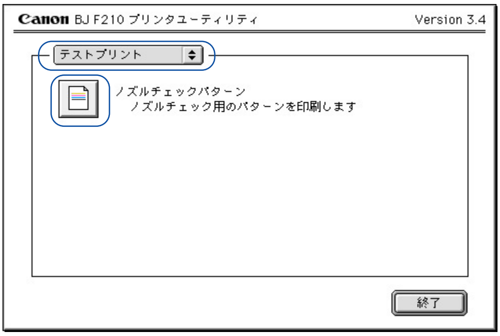
ノズルチェックパターンを印刷する　P.326

ノズルチェックパターンを印刷する

ノズルチェックパターンは、テストプリントの一種で、プリントヘッドのノズルから正常にインクが出ているかどうかを確認できます。
印刷結果の状態が悪いとき、またはクリーニングの後などに、印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。

■ノズルチェックパターン印刷を実行する

1. ［用紙設定］ダイアログを開きます。
   一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。
2. ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。
3. ［テストプリント］を選択し、アイコンをクリックします。



4. プリンタの電源が入っていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。
   ノズルチェックパターンが印刷されます。

●参考

・印刷されたパターンの見かたは、『基本操作ガイド』の「お手入れ」を参照してください。
・クリーニングを繰り返しても、ノズルチェックパターンの状態がよくない場合は、BJカートリッジのプリントヘッドが消耗している可能性があります。新しいものに交換してください。交換のしかたは『基本操作ガイド』の「カートリッジの種類と使いかた」を参照してください。

給紙ローラのクリーニングを行う

高品位用紙など、表面に特殊加工がされている用紙を大量に使用すると、給紙ローラに紙粉が付着し、用紙が正しく給紙されなくなることがあります。専用のクリーニングシートを使って給紙ローラをクリーニングすると改善します。ここでは、給紙ローラのクリーニングを実行する操作についてのみ説明します。

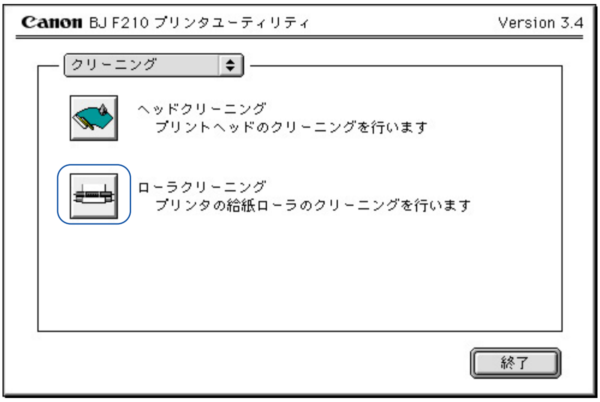
■給紙ローラのクリーニングを実行する

クリーニングシートをプリンタにセットする方法は、「給紙ローラのクリーニング」を参照してください。

1 [用紙設定] ダイアログを開きます。
一般的には、[ファイル] メニューから [用紙設定...] を選択すると開きます。

2 [ユーティリティ] ボタンをクリックします。

3 [クリーニング] が選択されていることを確認して、アイコンをクリックします。



4 確認のメッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていること、クリーニングシートがセットされていることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。
給紙ローラのクリーニングが開始します。

●参考

・クリーニングシートについての詳細は、「給紙ローラのクリーニング」を参照してください。

スキャナドライバ

Macintosh

アプリケーションソフトで画像を読み取る

単独で IS Scan を起動する

画像の読み取り方法を変更する

読み取った画像をクリップボードにコピーする

画像を調整する

IS Scan のその他の機能

アプリケーションソフトで画像を読み取る

TWAIN対応の画像編集アプリケーションソフトから、IS Scanを起動して画像を読み取る手順を説明します。実際の操作では、スキャナカートリッジの取付けや、原稿のセットなどの作業が伴います。これらの詳細については、「スキャナとして使うには」を参照してください。

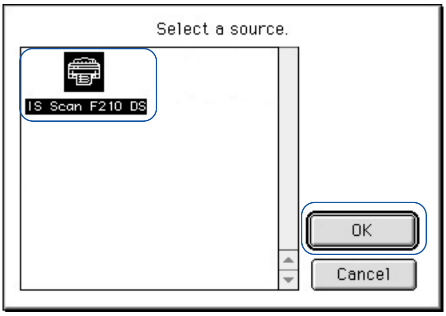
■TWAIN対応機器の選択を行う

アプリケーションソフトで画像を読み取る前に、BJ F210を使用するTWAIN対応入力機器として選択する必要があります。操作のしかたはアプリケーションソフトによって違いますが、ここでは一般的な手順を説明します。

1 アプリケーションソフトを起動し、［ファイル］メニューから［新規...］を選択します。プリンタにスキャナカートリッジを取り付けます。

2 TWAIN対応の入力機器を選択するダイアログを表示します。
一般的には[ファイル]メニューから［読み込み］、[TWAIN対応機器の選択...]を選択します。［Select a source］ダイアログが表示されます。

3 [IS Scan F210 DS］アイコンをクリックし、［OK］ボタンをクリックします。



以上で、BJ F210が入力機器として選択されました。この操作は、はじめに１回行っておけばいい操作です。ほかの機器に変更しない限り設定は有効です。

■IS Scanを起動する

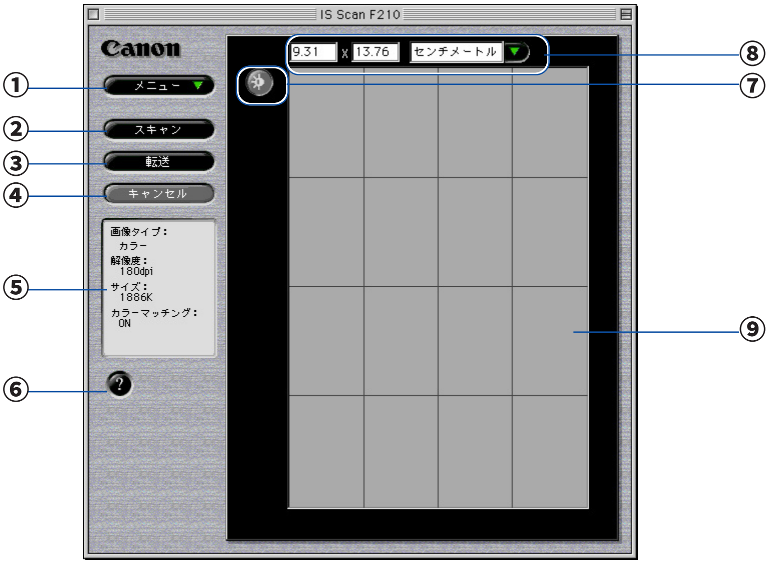
IS Scanを起動して、画像の読み取りを行うダイアログを表示します。操作のしかたはアプリケーションソフトによって違いますが、ここでは一般的な手順を説明します。

1 プリンタにスキャナカートリッジを取り付けます。

2 アプリケーションソフトで画像読み取りを行うメニューを選択します。
一般的には[ファイル]メニューから［読み込み］を選択し、[TWAIN対応機器からの入力...]を選択します。IS Scanのメインダイアログを表示します。

■メインダイアログの各部の名称と役割

IS Scanのメインダイアログは、読み取った画像を表示するプレビュー領域と各種の操作を行うボタンがあります。各部の名称と役割を簡単に紹介します。



①［メニュー］ボタン

IS Scanの各種機能が選択できます。読み取る画像の設定を変えたり、読み取った画像を編集するときにクリックします。

②［スキャン（プレスキャン、クリア)］ボタン

読み取りを実行するときにクリックします。
設定や状況によって、このボタンの表示は、［プレスキャン］、［クリア］に変わります。

③［転送（保存)］ボタン

読み取った画像をアプリケーションに転送するときクリックします。
IS Scanを単独で起動した場合は、このボタンの表示は［保存］です。

④［キャンセル］ボタン

画像の読み取りをキャンセルします。

⑤イメージ情報表示部

画像を読み取るための設定内容を表示します。別の設定で読み取りたい場合は、［メニュー］ボタンをクリックして、［設定...］を選択します。

⑥ヘルプボタン

IS Scanの機能についての説明を見たいときにクリックします。

⑦輝度/コントラストボタン

画像の明るさを調整したいときにクリックします。

⑧出力サイズ

読み取る画像の大きさを表示します。単位はインチ、センチメートル、ピクセルから選択できます。

⑨プレビュー領域

読み取った画像が表示されます。

■画像を読み取る

画像を読み取るために、最低限必要な操作を説明します。

1 ［メニュー］ボタンをクリックして、［設定...］を選択します。
設定ダイアログが開きます。

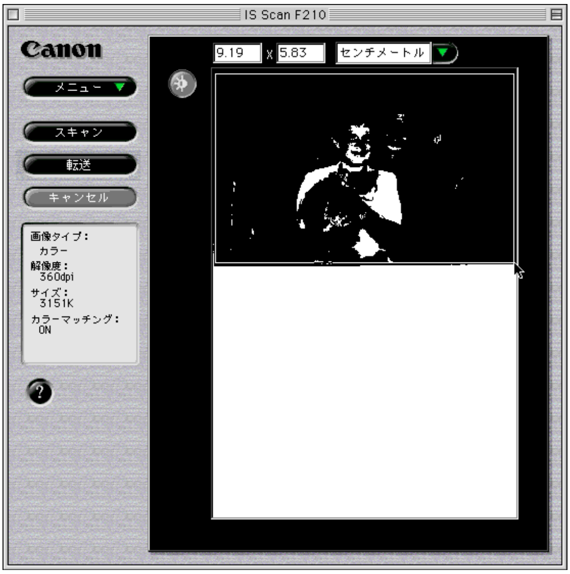
2 読み取る原稿に合わせて、必要な設定を行います。
①［原稿サイズ］の をクリックして、読み取る原稿の大きさに近いサイズを選択します。
②［読み取り方式］で原稿に最も近い項目を選択します。各項目の意味は「画像の読み取り方法を変更する　P.336」を参照してください。
③［プレスキャン］のチェックボックスをクリックしてオン（☑）にします。
プレスキャンとは、本番の読み取りの前に行う簡易的な読み取り方法です。原稿の範囲を指定して読み取ることができるので、時間の節約になります。必要がない場合はオフでもかまいません。



3 ［OK］ボタンをクリックして、［設定］ダイアログを閉じます。

4 プリンタに原稿がセットされていることを確認して、［プレスキャン］ボタンをクリックします。

5 原稿の一部分だけが必要な場合は、プレビュー領域内でマウスをドラッグして範囲を指定します。選択ボックスで囲まれた部分が読み取り範囲となります。



●参考

・選択ボックスを作成するには、範囲となる長方形の１点にマウスポインタを移動し、マウスのボタンを押したまま対角点まで移動し、マウスのボタンを離します。
・選択ボックス内にマウスポインタを置いて、ドラッグすると位置を移動できます。また選択ボックスの線上にマウスポインタを合わせてドラッグすると大きさを変更できます。
・選択ボックスの最小範囲は縦25.4mm、横25.4mmです。
・選択された範囲の大きさは、［出力サイズ］（P.330）に表示されます。

6 原稿がセットされていることを確認して、［スキャン］ボタンをクリックします。
選択ボックスで指定した範囲だけが、読み取られます。

スキャン



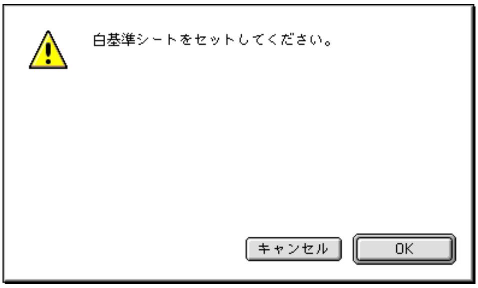
●参考

・プレビュー領域に表示された画像の一部が切れていたり、斜めになっていた場合は、［クリア］ボタンをクリックしてください。原稿をスキャニングホルダにセットし直し、再度［プレスキャン］ボタンをクリックして範囲を指定し、［スキャン］ボタンをクリックしてください。

7 ［転送］ボタンをクリックします。
アプリケーションソフトに読み取った画像データが転送されます。
必要に応じてアプリケーションソフトで画像データを編集し、印刷や保存を行ってください。

●参考

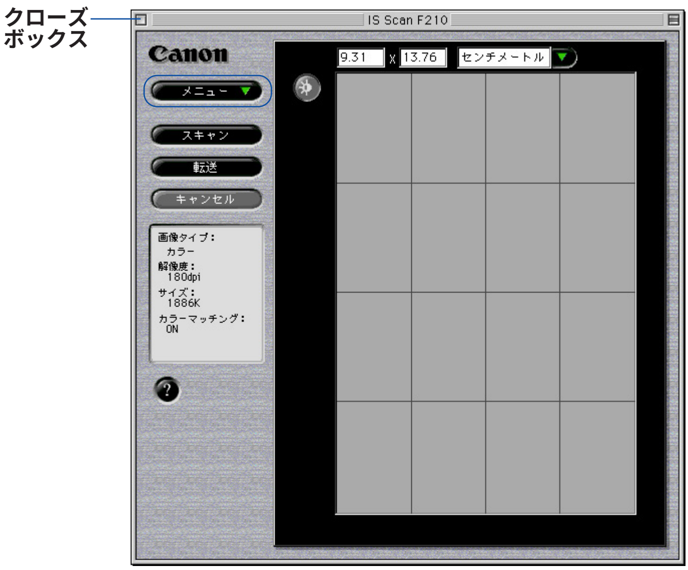
・アプリケーションソフトによっては、IS Scanのメインダイアログボックスが表示されず、独自の読み取り設定画面が表示されることがあります。この場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、読み取りの操作を行ってください。
・IS Scanを起動中に、IS Scanを呼び出したアプリケーションソフトを終了しないでください。システムからの応答がなくなることがあります。
・［プレスキャン］ボタンや［スキャン］ボタンをクリックしたとき、次のようなメッセージが表示されることがあります。



この場合は、白基準シートをセットして、[OK]ボタンをクリックしてください。白基準補正が行われます（白基準補正 P.342）。

■読み取りを中止してIS Scanを終了する

設定を中止して、メインダイアログボックスを閉じたい場合は、クローズボックスをクリックしてください。また、[メニュー]ボタンをクリックし、[終了]をクリックしても同様のことが可能です。
読み取りを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックし、クローズボックスまたは[終了]をクリックしてください。



単独でIS Scanを起動する

TWAIN対応の画像編集アプリケーションソフトをお持ちでない場合は、IS Scanを単独で起動して画像を読み取ってください。この場合は、読み取った画像データもIS Scanで保存できます。それ以外の機能はアプリケーションソフトから起動した場合と同じです。

■IS Scanを起動する

単独でIS Scanを起動する手順を説明します。

1 プリンタの電源を入れ、スキャナカートリッジを取り付けます。

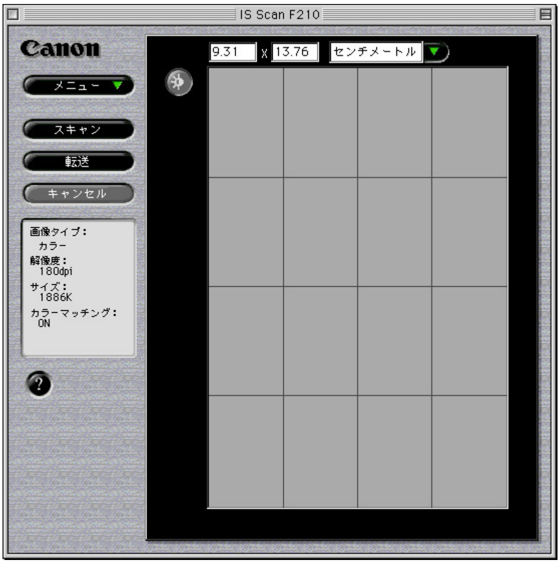
2 [IS Scan F210フォルダ] をダブルクリックします。



3 [IS Scan F210] アイコンをダブルクリックします。



IS Scanが起動し、メインダイアログが表示されます。



メインダイアログの内容と画像の読み取りかたは、アプリケーションソフトから起動した場合と、ほとんど同じです。

メインダイアログの各部の名称と役割　P.330

画像を読み取る　P.331

●参考

・スキャナカートリッジの取り付けかたは「スキャナカートリッジに交換する」を参照してください。

■読み取った画像を保存する

単独でIS Scanを起動した場合は、読み取った画像データを保存できます。

1　[保存］ボタンをクリックします。

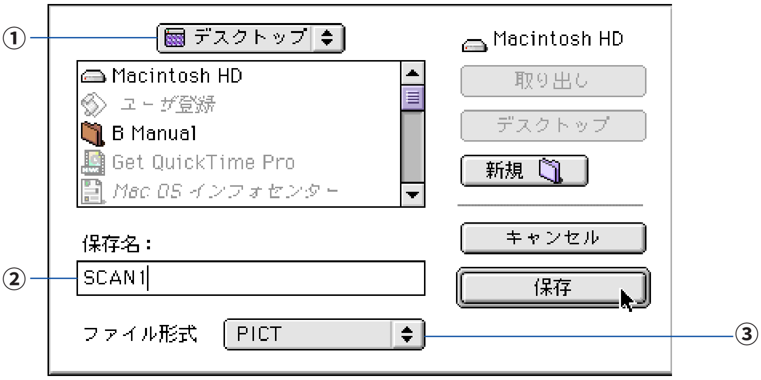


2　必要な設定を行い、[保存］ボタンをクリックします。

①保存する場所を選択します。

②[保存名］に画像データの名称を入力します。

③[ファイル形式］をPICT、TIFFから選択します。



以上で、画像データはファイルに保存されます。

画像の読み取り方法を変更する

読み取る画像の色、解像度などの設定は、原稿に合った［読み取り方式］を選択することで、自動的にお勧めの設定になります。
好みに合わせた設定を行いたい場合は、［ユーザ設定］を選択します。

■既存の設定で読み取る

［設定］ダイアログの［読み取り方式］で、プリンタにセットした原稿に近いものを選択します。
それぞれの項目の設定内容については、次の表を参照してください。

項目	用　　途	[読み取り方式] [解像度]	[輪郭強調] [カラーマッチング]	プレスキャン モード
写　真	スナップ写真のような紙焼きの写真を読み取るときにお勧めの設定です。	カラー 360dpi	オフ オン（行う）	グレースケール
DTP （カラー）	カラーの原稿を読み取るときの標準的な設定です。	カラー 180dpi	オフ オン（行う）	グレースケール
DTP （モノクロ）	モノクロの原稿を読み取るときの標準的な設定です。	グレースケール 180dpi	オフ オフ	グレースケール
テキスト	ワープロ文書のように文字だけの原稿を読み取るときに、お勧めの設定です。	白黒 180dpi	オン（行う） オフ	白黒
FAX	モノクロの原稿をFAX送信に適したデータに変換して読み取ります。	白黒（文字強調） 200dpi	オフ オフ	白黒
OCR	モノクロの原稿をOCR入力に適したデータに変換して読み取ります。	白黒（文字強調） 360dpi	オフ オフ	白黒
ユーザ設定	自分で好みの設定を行いたいときに選択します。 好みの設定で読み取る　P.337	ー	ー	ー

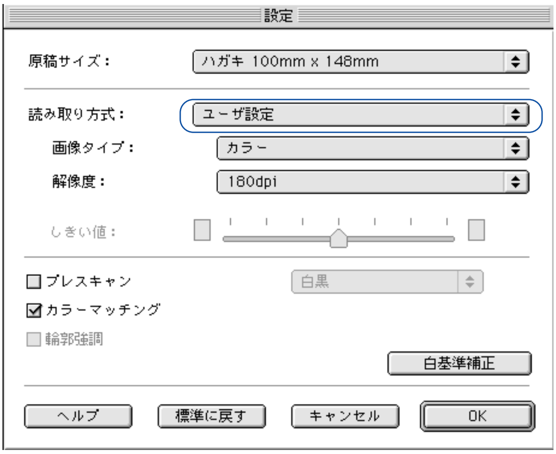
●参考

- ［設定］ダイアログは、メインダイアログで［メニュー］ボタンをクリックし、［設定...］を選択すると表示されます。
- ［FAX］と［OCR］は、原稿をグレースケールで読み取ったあと、モノクロのデータに変換します。その結果、不要な背景などが削除され、テキストや線画の画質を高めることができます。一方［テキスト］は、はじめから原稿をモノクロで読み取ります。

■好みの設定で読み取る

［設定］ダイアログの［読み取り方式］で［ユーザ設定］を選択すると、好みに合わせた詳細な設定を行うことができます。

1 メインダイアログで［メニュー］ボタンをクリックし、［設定...］を選択します。
2 ［読み取り方式］で［ユーザ設定］を選択します。



3 読み取る原稿に合わせて、必要な設定を行います。

［画像タイプ］
原稿に合わせてカラー、グレースケール、白黒、白黒（文字強調）から選択します。

［解像度］
読み取る画像の解像度を選択します。解像度が高いほど、精密で高精細な画像になりますが、画像データは大きくなります。一般的にホームページなどのように画面で見ることを目的としている場合は90dpi、プリンタで印刷することを目的としている場合は180dpiで十分です。

［しきい値］
［画像タイプ］が［白黒］の場合だけ有効な機能です。
スライドバーをドラッグして、白黒の画像の濃淡を調整します。左にいくほど淡く（明るく）、右にいくほど濃く（暗く）、画像を読み取ります。

［プレスキャン］
プレスキャンを行うときはオン（☑）にします。読み取り方式は、白黒、グレースケール、カラーから選択します。

［カラーマッチング］
［画像タイプ］が［カラー］の場合だけ有効な機能です。
オンにすると、使用しているモニタの色特性に合うように、色を調整して読み取りを行います。参照するモニタの色特性は、アップルメニューのコントロールパネル内にあるColorSyncのシステム特性で設定された内容です。

［輪郭強調］
［画像タイプ］が［白黒］の場合だけ有効な機能です。オンにすると、画像の輪郭部分だけをシャープに際立たせて読み取りを行います。プレスキャン時は無効になります。

4 ［OK］ボタンをクリックします。
メインダイアログに戻ります。

5 原稿がセットされていることを確認して、［プレスキャン］または［スキャン］ボタンをクリックして、読み取りを行います。

読み取った画像をクリップボードにコピーする

読み取った画像をクリップボードにコピーすると、ほかのアプリケーションソフトでも手軽に画像を利用することができます。TWAINに対応していないアプリケーションソフトで作成した書類に、画像を貼り付けたい場合などに有効です。

■画像をコピーする

コピーの対象となるのは、プレビュー領域に表示されている画像です。

1 メインダイアログで［メニュー］ボタンをクリックし、[編集]、[コピー］を選択します。
画像データがクリップボードにコピーされます。

●参考

・クリップボードにコピーされた画像を使用するには、アプリケーションソフトを開いて［編集］メニューから［ペースト］を選択してください。

画像を調整する

読み取った画像が、思い通りでなかった場合は、さまざまな機能を使って、微調整することができます。画像の明るさを変えたり、よりシャープあるいはソフトに見えるように、画像データを加工します。
また、特殊効果を加えて、オリジナルとは異なる風合いの画像データに加工できます。

■明るさとコントラストを調整する

読み取った画像の明るさとコントラストをスライドバーで調整します。

1 メインダイアログでボタンをクリックします。
［輝度/コントラスト］ダイアログが表示されます。

2 それぞれのスライドバーを左右にドラッグして調整します。
①［輝度］は、左にいくほど画像全体が暗くなり、右にいくほど画像全体が明るくなります。
②［コントラスト］は、左にいくほど画像全体のコントラストが弱くなり、右にいくほど画像全体のコントラストが強くなります。



3 調整後に［更新］ボタンをクリックすると、プレビュー領域に表示されている画像の輝度、コントラストが変わります。

4 調整が終了したら、［OK］ボタンをクリックします。

■画像の印象を修正する

読み取った画像をよりシャープにまたはソフトに調整することができます。また、汚れのように見える部分をめだたなくする（デスペクル）、ネガフィルムのように色を反転する機能もあります。

1 メインダイアログで［メニュー］ボタンをクリックし、［画像］を選択し、サブメニューから目的の機能を選択します。

［シャープ］ ……… かすみがかったような画像をシャープに表現します。
［ソフト］ ………… 画像のエッジ部分を柔らかく表現します。
［デスペクル］ …… 汚れのように見える部分を、周辺の色になじませて目立たなくします。
［色の反転］ ……… ネガフィルムのような画像にします。

修正の効果はプレビュー領域で確認します。

■画像に特殊効果を加える

読み取った画像にエッジ強調、ライン強調、ピクセル、ポスタライズ、ローレリーフといった特殊効果を加え、オリジナルの画像とは異なる表現に加工できます。

1 メインダイアログで［メニュー］ボタンをクリックし、［エンハンス］を選択し、サブメニューから目的の機能を選択します。

［エッジ...］ ………… 写真や線画のエッジを強調します。
［ライン...］ ………… 特定の方向のラインだけ強調します。
［ピクセル...］ ……… モザイクのような表現に加工します。
［ポスタライズ...］ … 色数を減らして、画像を単純化します。
［ローレリーフ...］ … 浮き彫りのような表現に加工します。

機能を選択すると、それぞれのダイアログが表示されます。

2 一覧から好みの機能を選択します。

画面は［エッジ...］を選択したときの例ですが、ほかの機能の場合も操作は同じです。選択した機能のおおよその結果は、プレビュー領域で確認できます。
それぞれの機能の詳細は ? ボタンをクリックして、説明を参照してください。



3 調整が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。

●参考

・調整した結果を元に戻したい場合は、［メニュー］ボタンをクリックして［元にもどす］を選択し、次のいずれかを選択します。

［最後］……２回以上の編集を行った場合は、直前に選択した機能のみ解除します。

［すべて］…すべての機能を解除してオリジナルの画像に戻します。

IS Scanのその他の機能

画像の読み取り以外の機能について、まとめて説明します。

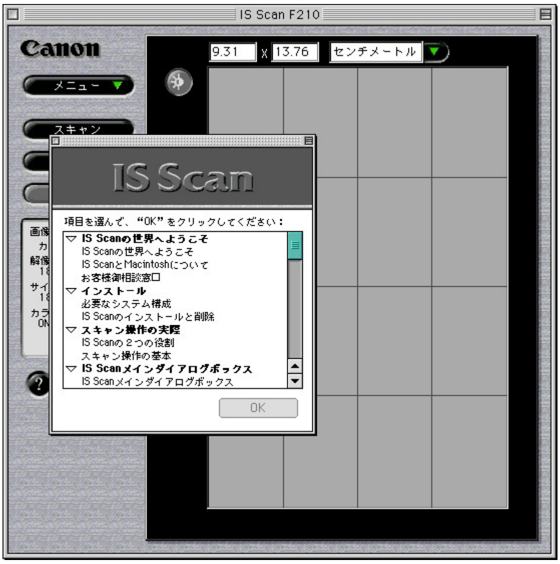
■白基準補正

読み取る画像の色味を正しいカラーバランスにするためには、白基準補正という操作が必要です。はじめて画像の読み取りを行う場合や、スキャナカートリッジの温度が上昇したときには、プリンタに白基準シートをセットするようにメッセージが表示されます。
白基準シートをプリンタにセットし、メッセージの［OK］ボタンをクリックすると読み取りが開始され、白基準補正の値が設定されます。
この操作は必要に応じて、いつでも行うことができます。

1. メインダイアログで［メニュー］ボタンをクリックし、［設定...］を選択します。
2. ［白基準補正］ボタンをクリックします。
3. メッセージが表示されたら、白基準シートをプリンタにセットします。セットのしかたは「白基準補正を行う」を参照してください。
4. ［OK］ボタンをクリックします。
   白基準シートが排紙されたら、補正は完了です。

■ヘルプを見る

メインダイアログ上にある をクリックすると、IS Scanの各機能の説明を見ることができます。また、［メニュー］ボタンをクリックし、［ヘルプ］、［ヘルプ...］を順に選択しても同じです。



コピーユーティリティを使用する

コピーユーティリティを使用する

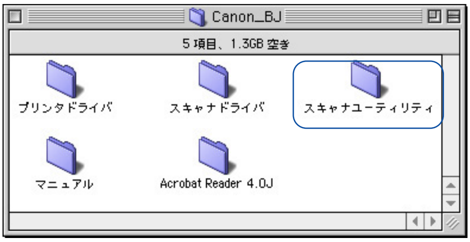
コピーユーティリティはIS Scanの機能で読み取った画像をすぐに印刷したいときに便利なアプリケーションソフトです。
読み取った画像に編集を加えたり、画像を保存することはできませんが、読み取りから印刷まで簡単に行うことができます。

■コピーユーティリティをインストールする

コピーユーティリティは必要なファイルが入っているフォルダを任意の場所にコピーするだけで使用できるようになります。

1 「プリンタドライバ／リファレンスガイド」（CD-ROM）をセットします。

2 ［スキャナユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。



3 ［Copy Utility for F210］フォルダをドラッグして、任意の場所にコピーします。



以上でコピーユーティリティはいつでも起動できるようになります。

●参考

・コピーユーティリティを使用するには、プリンタドライバとスキャナドライバIS Scanが正しくインストールされている必要があります。

■コピーユーティリティを起動する

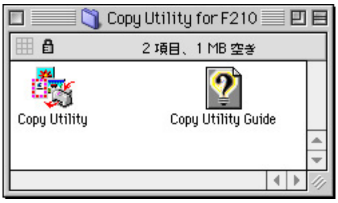
コピーユーティリティを起動する手順を説明します。

1 プリンタの電源プラグをコンセントに差し込み、スキャナカートリッジを取り付けます。

2 ［コピーユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。



3 ［Copy Utility］アイコンをダブルクリックします。



コピーユーティリティが起動し、メインダイアログが表示されます。



■原稿をコピーする

1 原稿に合わせて［カラー原稿］ボタンか、［モノクロ原稿］ボタンをクリックします。
2 印刷に使用する用紙のサイズを［用紙サイズ］で選択します。
3 印刷する部数を［部数］で選択します。
4 印刷に使用する用紙の種類を、［普通紙］、［高品位専用紙］、［OHPフィルム］の中から選択します。
5 ［明るさ］のスライドバーを左右にドラッグして、コピーの明暗を選択します。
6 原稿がセットされていることを確認して、［コピー］ボタンをクリックします。
原稿の読み取りを開始します。
7 メッセージが表示されたら、スキャナカートリッジを取りはずし、印刷の状態に適したBJカートリッジに交換します。
8 用紙をセットして、メッセージの［OK］ボタンをクリックします。
印刷を開始します。

●参考

・コピー終了後に同じ画像を印刷したい場合は、［再印刷］ボタンをクリックします。
・同じ設定で別の原稿をコピーしたい場合は、［コピー］ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックして、同様の手順でコピーします。
・異なる設定でコピーしたい場合は、［リセット］ボタンをクリックします。画像データが解除されますので、同様の手順で設定を行ってコピーします。

■コピーユーティリティを終了する

クローズボックス、または［終了］ボタンをクリックすると、コピーユーティリティは終了します。



不要になったプリンタドライバを削除する
インストールされるプリンタドライバ関連ファイル
不要になったスキャナドライバを削除する
インストールされるスキャナドライバ関連ファイル

不要になったプリンタドライバを削除する

プリンタドライバが不要になったときは、カスタム削除で、プリンタドライバ関連のソフトウェアをまとめて削除することができます。

■プリンタドライバを削除する

インストーラを起動して、[BJ F210書類] を開き、カスタム削除を実行します。

1 動作中のアプリケーションソフトで、保存していない書類がある場合は、あらかじめ保存しておいてください。

2 [Canon_BJ] フォルダを開き、[プリンタドライバ] フォルダを開きます。

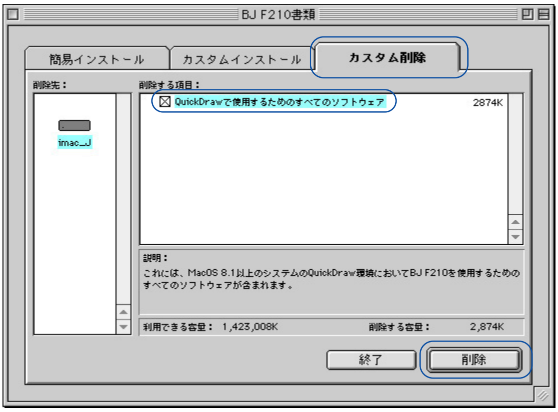
3 [BJインストーラ] アイコンをダブルクリックします。

4 使用許諾契約書が表示されたら、[同意する] ボタンをクリックします。

5 [BJ F210] を選択します。
[BJ F210書類] が開きます。

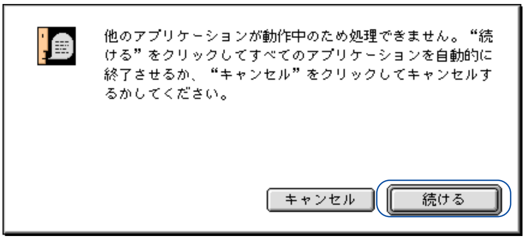
6 [カスタム削除] をクリックします。

7 [削除する項目] のチェックボックスをクリックしてオン (☒) にします。

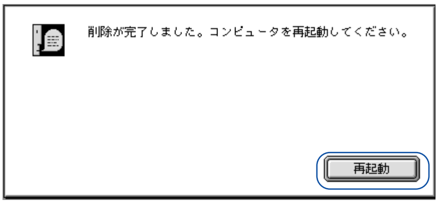


8 [削除] ボタンをクリックします。

9 次のようなメッセージが表示された場合は、[続ける] ボタンをクリックします。



10 **次のようなメッセージが表示されたら、［再起動］ボタンをクリックします。**
コンピュータが再起動します。



以上でプリンタドライバの削除は完了です。

インストールされるプリンタドライバ関連ファイル

BJ F210用プリンタドライバをインストールすると、それぞれの場所に次のフォルダおよびファイルがインストールされます。

システムフォルダ	Canon Spool Folder	←このフォルダはインストールされません。 最初に印刷したときに作成されます。
	機能拡張	BJ Support Module BJ Printing Module BJ F210(サーバ) BJ F210 BJバックグラウンダ BJプリントモニタ BJ F210 USB Module BJ Photo Module
	ColorSync 特性 (Mac OS 9の場合は、[ColorSyncプロファイル] となります)	Color Syne 特性にインストールされるプロファイルの例 BJ Standard 2 BC-20S.ML.GF.ED.36 ほか
BJエクストラ	BJステータスモニタ	お読みください

不要になったスキャナドライバを削除する

IS Scanが不要になったときは、カスタム削除で関連のファイルをまとめて削除することができます。
コピーユーティリティが不要になった場合は、ファイルを［ごみ箱］に捨ててください。

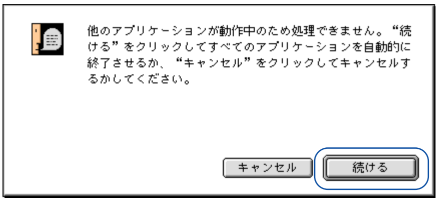
■ スキャナドライバを削除する

インストーラを起動して、［IS Scan書類］を開き、カスタム削除を実行します。

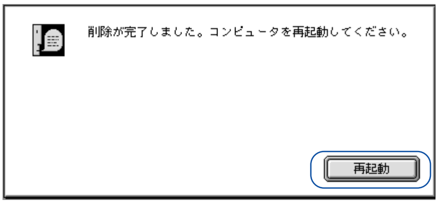
1. 動作中のアプリケーションソフトで、保存していない書類がある場合は、あらかじめ保存しておいてください。
2. ［Canon_BJ］フォルダを開き、［スキャナドライバ］フォルダを開きます。
3. ［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。
4. 使用許諾契約書が表示されたら、［同意する］ボタンをクリックします。
5. ［カスタム削除］をクリックします。
6. 削除したい内容のチェックボックスをクリックしてオン（☒）にします。
クリックすると下段に説明が表示されますので、参考にしてください。



7. ［削除］ボタンをクリックします。
8. 次のようなメッセージが表示された場合は、［続ける］ボタンをクリックします。



9 次のようなメッセージが表示されたら、［再起動］ボタンをクリックします。
コンピュータが再起動します。



以上でスキャナドライバIS Scanの削除は完了です。

■ コピーユーティリティを削除する

［Copy Utility for F210］フォルダを［ごみ箱］にドラッグするだけで削除できます。

インストールされるスキャナドライバ関連ファイル

BJ F210用IS Scanをインストールすると、それぞれの場所に次のフォルダおよびファイルがインストールされます。

システムフォルダ	初期設定	TWAIN	IS Scan F210 DS Source Manager
		IS Scan	ISScan Help
	機能拡張	ColorGear CMM Lite	BJ F210 USB Module
	ColorSync 特性	BSIS22.PRF	BJ Standard 2
IS Scan 場所は任意に指定できます。	IS Scan F210	ISScanGuide	お読みください

コピーユーティリティは特にインストール作業を必要としません。次のフォルダとファイルを任意の場所にコピーします。

Copy Utility for F210 場所は任意に指定できます。	Copy Utility	Copy Utility Guide

仕様

印刷方式
シリアルバブルジェット方式

印刷解像度
最高　720（横）× 360（縦）dpi

印刷方向
双方向

印字幅
最長　203.2mm

動作モード
キヤノン拡張モード

受信バッファ
54kB

インタフェース
IEEE1284 準拠パラレルインタフェース
USB1.10 準拠 USB インタフェース

インタフェースコネクタ
・パラレルインタフェース
　アンフェノール 57 - 40360 相当
・USB インタフェース
　USB 規格　シリーズ B レセプタクル

推奨プリンタケーブル

・パラレルインタフェース
素材：AWG28 以上
タイプ：ツイストペアシールド付きケーブル
長さ：最大 2.0m
コネクタ：アンフェノール 30360 相当

・USB インタフェース
素材：AWG28 以上（データ線ペア）、AWG20 ～ 28（配電ペア）
タイプ：ツイストペアシールド付きケーブル
長さ：最大 5.0m
コネクタ：USB 規格　シリーズ B プラグ

動作音

約 45dB（A）

動作環境

温度	5 ℃～ 35 ℃
湿度	10%RH ～ 90%RH （ただし結露がないこと）

保存環境

温度	0 ℃～ 35 ℃
湿度	5%RH ～ 90%RH （ただし結露がないこと）

電源

AC100V 50/60Hz

消費電力

約 2W（待機時）約 18W（印刷時）

寸法

370mm（横）× 191mm（奥行）× 164mm（高さ）
（用紙サポート、排紙トレイを取りはずした状態）

質量

本体　約 2.4kg
（用紙サポート、排紙トレイを取りはずした状態）

給紙方法

連続給紙（オートシートフィーダ）

普通紙、高品位専用紙、官製はがき、
フォト光沢ハガキ、封筒、OHP フィルム、
フォト光沢紙、光沢フィルム、
バックプリントフィルム、バナー紙（長尺紙）、
フォト光沢カード、T シャツ転写紙

オートシートフィーダ積載枚数

普通紙（64g/m^2 のとき）	最大　50 枚
高品位専用紙	最大　40 枚
官製はがき	最大　20 枚
フォト光沢ハガキ	最大　20 枚
封筒	最大　5 枚
OHP フィルム	最大　20 枚
バックプリントフィルム	最大　10 枚
フォト光沢紙	1 枚
光沢フィルム	1 枚
フォト光沢カード	1 枚
バナー紙（長尺紙）	1 枚
T シャツ転写紙	1 枚

使用できる用紙

定型紙

サイズ：　A4、A5、A5 横、B5、Legal、Letter、はがき、
はがき横、封筒（洋形 4 号、洋形 6 号）

重さ：　64g/m^2 ～ 105g/m^2

官製はがき

封筒

洋形 4 号、洋形 6 号

キヤノン専用紙

カラー BJ 用普通紙	LC-301
フォト光沢ハガキ	KH-201N
高品位専用紙	HR-101S
フォト光沢紙	GP-301
光沢フィルム	HG-101
フォト光沢カード	FM-101
OHP フィルム	CF-102
バックプリントフィルム	BF-102
バナー紙（長尺紙）	
T シャツ転写紙	TR-201

グラフィックイメージ印刷

データ構成

キヤノン拡張モード
ラスタイメージフォーマット

解像度

180、360、720dpi

使用できるBJ カートリッジ

ブラック BJ カートリッジ BC-20

ノズル数	128
インク色	ブラック

カラー BJ カートリッジ BC-21e

ノズル数	カラー各色 24、ブラック 64
インクカートリッジ	BCI-21 カラー （シアン、マゼンタ、イエロー） BCI-21 ブラック （ブラック）

カラー BJ カートリッジ BC-22e フォト

ノズル数	カラー各色 24、ブラック 64
インク色	ブラック シアン マゼンタ イエロー

蛍光 BJ カートリッジ BC-29F

ノズル数	カラー各色 24、ブラック 64
インク色	ブラック シアン 蛍光マゼンタ 蛍光イエロー

使用できるスキャナカートリッジ

カラーイメージスキャナカートリッジ IS-22

読み取り解像度	90,180,200,300,360dpi
出力データ	2 値、RGB 各色 8 ビット

プリンタドライバの動作環境

動作環境	必要な条件
コンピュータ本体	・Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、または Microsoft Windows NT4.0 日本語版が動作するコンピュータ＊（36ピンパラレルインタフェースまたはUSBインタフェースを搭載したDOS/V機および NEC PC-98 シリーズ） ・USBインタフェースを標準搭載した Macintosh シリーズ
基本ソフトウェア	Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、または Microsoft Windows NT4.0 日本語版、および Mac OS 8.1 日本語版以上
ハードディスク	インストール時に必要な容量は Windows 98、Windows 95 の場合は約 42M バイト、Windows NTの場合は約29Mバイト（一時的に使用する領域を含む）Mac OS の場合は約 30M バイト（一時的に使用する領域を含む）

＊ BJ ステータスモニタを使うためには、双方向通信が可能なセントロニクスケーブルを使用してください。

●参考 USB インタフェースに接続する場合は、以下の環境でお使いください。

- Windows：Microsoft Windows 98（日本語版）がプレインストールされているコンピュータ（コンピュータメーカーにより、USBポートの動作が保証されているもの）
- Macintosh：Mac OS8.1（日本語版）以上がプレインストールされ、USB インタフェースを標準搭載した Macintosh シリーズ（ただし、Mac OS8.1 がインストールされている iMac の場合は、アップルコンピュータ株式会社のホームページで配布されている iMac アップデート 1.0 を使ってアップグレードされていなければなりません）

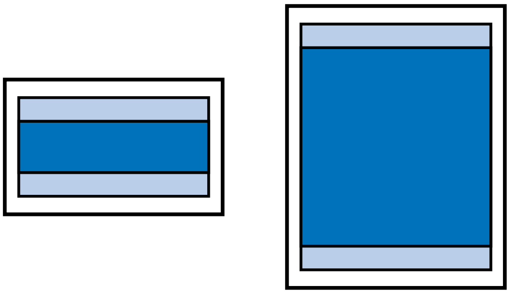
スキャナドライバの動作環境

動作環境	必要な条件
ハードディスク	空き容量 50M バイト以上 （インストール時に必要な容量は、Windows の場合は約 10M バイト、Mac OS の場合は約 8M バイト［一時的に使用する領域を含む］
ディスプレイ表示	256 色以上（High Color 以上を推奨）、640 x 480 ドット以上

印刷できる範囲

プリンタは印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分となります。用紙サイズによって、印刷できる範囲が異なりますのでご注意ください。

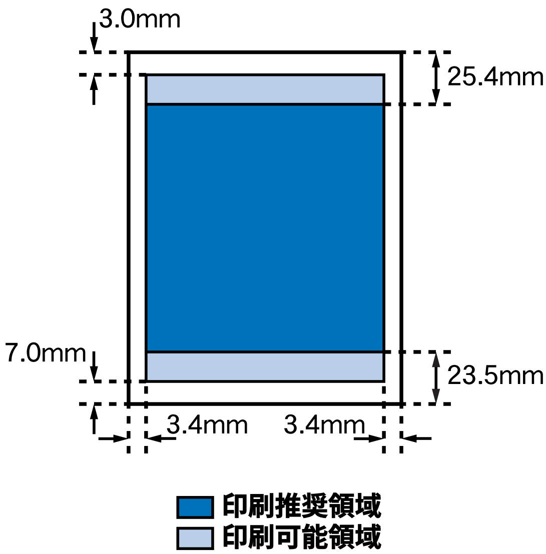
印刷できる範囲には印刷推奨領域と印刷可能領域があります。
印刷推奨領域・・・この範囲に印刷することをお勧めします。
（　　の部分）
印刷可能領域・・・印刷できる範囲です。ただし、印刷の品位または用紙送りの精度が低下することがあります。
（　　の部分）



A5、A5 横、A4、B5、はがき、はがき横
Letter、Legal
フォト光沢カード
封筒（洋形 4 号）
封筒（洋形 6 号）
バナー紙

■A5、A5 横、A4、B5、はがき、はがき横の場合

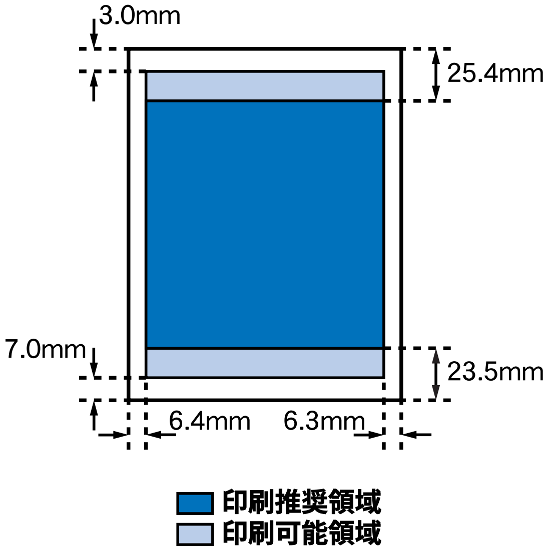
印刷可能領域（幅×長さ）	
A5	141.2 × 200.0mm
A5 横	203.2 × 138.0mm
A4	203.2 × 287.0mm
B5	175.2 × 247.0mm
はがき	93.2 × 138.0mm
はがき横	141.2 × 90.0mm



■Letter、Legalの場合

印刷可能領域（幅×長さ）

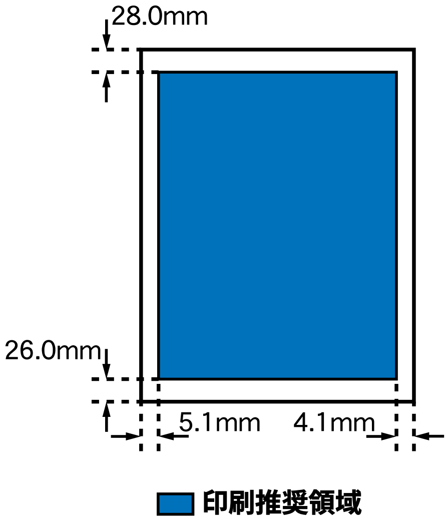
Letter	**203.2 × 269.4mm**
Legal	**203.2 × 345.6mm**



■フォト光沢カードの場合

印刷可能領域（幅×長さ）

フォト光沢カード＊　　　　**109.4 × 159.9mm**

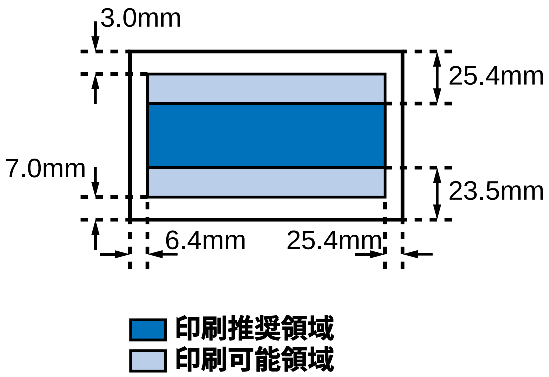


＊ プリンタドライバの［用紙サイズ］の設定は、［フォトカード］を選んでください。

■封筒（洋形 4 号)の場合

印刷可能領域（幅×長さ）

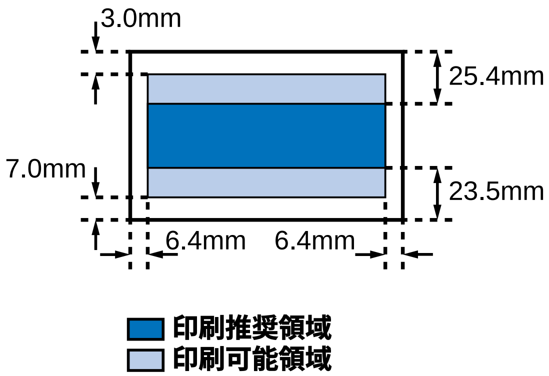
洋形 4 号	**203.2 × 95.0mm**



■封筒（洋形 6 号）の場合

印刷可能領域（幅×長さ）

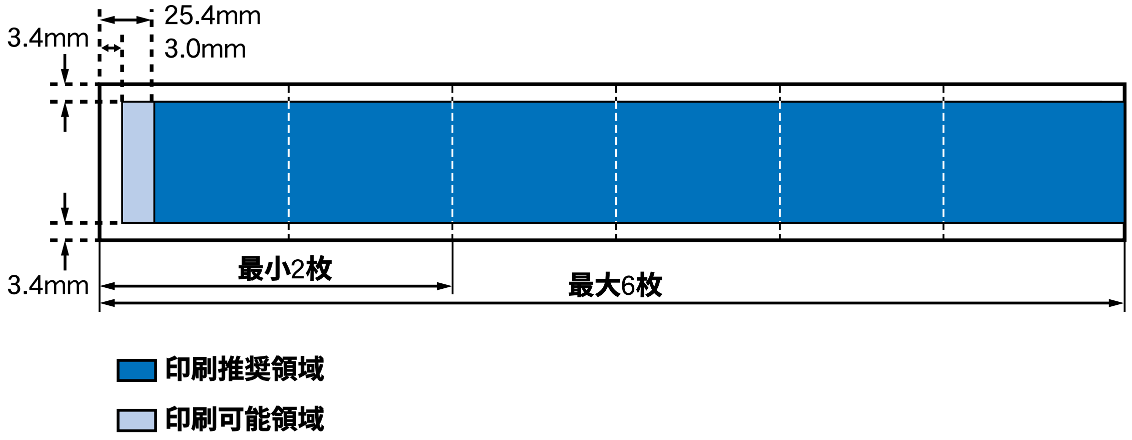
洋形 6 号	**177.2 × 88.0mm**



■バナー紙(長尺紙)の場合

印刷可能領域(幅×長さ)

バナー紙(長尺紙)	**203.2 × 1779.0mm**



索引

B

BJ カートリッジ 14
BJ カートリッジ保管箱 201
BJ ステータスモニタ 147, 177
BJ ステータスモニタ (Macintosh) 322
BJ ステータスモニタ (Windows) 252
BJ バックグラウンダ (Windows) 251
BJ バックグラウンドモニタ (Windows) 249
BJ プリンタモニタ (Windows) 255
BJ プリントモニタ (Macintosh) 318

E

Ethernet(Macintosh) 320

I

IS Scan 37
IS Scan Plus 37
IS Scan Plus(Windows) 272
IS Scan Plus の起動 (Windows) 272
IS Scan Plus の終了 (Windows) 273
IS Scan の起動 (Macintosh) 329
IS Scan の終了 (Macintosh) 333
IS Scan を単独で起動 (Macintosh) 334

O

OHP フィルム 22

P

PICT ファイルで保存 (Macintosh) 299

T

T シャツ転写紙 34
TWAIN 37
TWAIN 対応機器の選択 (Macintosh) 329

U

USB ケーブル接続部 7

W

WPS ドライバ . . . 111, 142

あ

アプリケーションソフトで画像を読み取る (Macintosh) . . . 329
アプリケーションソフトで画像を読み取る (Windows) . . . 263

い

移送 . . . 201
イメージデータ補正 (Windows) . . . 233
イラストタッチ (Macintosh) . . . 311
イラストタッチ (Windows) . . . 235
[色設定] タブ (Windows) . . . 239
色の調整 (Macintosh) . . . 313
色の調整 (Windows) . . . 239
印刷順序 (Macintosh) . . . 305
印刷順序 (Windows) . . . 229
印刷設定の登録 (Macintosh) . . . 315
印刷できる範囲 . . . 359
印刷品位 (Macintosh) . . . 308
印刷品位 (Windows) . . . 237

え

エラーメッセージ . . . 146

お

オートシートフィーダ . . . 6
オートパレット (Windows) . . . 212
オートパレットの削除 (Windows) . . . 244
オートパレットの登録 (Windows) . . . 241
お問い合わせ先 . . . 190
お問い合わせシート . . . 189
[オプション設定] ダイアログ (Macintosh) . . . 304, 305

か

カートリッジ固定レバー . . . 8
カートリッジホルダ . . . 8, 123, 125
拡大 / 縮小印刷 (Macintosh) . . . 302
拡大 / 縮小印刷 (Windows) . . . 220
各部の名称と役割 . . . 5
画像のコピー (Macintosh) . . . 338
画像の読み取り (Macintosh) . . . 331
[画像を取り込もう] 画面 (Windows) . . . 277

カラーバランス 183
ガンマ係数. 184

き

基本的な印刷設定 (Macintosh) 296
基本的な印刷設定 (Windows) 212
給紙方法の設定 (Windows) 216
給紙ローラのクリーニング 198
給紙ローラのクリーニング (Macintosh) 327
給紙ローラのクリーニング (Windows) 261

く

[クオリティ]シート (Windows). 233, 234, 237
クライアント機 (Macintosh) 320
クリーニングシート 198

け

原稿のコピー (Macintosh) 346
原稿のコピー (Windows) 280
原稿の読み取り (Windows) 277

こ

光沢フィルム. 28
高品位専用紙. 17
好みの印刷設定 (Macintosh) 306
[コピーしよう]画面 (Windows). 280
コピーユーティリティ (Macintosh). 344
コピーユーティリティの起動 (Macintosh) 345
コピーユーティリティの終了 (Macintosh) 346
困ったときには 70

さ

冊子印刷 (Windows) 224

し

紙間選択レバー 8, 13
写真 61
写真印刷の手順 63
写真の読み取り (Windows) 274
[写真を取り込もう]画面 (Windows) 274
修理の依頼. 195
仕様 354
[詳細設定]ダイアログ (Macintosh) 306, 308, 310, 311, 313

白基準シート 47
白基準補正 47
白基準補正 (Macintosh) 342
白基準補正 (Windows) 270

す

スキャナ 36
スキャナカートリッジ 39
スキャナドライバ 36
スキャナドライバ (Macintosh) 328
スキャナドライバ (Windows) 262
スキャナドライバ関連ファイル (Macintosh) 353
スキャナドライバの削除 (Macintosh) 351
スキャナドライバの削除 (Windows) 287
スキャナのトラブル 149
スキャニングホルダ 51
スキャン 58
スタンプ (Windows) 231
[スタンプ / 背景] タブ (Windows) 231, 232
スタンプの削除 (Windows) 246
スタンプの登録 (Windows) 245

せ

設定画面を閉じる (Windows) 218
設定画面を開く (Windows) 210
セレクタ (Macintosh) 293, 318

た

縦置き 12
単色効果 (Macintosh) 312
単色効果 (Windows) 236

つ

通常使うプリンタ 187

て

ディザリング (Macintosh) 308
ディザリング (Windows) 237
電源コード 7

と

[特殊効果] タブ (Windows) 235, 236

ね

ネットワーク上でプリンタを使用 (Macintosh) 320

の

濃度の調整 (Windows). 240
ノズルチェックパターンの印刷 (Macintosh). 326
ノズルチェックパターンの印刷 (Windows) 260

は

背景 (Windows) 232
背景の削除 (Windows). 248
背景の登録 (Windows). 247
排紙トレイ 6
はがき 18, 129
バックグラウンド印刷. 179
バックグラウンド印刷 (Macintosh) 318
バックグラウンド印刷 (Windows). 249
バックプリントフィルム. 24
バナー紙 31
バナー紙（長尺紙）印刷 (Macintosh) 303
バナー紙（長尺紙）印刷 (Windows) 228

ひ

非定型の用紙 (Windows). 215
品質に関する設定 (Windows) 237

ふ

封筒 20, 131
フォト BJ カートリッジ 65
フォト光沢カード 29
フォト光沢紙. 26
フォトデータ補正 (Macintosh) 310
フォトデータ補正 (Windows) 234
部数 (Windows) 229
プリンタケーブル接続部. 7
プリンタドライバ関連ファイル (Macintosh). 350
プリンタドライバの基礎知識 (Macintosh) 292
プリンタドライバの基礎知識 (Windows) 209
プリンタドライバの削除 (Macintosh) 348
プリンタドライバの削除 (Windows). 286
プリンタドライバの選択 (Macintosh) 293
プリンタドライバの入手方法 194
プリンタドライバのバージョン 193
プリンタの応用テクニック (Macintosh) 301

プリンタの応用テクニック (Windows) 219
プリンタの追加 (Windows) 284
プリンタポート 141
プリントサーバー機 (Macintosh). 320
プリントサーバーの状況確認 (Macintosh) 322
プリントダイアログ (Macintosh). 296
プリントヘッドのクリーニング (Macintosh). 325
プリントヘッドのクリーニング (Windows) 259
プレスキャン. 53
プレスキャン (Windows) 263
プレビュー (Macintosh) 298
フロントカバー 6, 181

へ

[ページレイアウト] タブ (Windows) 220, 222, 224, 226, 228, 229, 230
ヘルプの見かた (Macintosh) 300
ヘルプの見かた (Windows) 217

ほ

ポスター印刷 (Windows) 226

ま

マッチング方法 185
マニュアル (Macintosh) 306

ゆ

[ユーティリティ] タブ (Windows) 259, 260, 261

よ

用紙ガイド. 6
用紙サイズに関する設定 (Macintosh) 294
用紙サイズの設定 (Windows) 214
用紙サポート. 6
用紙設定ダイアログ (Macintosh). 294
用紙のサイズ. 12
横置き 12
読み取った画像の調整 (Macintosh) 339
読み取った画像の編集 (Windows). 279
読み取った画像の保存 (Windows). 282
読み取り可能な原稿 49
読み取りの設定 55
読み取り方法の変更 (Macintosh). 336
読み取り方法の変更 (Windows) 266

り

リセットボタン 9
両面印刷 (Windows) 230

わ

割り付け印刷 (Macintosh) 304
割り付け印刷 (Windows) 222